# カトリック

平田司教認可
発行所
福岡市中央区浄水通39
福岡司教館
発行兼編集人　山田成章
電話092―522―5139
振替口座　福岡3-42981

定価　一部　25円


**祈禱の使徒会**
(一般) 福音宣教のエキュメニカルな使命
(布教) 地方教会による信仰一致の運動

## 新しい年を迎えて

福岡教区司教　平田三郎

### 召し出しの年

いつくしみ深い神のお恵みによって、また新しい年を迎えることができました。この年が平和であるように祈るとともに、教区司祭・修道者・信徒一同が、ますます平和の王キリストを知り、人にも知らせ、明日の不安におびえている世にあって、平和を造り出す使徒となるよう心からお祈りいたします。

昨年はルルド国際聖体の年でした。私たちは、この大会の意向にそってこの年を「聖体の年」と定め、ミサを理解し、ミサに生き、聖体に対する信心を深めるよう努力してきました。聖体の神秘を理解し、それを実生活に生かすには、永く深い信仰教育と信仰の生活が必要でしょう。今年も昨年の目標にできるだけ近づくよう努力し続けましょう。

### 召命への教区の努力

ところで今年は、教区に司祭養成所神学校が設立されて五〇年になります。それで、この年を司祭・修道者の「召し出しの年」とし、神から招かれる多くの青少年が、この招きに答えるように祈り、召し出しの苗床作りに励みたいと思います。教区歴代の司教は宣教・司牧の推進力が、よい司祭・修道者の養成にかかっていると考え、何はさておき、神学校の設立、教育に最大の力を注いできました。五四年前の教区誕生当時、邦人教区司祭は一人もいなかったので、初代チリー司教様は、神学校の用地を準備して下さり、二代目のブルトン司教様は、司教着任の翌年の一九三二年、大名司教座聖堂の伝道館を神学校として発足させ、その翌年には、平尾に、泰星中学と呼ばれる小神学校を建てて下さいました。一九四一年からこの学校の運営・経営は深堀司教様に委ねられましたが、あの困難な時代に自から校長として将来の司祭教育に情熱を注がれました。泰星中学校が一般生徒にも門を開くようになったので、司教様は一九五八年、浄水通りに小神学校を建てて下さいました。一昨年の寝室の増築で、一応神学校は整ったものになり、新校長着任とともに将来の曙が見えはじめました。また、福岡にある九州地区の大神学校も、その開校準備期間を入れますと、来年で五〇周年を迎えます。教区の中心事業であるだけに、この間に払われた犠牲は、人材の面でも経済の面でも涙ぐましいものがありました。

### 召命の減少傾向

この五〇周年を機会に、さらに大きな努力を重ねなければならないと思います。召し出しの減少の傾向は世界的となり、今迄のように外国からの宣教師を期待することはできないようになってきました。教区で働いて下さっている約三分の二の宣教師、三分の一の教区邦人司祭も高齢化し、多くの若い邦人司祭が出ないと、ひとりの司祭が、二つ三つの教会を受け持たなければならない時は、もうすぐ先に来ているのです。

核家族が増え、子供の数が大きく減り、宗教心が薄れた今日、子供を神教会に捧げようと望む家族生涯を人々の救いに求めようとする若者の数も減ってきました。召し出しの増進のためには、しっかりした信仰教育によって、キリスト教的価値観をがっちり身につけ、祈る家庭、小教区共同体の中で、奉仕の生活の喜びを体験することが必要でしょう。祈らない家庭、エゴイストの家庭からは召し出しの芽は出ないからです。教会のため、人々の奉仕のために、もうひとり、ふたりの子供を生み、その子を捧げようという心構えの家庭が多くなれば、召し出しの前途は明るいものになることでしょう。

### 神学校援助の強化

また、召し出促進のためには、自分たちのための生きる司祭を養成する神学校の経済的負担を、人任せではなく、教会全体の責任として受け止め、実行に移すことが大切です。日本がまだ貧乏だった教区設立当時、世界中の信仰の兄弟たちが、神学校の建設・運営に手を貸してくれました。しかし世界の地図が大きく書き変えられ、世界の経済も大きく変わった今日、他力本願ではなく、自分たちの司祭は、自分たちの力で養わなければならなくなりました。教会堂の建設の場合もそうであります。現在福岡の大神学校にいる教区神学生は七名、教区のための小神生は二〇名です。この神学生を養うためには、各教会から頂いている教区費全部を使ってもなお足りない状態です。神学校援助会などの組織を強化していただいて、この面の難関を切り開いていかねばならないと思っています。

### 召命に明るい材料

召し出しについて、やや悲観的なことを書きましたが、教区の司祭・修道者・信徒は、この重大問

(第二面へ)

### 召命への教区の努力

## 一月の聖体礼拝当番教会

一月　三日　唐津
一月　十日　鹿島
一月　十七日　佐賀
一月二十四日　武雄
一月三十一日　司教館

## 微光

ご多聞に洩れず、明るいニュースと暗いニュース一杯の一年であったと思う。中でも、平和の巡礼者・ローマ教皇の訪日は国内に一大旋風を捲き起こした。微笑の教皇の弱者に対する格別の愛情や広島での平和メッセージなどは、日本人の脳裡に鮮明に刻まれていることであろう。凶悪事件も後を絶たなかった。教皇訪日の喜びが未だ余韻を残している最中、教皇そ撃事件、サダト大統領暗殺が発生し、世界の人々を震撼させた。▼今年はどんなドラマが展開するのだろうか。正義と平和・人間性に挑戦する悪魔の牙が世界に向けられている。過去は二度と帰らないが過去の事件は繰り返しがきくから恐ろしい。ノーモア広島・長崎の核廃絶の悲痛な叫びが、荒野の空々しい声に終ってはなるまい。緊迫した国際情勢は、悪魔の核武装が一触即発の危険を宿していることを物語っている。平和は砂浜に書かれたされ言葉ではあり得ない。人生の柱であり、人間性の中心となるものだ。▼毎年一月一日は平和祈願の日と定められている。救主ご誕生の喜びを分かち合いながら、過去の汚れものを流し、新しい門出をした元旦は、身も心もすがすがしい。おせち料理をつまみ、美酒で喉をうるおす一家団らんの中で、平和の有難さをしみじみと悟ることができる。ミサで交わす「主の平和」が新しい年の第一歩となるように、決意を新たにしたい。「目覚めて祈れ」人は眠るが、悪魔は眠らない。


事務用機器・コンピューター・学校用・幼稚園備品
㈲シオタ事務機・㈱日本幼育社
社長　カシミロ・塩田五郎
福岡市南区大楠2丁目23―15（西田ビル2F）
TEL　代表 092 (521)―8266―7

熊本石材株式会社
熊本市島崎4丁目2ノ68
電話　52―3306
　　52―8622

# 謹んで聖主の降誕祭と初春のお慶び申し上げます

昭和五十七年　元旦

平田　三郎司教
深堀　仙右衛門司教（三ツ山）

## 福岡地区

茶山教会　伊東　誠二
司教館　平田物五郎
大名町教会　牧山　重光
浄水通　〃　ガイヤール
西新　〃　川口　康頼
東田島　〃　青木　保
高宮　〃　山田　成章
牧山　藤房
マホニー
ハトリック　中村　道生
片岡　仁志
大田　一男
フィナティ
堤　要吉
美野島　〃　カーテン
大楠　〃　リシャール
吉塚　〃　デイキン
箱崎　〃　ホイドンク
老司　〃　ラギタオ
光ケ丘　〃　山崎聡一郎
古賀　〃　乾　盛夫
二日市　〃　浦口　均
小郡　〃　平田　正喜
今村　〃　糸永　一
糸永　武男
本郷　〃　オマニ
三村　邦明
久留米　〃　平田　寛

吉野　〃
大牟田　〃
馬渡島　〃
大神学院
小神学校
泰星学園
聖パウロ会修道院
黙想の家

門司港教会　門司　〃
門司　〃　小倉　〃
戸畑　〃　若松　〃
湯川　〃　八王寺　〃

## 北九州地区

モーゼ
ラバルタ
バスチ
ベリヨン
西田　邦洋
深堀　勝人
浦　俊雄
コース
平田　敬
ボネ
徳山　登
デシャンプ

堤　敏雄　飯塚　〃
黒川　博　水巻　〃
田川　清美　直方　〃
新田原　〃
山内　清海　行橋　〃
ソルデル　宮崎カリタス
ラベル
ラプラント
イエール
高木　善行　呼子　〃
中浜　一男　武雄　〃
明石　健次　伊万里　〃
竹森　勇　多久　〃
鹿島　〃
松井　忠之　佐賀　〃
山頭原太郎　鳥栖　〃
百村　等
聖母騎士修道院
トラピスチン

## 佐賀地区

唐津教会
ボアノ
鈴木　忠一
マテオ
リチャード

荒尾教会　玉名　〃
玉名　〃　手取　〃

## 熊本地区

健軍　〃
帯山　〃
島崎　〃
菊池　〃
合志　〃
八代　〃
人吉　〃
水俣　〃
本渡　〃
大江　〃

黒崎　〃
ドルエ
ボンカズ
ベルトラン
バイヨ
キニュ
ベルトラン
鵜野　泰牟
ドレル
パスカレル
グロジャン
山川　辰幸
岩永　義人
ラグレブ

崎津　〃
マリスト
在ローマ
シーヒー
オーファレル
山元　真

マグリン
サルディ
ソネッタ
パスカーレ
アレグリニ
カウァニヤ
ガザルディ
ピアッチニ
オショルニ
マルセル

ドイル
キルケニ
オーサリバン
クリフィン
オフライエン
デュビック
ノーリス
コックス
牧山　勝美
ヤンキャンプ
フォード
渡辺　隆義
グリン
畠山　七郎
ベラス
モラハン
マックナリ

（第一面から）

題をしかと受け止め、その解決のために動いて下さっているのを見てありがたく思っています。昨年の夏には一週間の「召し出し学校」が企画され、七七名もの優秀な小・中学生が集まり、司祭職について考え、祈りました。その中には神学校入学を決心している子も多かったと聞いています。また去る十一月三日大神学校で催された「一日神学校」には六〇〇名もの親子が集まったことは、教会全体が召し出しという重大問題に深い関心を寄せていることを示していると思います。

教区では多くの方々の要望に答え、司教館横の司祭館を改築し、一月十二日の落成式を待っています。この家は、永い間教区のために尽くされ病気や老齢のために働けなくなる司祭の「いこいの家」で、一部は司祭の居屋、司祭集会のためのホールなどに当てられています。このホールは、信仰教育のため「神学講座」や、青少年、信徒協、修道女連盟役員の集会にも役立ち、召し出しの推進にも寄与すると思っています。

教皇様と心を合わせ、召し出しが殖えるよう祈り、努力しましょう。

終わりにのぞみ、教区の司祭・修道者・信徒皆さんの上に、幼子とそのお母マリア様の豊かな祝福を祈ります。

# 熊本フランシスケン修道院落成

十二月十三日（日）、熊本市島崎六丁目のマリアの宣教者フランシスコ修道会熊本修道院の落成式が行われた。午前十一時から、平田司教の手により建物の祝別、そのあと、熊本地区内の司祭との共同司式ミサ、落成式と続き、一三〇人の参加で祝賀パーティは賑わいをみせた。

今回落成した建物の床面積は、第一修道院及び聖堂が一、九二〇㎡、第二修道院が六九八㎡で、鉄筋コンクリート二階建の外部吹付仕上げである。屋根は日本瓦葺となっている。

旧修道院は、約七〇年前に建築された木造二階建であったが、老朽化が進み、雨漏りもひどくなったので、昨年九月十一日解体し、新築工事に入っていた。

熊本修道院は、一八九八年十月十九日、メール・マリ・ド・ラ・パッシオンによって創立された。主なる事業として——

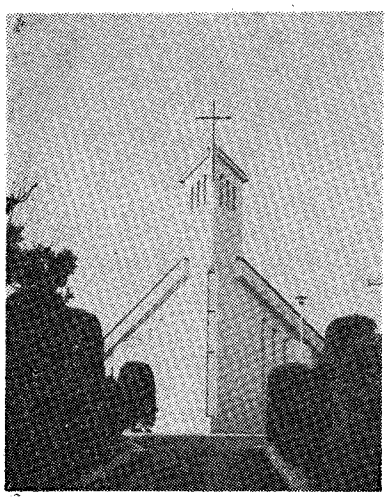
(1)琵琶崎待労病院＝一九四七年、パリ外国宣教会員ジョン・マリ・コール神父が南九州地区長として赴任した時熊本で見た約二、五〇〇人のらい患者のために、修道院に相談し、実現した。

(2)養護施設琵琶崎聖母愛児園＝一八九八年十二月八日、本妙寺境内に幼児を抱いた貧しい危篤の行路病者を発見、手厚く看護したが死亡した。その残った子供が修道女に託されたのが園のはじまり。

(3)聖母老人ホーム＝一九一五年十月四日、買物に出かけた修道女が倒につまれて棄てられていた82才の老女を発見、収容したことからはじまる。

(4)聖母愛児幼稚園＝一九五〇年四月二十日認可、一九七〇年十月、新園舎が完成した。尚、学校法人認可は一九五三年七月である。

その他、聖母慈恵病院（一九四二年四月設立）や附属准看護婦学院、高等看護学院が完備している。



熊本フランシスケン聖堂

綜合建設業
八千代建設株式会社
取締役　社長　田中　清
取締役副社長　渡辺　勝三郎
〒810 福岡市中央区薬院3—2—9　TEL 531—1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく
(株)メガネの正視堂
代表者　フランシスコザビエル　臼井芳数
行橋市駅通り本店　☎2—0646
〃　駅前5秒店　☎2—2390
北九州市黒崎年金病院前店☎641—4321
〃　ダイエー城野店3階☎922—5637

# 48年目の新築・落成の喜び
## 聖母訪問会新田原修道院

十一月二十六日、行橋市大字東徳永の聖母訪問会新田原修道院の祝別・落成式が行われた。

午前十一時から、平田司教の祝別式、続いて二十一人の司祭との共同司式ミサが捧げられ、一四〇人近くの参加者は感謝と喜びを分かち合った。

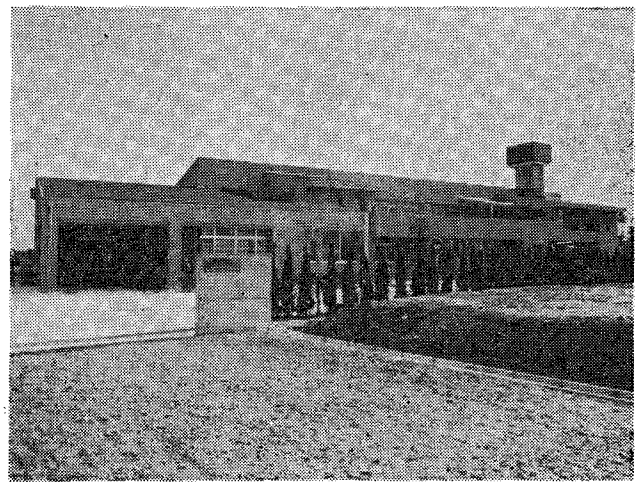
近年、木造建築の老朽化した病院の改築が計画されるに伴って、修道院の新築移転が決定した。五月から着工され、二階建鉄筋コンクリート（建坪九九一平方米）の修道院が完成した。

一九二五年、厳律シトー会（トラピスト）修道院がこの地に支部を設置したが、長崎・五島の信者たちも新天地をもとめて、移住しはじめ、年毎にその数を増していった。一九三一年、第二代福岡教区司教として着座したアルベルト・ブルトン師が、開拓の困難、忙がしさにある信者の子弟の教育の必要を感じ、同師の創立になる聖母訪問会の支部修道院を設置したのであった。これは一九三三年六月のことであった。

新田原修道院の現在の主なる事業は新田原病院の経営である。一九三五年一月の開設になる新田原病院は、新田原診療所として収容定員六人で診療をはじめ、地域の人の健康管理と治療につとめた。一九四〇年、定員一五人に増床して、新田原病院と改称した。三年後には、定員二〇人に発展した。一九四九年六月、戦後の食糧難と激しい労働の中で結核で倒れる患者が多くなり、収容疾病の性格の上から、新田原サナトリウムと改称してその必要に応じた。一九六六年、内容を充実して、聖母訪問会社会福祉法人新田原病院となって九〇床を認可され、現在に及んでいる。

聖母訪問会修道会は、一九一五年三月二十三日、アメリカ・カリフォルニアに在住し、渡来日本人の世話をしていたパリ外国宣教会員アルベルト・ブルトン師が創立した最初の会員たちである。最初の邦人修道会である。一九〇七年以来鹿児島において、ラゲ師に教育された愛苦会のグループの中から選ばれた四人の姉妹たちであった。

現総会長はシスターロマーナ関わか子で、鎌倉市津五五〇番地に総本部がある。最近のこの修道会の傾向としては、海外や僻地の福音宣教事業に熱意を示している。



落成式を迎えた新田原修道院

## 会合と催し

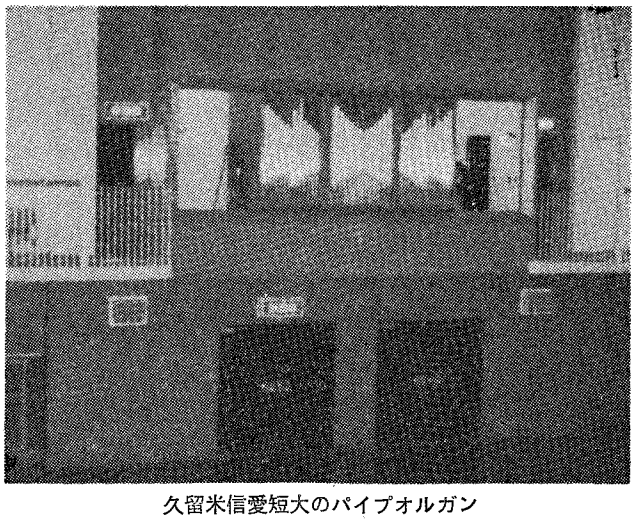
☆平田司教
1月1日　新春ミサ（大名町）
12日　「憩いの家」の祝別・落成式、新年祝賀会
17日　合同成人式
☆福岡黙想の家
1月23，26日　ガールスカウトの役員研修会
24日　大神学院の司祭静修

## 飛脚

☆十二月九日、午後六時三〇分から、福岡市中央区浄水通の郵便貯金会館ホールで、「ネオ・グレゴリオ聖歌隊」の合唱があった。この聖歌隊は、本国で高度の音楽教育をうけた十三人のイタリヤ人神父で編成されており、グレゴリオ聖歌の根幹である信仰に基づく清らかな精神性と音楽技術的に洗練されたハーモニによって聴衆を魅了し、大盛況のうちに閉会した。また、再三のカーテンコールの度毎に一曲づつ披露するサービスぶりで、来場の音楽ファンを堪能させた一夕であった。

☆十二月十七日、福岡市民会館で福岡市民クリスマス実行委員会主催の福岡市民クリスマスが開かれた。午後六時三〇分から、映画の「マザーテレサとその世界」、小田彰牧師のメッセージ、福岡バッハ研究会の音楽が披露され、盛会であった。

☆十二月二十日（日）午後四時から、久留米信愛女学院短期大学の講堂で、パイプオルガンのオープニング・コンサートがあった。演奏者は、広島エリザベト音楽大学のフランス・ボーン教授で、各地での演奏活動とともに広島平和聖堂のオルガニストでもある。この九州唯一のバロック式パイプオルガンは、本学経営母体である幼きイエズス修道会ローマ総本部から寄贈されたものである。筑後地域否福岡県の音楽文化の殿堂として注目されるであろう。



久留米信愛短大のパイプオルガン

☆一月二十八日から二月六日までの毎週木、金、土曜日、午後七時から福岡結婚講座センター主催の第二十二回結婚講座が催される。大名町カトリック教会の信徒会館を会場に、オリエンテーション、婚約時代、新婚時代、各講師の体験談、出産、子育て、教会の立場からみた結婚の意義についてを講座の主な内容としている。会費は一人三、〇〇〇円（当日会場でも受付ける）。申し込みは最寄りのカトリック教会か、または当日会場でできる。結婚講座センター事務局は、博多区光丘町一丁目一一五光丘カトリック教会内、電話五八一一〇五七〇。

☆子供のミサのモデル・ケースについて（カテケージス研修会レポートから）――入場・退場をリズムマーチで行う。集会祈願、奉納祈願、拝領祈願は子供との共同作業で作る。みことばの朗読は福音だけにする。例えばザケオの話し（ルカ19・1―10）、ナレーター、イエズス、ザケオの役目を分担して朗読させる。朗読のあとアーメンハレルヤ（オルガン、打楽器など）を歌って神の栄光をたたえる。説教は司祭以外にも親教師もできる。しかしその際必ず司祭が補完することが大切である。共同祈願は自作の祈り。奉納はオスチアの横に献金箱を置き、直ちに奉納できるようにしておく。ささげようの歌で行列をする。平和のあいさつはごめんなさいを特にとり入れて、キリストとの一致に向かう。拝領後は〝ザケオ〟をうたうことにする。

〝任意保険に加入してから車の運転を致しましょう〟
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険等々
福岡市博多区中洲5―4―12
AIU福岡ビル内
大石保険事務所　大石真澄
〒810　TEL 272―0671

祭壇・洗礼盤他
石材　石の理想の大御影他
石のパイオニア
高木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2―21
TEL 52―2417

# カルカッタを訪ねて (2)

渡辺隆義

三、カルカッタの人々

(1)横たわる人々

十月二日（金）、イエズス会のデカンボ神父様と一緒に、カルカッタの街を歩いて回る。彼は私たちに、歩かなければ人々の真の姿をみることはできないと忠告してくれた。たしかに、乗りものにのっているときは気づかなかった人々の生の生活を肌で感じることができる。溢れる人々、車の排気ガスと騒音、整備されていない道路、異臭がただよう路地裏。道端で売られている食物は、とても食欲をそそるものではない。ほこりをかぶり、あるものにはハエがたかっている。大通りにはたくさんの商店がたちならぶ。しかし全てのものがうすぎたなく目に映る。道端に寝ている人、物乞いをする人がやたらと目につく。母親らしい人が子供の髪のしらみをとってやっている。通りにはあちこちに湧水があって、家に水道のない人々がそこで水浴びをしたり、洗濯をしたりしている。石鹸を使う人は非常に少ない。私たちからみると不潔この上ない。もっともこのためにいわゆる石鹸公害はないのだが。

さて、ある時、私たちが乗っていた車が止まると、どこからともなく身体の不自由な老人がやって来て、ぶつぶつ言いながら手をさしのべてきた。お金をねだっているのであるが、同乗しているシスターが無視しているので私も無視する。しかし心には何かひっかかるものが残った。そして何よりも私の心を痛めたのは、両足を切断した少年が、道端で私たちに何かくれとすがってくるのを無視して通りすぎたことである。今でも、あのときに自分がとった行為が真に福音的であったのかどうか、苦い思い出としてよみがえるのである。

(2)カルカッタの子供たち

私たちが滞在した修道院は、ヒンズー語を教える学校を経営していた。インドは英語とヒンズー語が公用語であるので、どちらかを学ばなければ上級の学校に進めない。しかし、実際はこのような学校に来れる子供たちは少数であり、多くの子供たちは勉強するチャンスもなく、早くから働かなければならない。もっと正確にいうなら、まともな働き口さえないのである。にもかかわらず、子供たちは底ぬけに明るい。私たちは幸いに、この学校の寄宿舎の子供たちと毎夕一緒に遊ぶことができた。ある晩、日本語で「しあわせなら手をたたこう」の歌を教えると、次の日からさかんに「たたこう、たたこう」をしようといってきた。

またある時、子供たちから、一緒に夕食をしようと誘われた。好奇心も手伝って、一緒に食べることにした。食堂兼用の土間にすわらされ、皿にカレーとチャパティを入れてもらった。チャパティをちぎって、カレーをつけて食べるのである。インドカレーの辛さは聞きしにまさるものであった。子供たちはこちらの事情をさっして、すぐ水をもって来てくれた。これが子供たちの夕食のすべてであった。だがこの水は無情にも、私たちの体調をこわしてしまったのである。十月五日（日）、カルカッタの郊外にあるボーイズタウン（少年の町）を訪ねた。子供たちのために若い神父がつくったバンドが、私たちを歓迎してくれた。しかし多くの子供たちがそうであるように、ここの子供たちも自活の道を、働くことを早々に憶えなければならない。

今も子供たちのくったくのない笑い声がよみがえってくる。この笑顔こそ、日本の子供たちが失いつつある、素朴な人間の心の表れではなかっただろうか。勉強させられる日本の子供たちと働かされるカルカッタの子供たちと、どちらが幸せなのか分らない。ただ、泥にまみれ額に汗して働く子供たちに、共感を禁じえなかったことだけは事実である。この子供たちに祝福あれ。自分の幸せだけ願う大人になるのでなく、自分より多くの困難に出会っている人々に奉仕することを、喜びと感じることの出来る人間に成長しますように。

（合志教会主任代行）

## 地区合同成人式の案内

日　時　1982年1月17日（日）13：00
場　所　大名町カトリック教会
内　容　みことばの祭儀　13：00
　　祝賀パーティ　14：00
参加費　成人者¥2,000
　　その他の青年及び同伴者　¥1,000
連絡先　地区青年会代表　平井直樹
　　TEL　09403—2—3047
　　青年会担当司祭　竹森勇
　　TEL　092—531—6821

尚、参加者は成人者、父兄などの区別をした上で、1月13日までに、ハガキ又は電話で連絡先までお知らせください。
福岡地区青年連絡会（シナイの会）

## 一月年忌の司祭

▼クスタープ・ロー神父（パリ外国宣教会）一九五〇年一月一日元島崎修道院付。
▼アウグスチン・ハルブ神父（パリ外国宣教会）一九四五年一月十四日元崎津教会主任。
▼ジャン・マリー・マルタン神父（パリ外国宣教会）一九七五年一月十八日元聖母訪問会鎌倉修道院。
▼ルドビコ・ガルニエ神父（パリ外国宣教会）一九四一年一月十九日元大江教会主催。
▼ヨゼフ・フレスノン神父（パリ外国宣教会）一九二九年一月元久留米教会主任。

# 翔んでる青年の要理学習会

## 福岡地区青年連絡会

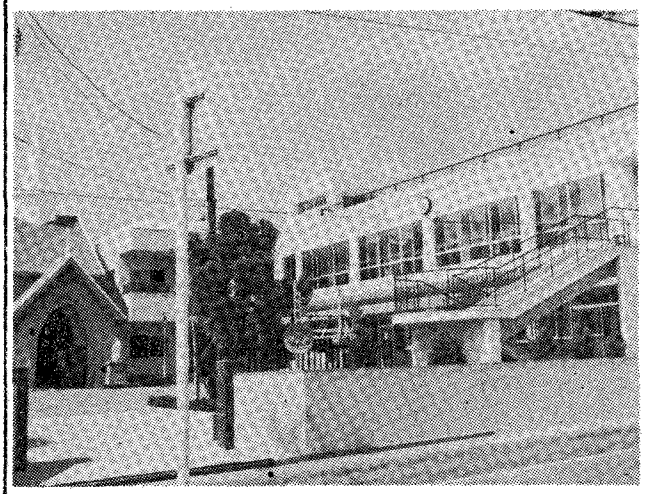
十一月二十二日・二十三日、福岡地区の青年を対象に、要理学習会が古賀カトリック教会で催された。「我々はカトリックの基本となる要理を忘れ勝ちである」、また、「要理をもう一度、最初から見直そう」……の要望に応じて、福岡地区青年連絡会が計画、実施した。

参加者二十四人は少々期待外れの感がしたが、要理学習会は充実した内容であった。今回の学習は秘跡論中心であったが、竹森勇、松井忠之両師の講義、質疑応答が白熱化し、有意義な一日目を終えることができた。

二日目は、福音の光修道会の四人のシスターを迎え、フィリピンでのボランチア体験報告を、スライドを見ながら聞いた。豊かさの分かち合い、貧者との連帯感は、多くの示唆を与えてくれた。

# 水巻聖母幼稚園の祝別式

九月二十五日午前十一時から、水巻聖母幼稚園の祝別・落成式があったが、鉄筋二階建九八八・八二M²の園舎で、現在園児数は二五七人である。昭和三十七年八月四日開園認可をうけている。



落成した水巻聖母幼稚園

床工事・室内装飾・清掃取扱一式
有限会社 創和
又野征次
西区荒江1—22—28
TEL (851) 4694

吉川病院
院長 吉川東陽
福岡市中央区平尾四ツ角　TEL 521—0568

# カトリック

平田司教認可
発行所
福岡市中央区浄水通39
福岡司教館
発行兼編集人 山田成章
電話092—522—5139
振替口座 福岡3-42981
定価 一部 25円

祈禱の使徒会
(一般)難民に対するキリスト教的愛
(布教)中国の教会

## 司祭の老後の不安一掃へ

### 暫時教区センター的役割り

## 司祭の家落成式

一月十二日(火)、駐日バチカン大使を迎えて、福岡司教館傍の「司祭の家」落成式が行われた。

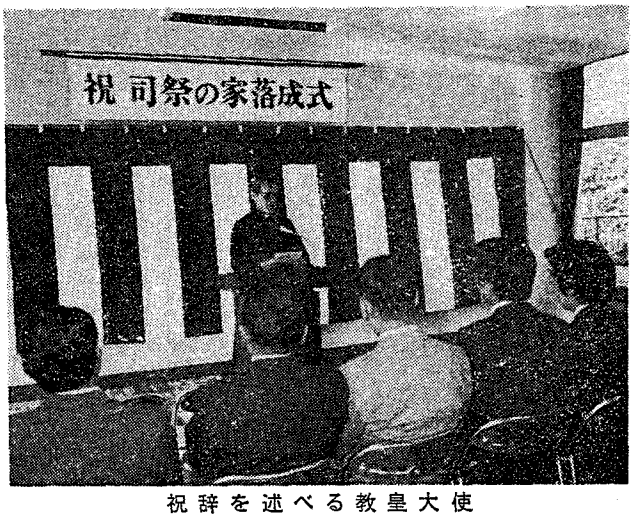
午前十一時、「よろこびにこころをはずませ」の聖歌唱和の後、ガスパリ大使と平田司教による祝別式が始まった。当日は教区司祭の新年会を兼ねたものでもあったので、多数の司祭や工事関係者、修女連、信徒使徒職協議会代表の参加がみられた。

祝別式に続いて竣工式に移り、大使の挨拶があった。「新しい司祭の家が神の愛に充満した場所であること、宣教・司牧活動の中心であると同時に司祭の憩いと一致の家であること、修道者・信徒の研修を通しての司祭との一致の場であること」を期待する発言があった。平田司教は挨拶の中で、大使をはじめ参列者に謝辞を述べてから、司祭の家の構造上の案内をした。

新司祭の家は、老朽化した司教館附属司祭館を解体して、昨年五月から着工し、今回完成したものである。特に、司祭団の念願であった老令司祭の憩いの場を考慮して建築された点が注目される。新築された司祭の家は鉄筋コンクリート四階建(地下一階、地上四階)の外装クリーム色で、ソーラシステム採用の省エネルギー型である。延建坪二七七坪の中味は、地下一階は物置き(倉庫)、地上一階には小チャペルの外、老人司祭用部屋二人分、介護人室、厨房、レクリエーションの部屋、老人司祭用部屋はバス、トイレ付きとなっている。二階には事務室、書類室(アルキーブ)、応接室、図書室、司祭室、共同トイレがある。

(第二面へ)

祝別式の教皇大使と平田司教




祝辞を述べる教皇大使

### 二月の聖体礼拝当番教会

二月七日 多久
二月十四日 鳥栖
二月二十一日 呼子
二月二十八日 馬渡島

## 微光

二月の誕生花は「すみれ」という。可憐さを連想するが、誠実・同情・謙遜の花ことばとして親しまれている。元来、紫色は高貴さを表すが、いく分陰湿な感じがつきまとう。でも、すみれ色と表現すると、印象はがらりと変わるから妙である。そこにはロマンチックなイメージが漂う。また、この時期にも一つの梅花を取り上げることができる。陽性で、二枚目的な存在である。これに対し「すみれ」はあくまで控え目な脇役に甘んじている。▼人生のドラマにおいて主役を志す人が余りにも多い。皆が主役では、ドラマは成り立たない。対神・対人関係においても然り。脇役の存在価値を見直すべきではないか。二月二十四日の灰の水曜日は四旬節の第一歩となる。クリスマス・元日の祝賀気分の残滓があるのに、早や重苦しい紫の季節となった。神は永遠に主役であるが、信仰必罰の恐るべき神ではなく、人の弱さをやさしく見つめ、赦すエンマヌエルと理解したい。▼脇役的な発想は、すべてにおいて神に依存している自分を見つめることから始めるべきではなかろうか。神からの借りものを返すとき、人に何が残るであろう。生命さえも存在しない。自力で、誇るべき対象を所有しているのではない。多く恵まれた物乞いが少なく与えられているこじきを嘲笑する資格はない。富める神の卓上から落ちる一片のパンくずに、目を輝かす弱者同士であることをゆめ忘れてはなるまい。

事務用機器・コンピューター・学校用・幼稚園備品
㈲シオタ事務機・㈱日本幼育社
社長 カシミロ・塩田五郎
福岡市南区大楠2丁目23—15(西田ビル2F)
TEL 代表 092(521)—8266—7

熊本石材株式会社
熊本市島崎4丁目2ノ68
電話 52—3306
52—8622

(第一面から)

三階には、客室及び司祭居住室など六部屋が用意され、共有のバス、トイレを設置している。四階は司祭集会室（月例集会、神学講座、信徒や修女連の研修会などに開放される）兼食堂、厨房である。因みにソーラシステムは風呂、洗面所の給湯に役立てられている。

申すまでもなく、司祭の家は、教皇大使の祝辞にもある通り、司祭の心と体の憩いと一致の家であるべきであろう。宛も出稼ぎの息子たちが楽しみにして帰る実家のようでなければなるまい。里帰りした息子たちが、和気あいあいと談笑し、気晴らしできる場にしなければならない。小教区で苦闘している司祭にとって息抜きの場、司祭相互の親睦、相談の場として考える必要がある。かれらを温かく迎える態勢づくりを急かねばならないと思う。司祭の心が司教館から離れたとき、教区はどのようになるであろうか。転ばぬ先の杖として警鐘を乱打しておきたい。

祝賀会場の大使と平田司教

## パウロ三木の説教

「皆の衆、お聞き願いまする。私はルソン人では、さらぬ。れっきとした日本人でござる。そしてイエズス会の修道士でございまする。私は何の罪も犯したわけではござりませぬ。キリシタンの教えを広めたという理由だけで殺されまする。この理由で殺されるのを私は喜んで居り、神さまから与えられるこのお恵みを感謝申し上げまする。死に臨んで私が偽りを申さぬことを信じて下さいませ。キリシタンの教えによるほか、救いの道のござらぬことを確信して申し上げまする。この死罪について太閤さまはじめお役人衆に、何の恨みも抱いてはおりませぬ。切に願いまするのは、太閤さまを始め日本の皆の衆がキリシタンにお成りなさって救いをうけなさることでございまする。」

パウロ三木が「ルソン人でない」と言ったのは、目の前に刑吏が掲げている高札の宣告文（この者共はルソンの使節と称し、我が国に来たって京に留まり、過ぎし年厳禁せるキリシタンの法を広めたり。因りてその法を奉する日本人と共に死罪に処す。）に目をとめたからであった。また「イエズス会の修道者です」と言ったのも、秀吉がフランシスコ会のペドロ・バウチスタ神父以下いわゆる西方航路で渡来したフランシスコ会員と、その教会に出入する信者とを処刑の対象とし、東方航路で来たイエズス会には触れていなかったからである。

## 日本二十六聖人殉教者の遺骨の行方

二十六名全部が十字架上の死を遂げたのは、リバデネイラによれば午前十時から十一時ごろであった。遺骸は八十日間十字架上に曝された。その間、崇敬心から遺骸の一部や衣類が持ち去られ、殉教の年の八月、フィリピン総督フランシスコ・テーリョが、ルイス・デ・ナバレテとディエゴ・デ・ソーザを遣わして、秀吉に殉教者たちの遺骸の引き渡し要求をした時には非常に少なくなっていた。十一月三十日ルイスが没し、ソーザは出来るだけ多く、散逸した遺骸を集め、翌年マニラに向かったが、航海途中で遭難して失われたようである。けれどもその前に信徒たちが持ち去っていた遺骸はマニラやマカオにも送られたが、フィリピン総督テーリョはその一部をローマ教皇とイスパニア国王のもとに送るため、マルセロ・リバデネイラ神父を遣わした。神父は途中立ち寄った教会に、遺骨の一部分を分け、また殉教の消息を広めて行った。いま殉教者たちの遺骨と画像などが世界各地にあって、殉教者たちに対する崇敬をたかめている。

聖ペドロ・バウチスタは、京都を出発するとき、東寺と京都の南正門である羅城門との間で、コスメ庄林という熱心なキリシタンに持っていた象牙の十字架を与えた。後にコスメはそれをジェロニモ・デ・ジェズス修道士に渡し、ジェロニモは翌年マカオで、それをマルセロ・リバデネイラか、フアン・ボープレか一人の修道士の一人に渡したらしい。それを受け取った修道士が、聖ペドロ・バウチスタの遺骨の一部と一緒に、その生家であるイスパニアのサン・エステパンにもたらした。聖人の生家は現在大切に保存されており、その一部が記念礼拝堂になって、遺骨も、聖人遺愛の象牙の十字架もこの礼拝堂に安置されていることをディエゴ・バチェコ神父が確認した。（日本キリシタン殉教史　片岡弥吉著P一一〇から）

## 愛の街頭募金

（昭和56年度）

| 収入 | | 支出 | |
|---|---|---|---|
| 教会名 | 募金額 | 配分先 | 金額 |
| **福岡地区** | | しいのみ学園 | 60,000 |
| 大名町教会 | 139,005 | 心身障害児を守る会 | 100,000 |
| 浄水通〃 | 104,766 | 古処学園 | 100,000 |
| 光ケ丘〃 | 65,686 | 今村聖母園 | 150,000 |
| 西新〃 | 17,605 | 清心慈愛園 | 100,000 |
| 美野島〃 | 28,385 | 聖ヨゼフ園 | 100,000 |
| 高宮〃 | 284,497 | 久留米天使園 | 100,000 |
| 老司〃 | 72,588 | 北野学園 | 100,000 |
| 吉塚〃 | 48,000 | 第二北野学園 | 100,000 |
| 茶山〃 | 53,028 | 菊池園 | 100,000 |
| 箱崎〃 | 111,744 | 天光園 | 80,000 |
| 大楠〃 | 70,490 | あけぼの学園 | 70,000 |
| 東田島〃 | 100,000 | 福岡教諄師会 | 100,000 |
| 大牟田〃 | 24,474 | 西日本新聞民生事業団 | 100,000 |
| 吉野〃 | 53,966 | カリタス・ジャパン | 505,072 |
| 今村〃 | 138,958 | 地区困窮者 | 83,083 |
| 本郷〃 | 117,000 | 諸経費 | 17,060 |
| 小郡〃 | 47,583 | | |
| 福岡海星女子学園 | 172,715 | | |
| 久留米信愛女学院 | 30,000 | | |
| 明光学園 | 171,180 | | |
| サンスルピス大神学院 | 113,545 | | |
| 計 | 1,965,215 | 計 | 1,965,215 |
| **熊本地区** | | 熊本市社福協へ預託 | 1,387,811 |
| 手取教会 | 495,731 | 警察署許可書印紙代 | 7,165 |
| ガブ・ボーイスカウト | 168,168 | 通信費・ビニール袋他 | |
| 日曜学校 | 28,346 | | |
| 島崎教会 | 174,495 | | |
| 健軍教会 | 120,000 | | |
| 帯山教会 | 124,689 | | |
| 信愛女学院 | 122,813 | | |
| 聖心修道院 | 160,734 | | |
| 計 | 1,394,976 | 計 | 1,394,976 |

綜合建設業
八千代建設株式会社
取締役　社長　田中　清
取締役副社長　渡辺勝三郎
〒810 福岡市中央区薬院3－2－9　TEL 531－1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく
(株)メガネの正視堂
代表者　フランシスコザビエル　臼井芳数
行橋市駅通り本店　☎2－0646
〃　駅前5秒店　☎2－2390
北九州市黒崎年金病院前店☎641－4321
〃　ダイエー城野店3階☎922－5637

# はじめての市民クリスマス
## 八代新・旧教会合同の試み

旧ろう二十日（日）午後二時から、八代市内のカトリック・プロテスタント教会共催のチャリティ市民クリスマスが開かれた。

八代白百合高校体育館でのはじめての試みであったが、市民の関心は高く、三〇〇人の参加で成功であった。

信者以外の一般の人たちにクリスマスの意義を知ってもらう目的で実施し、神父・牧師による祈りや聖書の話し、聖書朗読が行われた。また、八代少年少女合唱団による宗教曲合唱、白百合幼稚園児の器楽合奏に盛んな拍手が送られた。最後には、キャンドルサービスの宗教的雰囲気の中で、クリスマスへの理解を深めた。

この催しに参加した教会は、八代カトリック教会（主任、ヨゼフ・グリーン師）、日本福音ルーテル八代教会、日本バプテスト連盟八代新生教会、日本アッセンブリ教団シャロンキリスト教会であった。キリスト教一致運動の高まりの中で、出来ることに歩調を合わせるという第一歩に、共同の証しとしての市民クリスマスを企画したことは結構なことであろう。

なお、この日の入場料（三〇〇円）の売り上げは、NHK歳末助け合いに届けられた。

白百合幼の器楽合奏

キャンドルサービス

## 典礼聖歌講習会ご案内

聖週間復活の大祝日の前に典礼聖歌集をより豊かな祈りの音楽とするための研修会

講　師／高田三郎先生（作曲家ＴＳの略号）

対　象／教会聖歌隊指導者・司祭
オルガニスト
聖歌隊員及び信徒・信道女等

日　程／昭和57年3月28日（日）　10時～4時
歌唱ミサ　4時より聖堂で行う。

場　所／熊本市手取カトリック教会ホール
（市電バス通町下車、鶴屋デパート前）

会　費／3,500円（当日受付にて）
典礼聖歌集を持参、分冊でもよいが当日合本を販売しています。

申し込み方法
3月20日必着、官製はがき（連名でもよろしい）所属教会・修道院名　氏名・住所・TEL

申し込み先　福岡典礼聖歌研究会
世話係　シスター　内田マリ子
〒869 熊本市上林町3-18　信愛修道院
(0963-54-5355)

## 司祭異動

▽聖パウロ会福岡修道院院長　百村等神父（同院長代行）
▽同会計・志願者担当　永谷計神父（東京・若葉修道院）

## 二月年忌の司祭

▼ジョン・オマラ神父（聖コロンバン宣教会）一九七四年二月十四日元荒尾教会主任。
▼ヨゼフ・ボア神父（パリ外国宣教会）一九五七年二月十七日元黒崎教会主任。
▼フランソワ・ベルトラン神父（パリ外国宣教会）一九四〇年二月二十二日元門司港教会主任。

## 会合と催し

☆平田司教
2月14日　本郷教会堅信
21日　老司教会堅信
☆福岡黙想の家
2月8日～10日　西南大学研究会
14～20日　広島教区の司祭黙想会

## 飛脚

▽大分教区宮崎教会の村岡久義師（元福岡教区本郷教会主任）は、昨年十一月上旬から、心因性ゼンソク症のため九大病院（病室は東病棟八階面会許可中）で療養している。お見舞いとお祈りを！

▽一月二十七日（水）午前十時から、司教館附属司祭の家で、福岡市内カトリック教会婦人有志の会が再組織され、地区連合婦人会としての発会式が行われた。

▽一月三十一日（日）午後一時三十分から、司教館司祭の家で、福岡教区信徒使徒職協議会の役員会を開催した。

㈠信徒使徒職協議会について
㈠信徒使徒職のあり方
㈡聖職者との意見交換
㈢信徒協の方針
ことばと行動の証し―宣教。
㈣信徒協役員の改選
㈤次期役員会の開催日時
㈥その他

以上の議事について討論した。

▽全国で独り暮らしの老人は九八四、〇〇〇人という。弱者の味方であるキリスト教徒は愛の眼を！

Cnstom Tailor
糸永洋服店
福岡市中央区浄水通8－8
TEL 531－3831
夜間 521－0820

祭壇・洗礼盤他
素材 石石他 理影の 大御そ
石のパイオニア
髙木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2－21
TEL 52－2417

1982.5.

# カルカッタを訪ねて（完）

渡辺隆義

四、カルカッタの教会

(1)マザーテレサの活動

カルカッタに行くと言うと、すぐ、マザーテレサに会いに行かれるのですかという問がかえってきた。今回の旅行の目的はマザーに会うことよりもカルカッタの人々に出会うためであった。しかし、小教区の信徒からあずかった義捐金をとどけるためにもマザーテレサの修道院を訪ねた。マザーはあいにくオストラリアに行っているとかで、会うことができなかったが、夕闇せまる修道院の夕べの祈りに圧倒されそうであった。三百名近いといわれる志願者たちの歌声はまさに神への感謝・賛美の溢れ出であった。そしてこの機会に、映画でも紹介された小さい子供たちの家、死を待つ人々の家も訪ねた。小さい子供たちの家にはつい最近収容されたという骨と皮だけの赤ん坊が数人いた。また死を待つ人々の家には土間のようなところに粗末なベッドがずらりと並んでいる。決して立派な施設とはいえないが病める人々には身体と心のやすらぎの場なのである。カルカッタの街ではマザーの「神の愛の宣教者会」のシスターたちの姿が目につく。彼女たちは人々の中で会の制服を着ることによって、貧しい人、病める人、苦しむ人々に自分を使ってくださいと申し出ているように見えるのであれる。

(2)神学校

十月三日（土）、カルカッタ郊外にある小神学校と大神学校を訪ねた。小神学校とはいっても、中学、高校生のためのものではなく、大神学校に入る前の教養課程のようなものである。小神学校は二年間の課程で特に英語を重点的に勉強する。その他に靈性、カテケジス、教会史などが付加されている。小神学校をあとにした私たちは、モーニングスター大神学校を訪ねた。助祭の神学生が校内を案内してくれた。各地から集まった百八十名ほどの大神学生が聖堂で昼の祈りをしている。神学生の服装はそれぞれ思いのままで画一的ではない。豚を飼ってあるのが何とも愛嬌である。ここの大神学生は、教授たちもそうであるが、休暇や日曜日の休みなどを利用して教会や社会に奉仕する。私たちが滞在していた寄宿舎の子供たちに歌を教えるために二人の神学生が奉仕していた。神学校で共にした昼食が思い出される。聖堂から食堂までは沈黙である。神学生と教授たちは別のテーブルで、出されているものも少し違うようだ。食前の祈りがすむと、二百名もの人間のつんざくような声で互いの話しが聞こえないこともしばしばであった。ここの大神学校だけをみると召し出しは多いようにみえるが、インドという国全体からみると司祭の数は不足しているとのことであった。

(3)小教区

十月四日（日）、私たちは、小教区の事情をみるためにセントメリー教会を訪ねた。午前八時三十分から青年担当のミサに与かる。十名ぐらいの青年男女がエレクトーンや太鼓などの楽器にあわせてのびのび歌っている。ミサのあと教会内を案内していただく。マザーテレサの修道会のシスターたちが子供たちに要理を教えている。驚いたのは、ヒンズー語の要理のクラスと英語の要理のクラスが別々にもうけられていることだ。午前十時三十分、子供を中心にしたミサが始まる。私たちも共同司式でミサに参加した。先程の要理のクラスの子供たちとシスターたちの顔がみえる。子供たちが元気に歌っている。小教区では、英語とヒンズー語の両方のミサがある。ミサのあと、小教区の信徒の家を数軒訪問する。アパート住いで、いかにも中流か上流階級らしい雰囲気をかもし出している。しかしクーラーを持った家庭などない。旧式の扇風機がまわっているだけだ。主任司祭の話しでは、教会のミサに来られる人は恵まれているとのことであった。より貧しい人々は教会にさえも来られないのである。彼らのもとには、司祭、修道者、信徒自身が出向いていくのである。

五、カルカッタの旅を終えて

今、三ケ月余り前に訪れたカルカッタを思い出している。貧しい人々の群、シスター達の献身的奉仕、子供たちの笑顔、素足で人力車をひく汗と泥にまみれた男の人たち、美しいサリーをまとって優雅に歩く婦人たち、路地裏の親子、車の排気ガスと騒音等々一つ一つが日本社会と異質なものである。もちろんインドは広大な国であり、カルカッタを離れると風光明媚なところが数多くあるにちがいない。しかしこのインドの地に、今日の日本の社会ではみることのできない貧しさが存在しているのであり、私たちが失いつつある人としての心、物を大切にする心、神を感じる心のゆとりをもった多くの人々が生活しているのである。貧しい人々、飢えた苦しむ人々にお金を援助して隣人愛を実践していると錯覚している私たちは、パンを店まで買いに行く元気もない病人に、このお金でパンを買って食べなさいといって立ち去る人に似ている。昨年のクリスマス、幼な児イエスはこのきれいな日本の教会にお生まれになれたのだろうかと思う。ひょっとすると、イエスはあの薄汚いカルカッタの教会を御自分の誕生の場としてお選びになったのではないか、ふとそのような一抹の淋しさを感じたのである。日本では多くの人々が生活が苦しいといっている。本当にそうだと思う。でも私たちは飢えのために死ぬことはない。私たちよりも貧しい生活をしているカルカッタの人々が、より貧しい人々を助けている現実は、日本社会に対する痛烈な皮肉ではないだろうか。

（合志教会主任代行）

## 四旬節

主の復活祭を迎える前に、四旬節とよばれる40日間におよぶ長い準備のときがある。「灰の水曜日」に祝別された灰を額に受け、「人は塵から生まれたものだから、また塵にかえってゆくことをおぼえておきなさい。」と戒められ、祈りと節制の四旬節に入る。

四旬節の間は、主の苦しみをしのび、その悲しみをあらわすために、喜びの「アレルヤ」の句をとなえることをひかえ、祭服も紫色のものを用いる。四旬節は、灰の水曜日からはじまる。（カトリック中央協議会の典礼暦から）

## 邦人司祭育成の日献金

（S.56.12.6）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 町 | 108,000 | 島 | 10,600 | 塚 | 10,000 |
| 名水通 | 47,205 | 渡子 | 17,430 | 川 | 10,500 |
| 光ケ丘 | 46,000 | 賀津 | 21,210 | 原 | 62,390 |
| 箱崎 | 12,000 | 里栖 | 10,770 | 橋 | 18,054 |
| 東田島 | 28,600 | 馬万 | 5,000 | 取 | 59,501 |
| 西新楠 | 28,900 | 呼雄 | 6,469 | 尾 | 10,000 |
| 大島山 | 11,368 | 佐島 | 4,800 | 吉 | 11,450 |
| 美野 | 10,000 | 唐久 | 1,700 | 渡 | 4,020 |
| 茶宮 | 13,000 | 伊司 | 4,000 | 軍 | 20,000 |
| 高塚 | 98,300 | 鳥港 | 20,000 | 山 | 9,100 |
| 老賀 | 40,000 | 武倉 | 12,304 | 江 | 18,356 |
| 吉市 | 34,628 | 鹿川 | 92,388 | 津 | 11,115 |
| 古塚 | 48,567 | 多畑 | 24,567 | 崎 | 67,520 |
| 二日 | 41,000 | 門松 | 57,818 | 名 | 10,500 |
| 久留米 | 53,865 | 司町 | 9,110 | 代 | 16,700 |
| 大牟田 | 11,610 | 港神 | 20,000 | 免 | 4,628 |
| 吉野 | 30,000 | 倉崎 | 52,000 | | |
| 今村 | 111,228 | 小寺 | 9,000 | | |
| 本郷 | 23,000 | 湯巻 | 28,700 | | |
| 小郡 | 5,440 | 戸方 | 4,800 | | |
| | | 若 | | 飯 | |
| | | 松 | | 田 | |
| | | 町 | | 新 | |
| | | 崎 | | 行 | |
| | | 島 | | 手 | |
| | | 玉 | | 荒 | |
| | | 八 | | 人 | |
| | | 志 | | 本 | |

合計 1,559,211


信頼に誠意と技術でこたえる

株式会社 藤木工務店

取締役社長　藤木鐵三

福岡支店長　池内満

福岡支店　福岡市博多区博多駅南4-18-2　電(092)441-6585

各種高圧ガス・溶接材料・その他

松尾産商株式会社

社長　松尾光敏

北九州市若松区藤ノ木1—4—23

TEL 771—3657

吉川病院

院長　吉川東陽

福岡市中央区平尾四ツ角　TEL 521—0568

# カトリック

平田司教認可
発行所
福岡市中央区浄水通39
福岡司教館
発行兼編集人 山田成章
電話092—522—5139
振替口座 福岡3-42981
定価 一部 25円


祈禱の使徒会
(一般)試練におけるキリストの愛
(布教)南洋諸島における社会問題

## 司教団の積極的な平和攻勢

### 盛り上げよう署名運動

### 核兵器完全禁止と軍縮の実現へ

### 第2回国連軍縮特別総会に

去る二月二十三日は、教皇ヨハネ・パウロ二世訪日一周年目であった。かずかずの感動と教訓を残した教皇の平和と司牧の巡礼者の旅であったが、広島での平和宣言程感銘深く聞いたものは他にないであろう。

『戦争は死である』との教皇の強い戦争否定にも拘らず、国際状況は一歩一歩と死への旅路に向かっている恐ろしさである。力による紛争処理が日常化され、当然視されている気運は、人類社会の不安もいやだちを増大させている。

日本カトリック司教団は、これらの不幸な情勢に敢然と立ち上がり、本年五月～六月の第二回国連軍縮特別総会に向けて行動を起こすことになった。それは、核兵器完全禁止と軍縮の実現のための全国的署名運動を展開することである。司教団はつぎの趣意書を送って、全国の信者の協力を要請している。(三月三十一日まで)

—趣意書—

「核兵器完全禁止を要請しよう」第二回国連軍縮特別総会(一九八二・六月)に、核兵器完全禁止と世界的軍縮の早期実現を通して人類滅亡の危機を救い、あわせて世界の飢餓と貧困の克服の第一歩を踏み出すことを要請する署名の訴え。

教皇ヨハネ・パウロ二世は広島における平和アピール(一九八一、二、二五)において「戦争は人間の仕業です。」「ヒロシマを考えることは核戦争を拒否することです。ヒロシマを考えることは平和に対する責任を取ることです。」「人類同胞に向かって軍備縮小とすべての核兵器の破棄を約束しようではありませんか。」と力強く宣言されました。しかし実際には世界の核軍拡競争は新しい段階に入り、とどまるところを知らない勢いで進められています。

東西両陣営の間に生まれた核軍拡の悪循環を、今断ち切らねば世界の破滅にまで突入する危険を避けることはできない情勢です。現在世界には広島に落とされた原爆の数百万発分が蓄積され、年間五、〇〇〇億ドル(百兆円)以上の軍備費が使われています。

人類は自ら発見した武器を使用しなかったためしがありません。したがってすべての核兵器についても私どもは表現できぬほどの恐怖を感じます。今こそ私ども全人類が一体となって核軍拡の悪循環を断ち切るために平和の声をあげるべき時であります。

核兵器の出現以来、戦争に勝つことによって国の安全、世界の安全を守る時代は過ぎました。平和を守ることによってのみ、特に世界の安全、国の安全を守ることができるのです。

戦争は人間の仕業であり、核兵器は人間が造り出したものです。それゆえ核兵器を完全に禁止し、平和な世界をつくりだすことも人間の責任です。

今こそ平和への声を世界のすみずみにまで、東西両陣営の奥にまで行き渡らせ、世界の破滅への歩みを押し止めようではありませんか。

この署名へのご協力を全カトリック信徒、又これに賛同されるすべての善意の方々に心からお願い致します。第二回国連軍縮特別総会に集まる世界の人々の平和への叫びに和し、神のあわれみへの信頼に導かれてこの署名運動を私たちの祈りとして神にささげましょう。

又、この署名運動を単なる署名に終わらせず、平和への協力、平和研究、平和教育、平和活動の充実特に核爆発、被爆の実相についての展示、平和行進、講演会等、平和への関心を深め、広める機会にしていただきたいと思います。更に平和は単なる人間の業ではなく、キリストが「私の平和をあなたたちに与える」と言われたように、平和は神の恵みであり、神の導きもとに育てるものであります。

この際、平和のための祈りを深めていただきたいと思います。特に皆様が二月二五日の教皇平和アピール一周年を期して活動を繰り広げてくださることを期待しております。

一九八二年一月
日本カトリック司教団

### 司祭異動

☆水巻教会主任 ラバルタ師(門司教会主任) ☆門司教会主任ベリヨン師(小倉教会助任) 以上二月三日付。

☆八王寺教会主任 ベルトラン師(水巻教会主任) ☆小倉教会助任デシャンブ師(八王寺教会主任) 以上二月十六日付。

### 三月の聖体礼拝当番教会

三月 七日 荒尾
三月 十四日 人吉
三月二十一日 本渡
三月二十八日 健軍

### 微光

春めきし風と覚えつ急がすゆく 立子。広辞苑によれば、春の季節は、日本、中国では立春(二月四日頃)から立夏(五月六日頃)までを指す。太陽暦では三月～五月まで、天文学的には春分(三月二十一日)～夏至(六月二十一日)までという。春の表現はまちまちであるが、春めいてきた事実は明らかである。春の季節風はいろんな行事を運んでくる。ひな祭り、卒業式、退職、転勤、教会の黙想会など、暦が沢山のおつきあいがひしめいている。▼自然は春の装いをもってわたしたちを温かく迎えてくれる。『冬来たりなば春遠からじ』、時計の針の如く正確に、四季の節目と季節の恵みを与えてくれる神に、感謝を忘れてはなるまい。季節の移り変わりに、自然との対話が待たれる。神の手になる自然は、神の偉大さを称えるだけではなく、神の道具として神を宿している、と理解できる。静かに自然に対するとき、そこに神を見、神に聞き、神を語ることになると思う。▼開発の巧言に乗せられて自然が失われて行くのをみるのは淋しい。さらに、開発の陰に苦しむ弱者が増すのは心を痛める。概して自然を手放す心には、社会の共通善ではなく、特定の人たちの利潤追求のみが存在するのではなかろうか、自然を愛する心を取り戻さなければならない。自然が人類共通の財産としての天与の恩恵である限り、一人ひとりがその分配に与かる権利と破壊をくい止める義務を負うている。


事務用機器・コンピューター・学校用・幼稚園備品
㈲シオタ事務機・㈱日本幼育社
社長 カシミロ・塩田五郎
福岡市南区大楠2丁目23—15(西田ビル2F)
TEL 代表 092(521)—8266—7

熊本石材株式会社
熊本市島崎4丁目2ノ68
電話 52—3306
52—8622

# 教区信者総数二九、六八四人

## 大神学生七、小神学生一八

## 前年に比べ六七四人の信者増

一九八一年十二月三十一日現在の福岡教区教勢は、つぎのとおりである。

(一)信者総数（司祭、修道者、神学生、居所不明を含む）は二九、六八四人。信徒のみの実数は、二六、一〇八人。小教区数は五七。子供と大人の受洗者数（臨終洗礼を除く）は六、一八八。転入者一、二六二人。死亡者数は一、七三八。転出者は一、一九五人。居所不明者は二、九〇九人。

(二)聖職者および神学生　司教二。邦人教区司祭三四、邦人修道司祭十二、外人司祭五八。教区小神学生一八、教区大神生七。

(三)修道者

男子修道者一〇、修道女は邦人四三九に対し外人二〇、志願者五八。

(四)伝道師

男子は十三、女子は四二八。

(五)教育施設

短大一、高校九、中学校五、小学校三、各種学校三、幼稚園・保育園五八、日曜学校四二。日曜学校を除く教育施設への通学生は二〇三七人となる。

(六)社会施設

病院二（ベット数一七七）、老人ホーム五（老人数三四九人）、養護施設七（児童数三七一人）。らい病院一（収容人員五〇）。

(七)活動団体

レジオ・マリエ（十二プレシジウム、九二八）、ボーイスカウト（三分団八〇人）、婦人会（二三支部一、二二八）、青年会（十四支部一、七一人）、学生会（八支部二四八人）、信徒使徒職会（五支部一六〇人）ト聖書研究会（六支部一七一人）、ミサ奉仕会（一〇支部一六五人）。

前年に比較して信徒総数は六七四人増であるが、受洗者（子供と大人）は四〇人減、転入者が一四〇人増、転出者は一七人増である。居所不明の信徒数は四三二人増の問題を残している。

## 福岡教区教勢

（1981年1月1日～12月31日）

| 教区名 | | 洗礼 子供 | 洗礼 大人 | 洗礼 臨終 | 求道者 | 世帯数 | 婚姻 信徒間 | 婚姻 混宗 | 信徒数 実数 | 信徒数 名簿上の数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 福岡地区 | 茶山町 | 7 | 4 | 0 | 2 | 118 | 2 | 5 | 430 | 443 |
| | 大名日市 | 23 | 20 | 1 | 35 | 250 | 5 | 27 | 1,482 | 1,483 |
| | 二箱崎 | 6 | 0 | 0 | 5 | 70 | 0 | 2 | 305 | 330 |
| | 東田島 | 3 | 4 | 0 | 8 | 23 | 2 | 1 | 167 | 186 |
| | 光ケ丘 | 11 | 5 | 0 | 12 | 124 | 0 | 11 | 483 | 514 |
| | 本今郷 | 20 | 5 | 0 | 12 | 292 | 0 | 5 | 690 | 710 |
| | 浄水通 | 9 | 1 | 0 | 6 | 110 | 2 | 6 | 620 | 643 |
| | 古賀 | 9 | 5 | 2 | 0 | 229 | 1 | 12 | 1,217 | 1,217 |
| | 久留米 | 0 | 0 | 0 | 63 | 72 | 0 | 8 | 177 | 179 |
| | 馬渡島 | 11 | 4 | 0 | 7 | 140 | 0 | 0 | 420 | 420 |
| | 美野島 | 19 | 15 | 0 | 25 | 298 | 4 | 19 | 752 | 1,135 |
| | 西新 | 0 | 0 | 0 | 0 | 91 | 0 | 0 | 467 | 474 |
| | 小郡 | 1 | 3 | 0 | 0 | 62 | 1 | 1 | 138 | 258 |
| | 大牟田 | 6 | 9 | 0 | 3 | 167 | 1 | 9 | 588 | 884 |
| | 大刀洗 | 10 | 0 | 0 | 0 | 72 | 0 | 1 | 242 | 266 |
| | 老司 | 6 | 0 | 1 | 49 | 61 | 0 | 1 | 151 | 223 |
| | 高宮 | 3 | 2 | 2 | 6 | 66 | 0 | 2 | 231 | 270 |
| | 吉塚 | 7 | 7 | 0 | 4 | 164 | 2 | 2 | 418 | 418 |
| | 古賀 | 4 | 6 | 1 | 10 | 79 | 1 | 2 | 460 | 500 |
| | 二日市 | 1 | 5 | 0 | 7 | 16 | 0 | 0 | 41 | 52 |
| | 久留米 | 10 | 5 | 1 | 12 | 193 | 1 | 4 | 533 | 763 |
| | 計 | 166 | 100 | 8 | 266 | 2,697 | 22 | 118 | 10,012 | 11,341 |
| 北九州地区 | 八王寺 | 2 | 7 | 0 | 16 | 62 | 0 | 2 | 238 | 238 |
| | 飯塚 | 9 | 2 | 0 | 2 | 45 | 0 | 0 | 228 | 228 |
| | 小倉 | 30 | 14 | 1 | 90 | 729 | 11 | 20 | 2,136 | 2,422 |
| | 黒崎 | 6 | 10 | 0 | 8 | 408 | 1 | 7 | 1,185 | 1,247 |
| | 水巻 | 2 | 5 | 0 | 3 | 161 | 1 | 6 | 540 | 561 |
| | 門司 | 3 | 1 | 0 | 8 | 178 | 0 | 2 | 428 | 437 |
| | 門司港 | 1 | 0 | 0 | 5 | 65 | 0 | 0 | 170 | 181 |
| | 直方 | 1 | 2 | 0 | 0 | 34 | 0 | 1 | 142 | 142 |
| | 新田原 | 22 | 5 | 25 | 3 | 400 | 9 | 3 | 1,627 | 1,662 |
| | 神町 | 5 | 1 | 0 | 3 | 52 | 0 | 2 | 165 | 198 |
| | 天神 | 2 | 19 | 0 | 7 | 132 | 0 | 3 | 316 | 328 |
| | 戸畑 | 13 | 15 | 0 | 65 | 298 | 0 | 5 | 918 | 1,353 |
| | 若松 | 2 | 1 | 0 | 0 | 105 | 0 | 0 | 366 | 366 |
| | 川橋 | 12 | 3 | 0 | 1 | 278 | 0 | 7 | 929 | 980 |
| | 行橋 | 16 | 7 | 0 | 5 | 143 | 0 | 1 | 546 | 616 |
| | 計 | 126 | 92 | 26 | 216 | 3,090 | 22 | 59 | 9,934 | 10,959 |
| 佐賀地区 | 伊万里 | 3 | 2 | 0 | 0 | 67 | 0 | 0 | 165 | 183 |
| | 唐津 | 10 | 4 | 2 | 7 | 134 | 0 | 5 | 380 | 387 |
| | 鳥栖 | 0 | 0 | 0 | 1 | 36 | 0 | 0 | 57 | 85 |
| | 佐賀 | 9 | 13 | 25 | 18 | 283 | 3 | 7 | 625 | 689 |
| | 武雄 | 0 | 0 | 0 | 3 | 40 | 0 | 1 | 94 | 130 |
| | 多久 | 0 | 2 | 0 | 2 | 33 | 0 | 0 | 106 | 110 |
| | 鳥栖 | 6 | 5 | 2 | 5 | 40 | 0 | 2 | 213 | 259 |
| | 呼子 | 5 | 0 | 0 | 0 | 80 | 3 | 1 | 465 | 465 |
| | 計 | 33 | 26 | 29 | 36 | 713 | 6 | 16 | 2,105 | 2,308 |
| 熊本地区 | 荒尾 | 2 | 1 | 1 | 4 | 44 | 0 | 0 | 83 | 83 |
| | 吉人 | 2 | 0 | 2 | 19 | 48 | 0 | 2 | 225 | 225 |
| | 本渡 | 0 | 0 | 0 | 0 | 104 | 0 | 2 | 192 | 192 |
| | 健軍 | 3 | 1 | 1 | 8 | 157 | 0 | 2 | 405 | 405 |
| | 菊池 | 5 | 0 | 1 | 4 | 78 | 0 | 0 | 309 | 365 |
| | 水俣 | 3 | 3 | 0 | 6 | 64 | 0 | 0 | 126 | 169 |
| | 帯山 | 5 | 4 | 2 | 3 | 98 | 0 | 2 | 312 | 344 |
| | 大江 | 5 | 0 | 0 | 6 | 124 | 2 | 2 | 415 | 469 |
| | 津崎 | 5 | 0 | 0 | 0 | 90 | 0 | 3 | 302 | 310 |
| | 島名 | 7 | 5 | 2 | 2 | 139 | 1 | 5 | 415 | 421 |
| | 玉取 | 1 | 0 | 1 | 2 | 26 | 0 | 4 | 91 | 97 |
| | 手代 | 6 | 11 | 5 | 54 | 480 | 4 | 40 | 970 | 1,056 |
| | 八代 | 4 | 2 | 1 | 4 | 92 | 0 | 1 | 212 | 273 |
| | 計 | 48 | 27 | 16 | 112 | 1,544 | 7 | 63 | 4,057 | 4,409 |
| 合計 | | 373 | 245 | 79 | 630 | 8,044 | 57 | 256 | 26,108 | 29,017 |

（注）司祭・修道士・修道女・神学生は含まれていない。

## 児童福祉の日献金（1月31日）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 大名町 | 92,000 | 倉川畑 | 90,574 | 西新幼 | |
| 浄水通 | 31,400 | 小湯松 | 25,724 | カト吉 | 50,757 |
| 光ケ丘 | 37,200 | 戸町崎 | 54,862 | 人カト幼 | 139,781 |
| 箱崎 | 8,000 | 若神寺 | 12,780 | 鹿島幼 | |
| 東田島 | 35,000 | 天黒王 | 68,618 | カト幼 | 10,350 |
| 西新 | 39,090 | 八水巻 | 51,826 | 福岡幼 | |
| 大楠 | 7,866 | 直方塚 | 7,000 | カト幼 | 49,825 |
| 美野島 | 8,060 | 飯田川 | 45,112 | 湯川 | |
| 茶山 | 12,600 | 田原 | 6,000 | カト幼 | 40,613 |
| 高宮 | 46,500 | 新橋 | 26,500 | 田川 | |
| 老司 | 33,000 | 行手尾 | 19,250 | カト幼 | 88,056 |
| 吉塚 | 16,715 | 荒屋敷 | 56,500 | 晴明の星幼 | 59,663 |
| 古賀 | 31,102 | 八本渡 | 15,138 | 光学園 | |
| 二日市 | 19,000 | 健軍 | 70,819 | 中吉塚高 | 38,000 |
| 久留米 | 48,460 | 帯山 | 10,000 | カト保ゼ | 10,000 |
| 大牟田 | 18,000 | 水俣 | 23,500 | 聖ヨゼフ幼 | 208,000 |
| 吉野 | 2,117 | 大江 | 50,000 | 福岡雙葉小 | 207,083 |
| 今村 | 103,000 | 島津 | 80,000 | 福岡雙葉中・高 | 192,381 |
| 本郷 | 23,000 | 名 | 9,000 | 八代白百合学園 | 50,000 |
| 小郡 | 6,177 | 日市 | 57,240 | 大濠幼 | 45,000 |
| 馬渡島 | 11,570 | 久留米 | 15,929 | 戸畑天使園 | 108,379 |
| 呼子 | 17,150 | 大牟田 | 46,500 | 聖門司幼 | 93,741 |
| 佐賀 | 20,450 | 吉野 | 18,600 | 母門司教会 | |
| 唐津 | 10,200 | 今村 | 5,146 | 高校生会 | 13,000 |
| 伊万里 | 5,000 | 本郷 | 27,896 | 聖水巻幼 | 56,888 |
| 鳥栖 | 60,137 | 小郡 | 52,995 | 牟田幼 | |
| 鹿島 | 2,500 | 八幡カト | 50,714 | 大牟田天使幼 | 50,500 |
| 多久 | 41,958 | 宮尾カト | 33,230 | 若松天使園幼 | 141,195 |
| 門司 | 38,419 | 高宮幼 | 93,903 | 久留米聖母幼 | 103,405 |
| 門司港 | 16,196 | 倉小倉幼 | 158,451 | 合計 | 3,968,925 |
| | | 唐津カト幼 | 23,634 | | |
| | | 唐津カト幼父母の会 | 10,000 | | |
| | | 伊万里カト幼 | 10,000 | | |
| | | 二日市カト幼 | 43,000 | | |


綜合建設業

八千代建設株式会社

取締役　社長　田中　清

取締役副社長　渡辺勝三郎

〒810 福岡市中央区薬院3－2－9　TEL 531－1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく

(株)メガネの正視堂

代表者　フランシスコザビエル　臼井芳数

行橋市駅通り本店 ☎2－0646

〃　駅前5秒店 ☎2－2390

北九州市黒崎年金病院前店 ☎641－4321

〃　ダイエー城野店3階 ☎922－5637

## 愛の街頭募金

昭和56年度 （北九州地区）

| 収入 教会名 | 募金額 | 支出先 配分 | | 金額 |
|---|---|---|---|---|
| 門司港 | 103,371 | 天使育児園 | （門司） | 80,000 |
| 門司 | 185,070 | 光の子学園 | （〃） | 80,000 |
| 小倉 | 83,526 | 北九州身障者療護センター | （〃） | 40,000 |
| 戸畑 | 201,313 | あすなろ学園 | （小倉南） | 80,000 |
| 水巻 | 114,540 | あだち園 | （〃） | 80,000 |
| 湯川 | 128,730 | 長寿園 | （戸畑） | 80,000 |
| 行橋<br>新田原 〉 | 262,782 | 聖小崎育児園 | （八幡西） | 80,000 |
| | | 聖ヨゼフ園 | （〃） | 80,000 |
| | | ひびき学園 | （若松） | 80,000 |
| | | 希望舎 | （岡垣町） | 80,000 |
| | | 聖家族の家 | （豊津町） | 80,000 |
| | | みやこ老人ホーム | （行橋） | 40,000 |
| | | 石並園 | （〃） | 40,000 |
| | | 北九州インドシナ難民救援会 | （門司） | 40,000 |
| | | カリタス・ジャパン（日本カトリック社会福祉協議会） | （東京） | 119,332 |
| 計 | 1,079,332 | 計 | | 1,079,332 |

※カリタス・ジャパンへは、上記金額に天神町教会からの献金215,000円を合せ、334,332円を送金いたしました。

## 会合と催し

☆平田司教
3月2日 司祭月例集会
7日 帯山教会堅信
21日 助祭叙階式（大名町）
22日 新田原マリアの園幼稚園（未認可）落成式
28日 大江教会堅信

☆福岡黙想の家
3月2～4日 湯江施設役員の研修会
5日 浄水通教会婦人会
6～7日 広島在俗会
20～21日 アウグスチノ修道会第三会の集まり
21～24日 オブレート会の研究、黙想会
24～4月1日 シスターの黙想会

## ドミニコ高木慶一さん
（高木善行師の実父）

二月二十日午前四時十分、老衰のため自宅（熊本市島崎四丁目六ー九）で死亡。享年八十一歳。葬儀ならびに告別式は、二十二日午後一時から島崎カトリック教会で盛大にそしてしめやかにとり行われた。

喪主は長男慶治さん。故慶一さんは十二人の子宝（六男六女）に恵まれたが、司祭一、修道女六人を捧げた。浦上キリシタン各藩流配の津和野組のリーダーであった高木仙右衛門氏の孫に当たる。信仰心が厚く、とくに、司祭・修道者に対する尊敬と援助を惜しまなかった。

## 福岡地区合同成人式

合同成人式

去る一月十七日午後一時三〇分から、大名町教会で福岡地区カトリック青年の合同成人式が行われた。積雪十数センチという厳しい寒さであったが約二十人の新成人を中心に、平田司教や司祭、青年信徒多数が集まり祝福した。

祝賀パーティの前の「みことばの祭儀」において、平田司教は新成人を激励し、青年に期待するとともに強い信仰の心を持って行動するように語った。

新成人となった津屋崎町宮司的岡の小林証君はつぎの感想文を寄せた。「二十歳になったからといって、私にそれほど大きな喜びがある訳ではないが、人生の一つの大きな区切りにしたいと思う。義務を果たすことだけでは、本当の意味の責任を全うしたとは言えないのではなかろうか。一見平和すぎる日本社会の中で、自由の本当の意味を見失ってはいないだろうか。私は自由を愛する、だからキリストを愛し、神を信じる。しかし私たちの国は自由だからこそ、責任は重いのである。アフリカの難民を見よ、飢えという大きな壁と戦っている。ポーランドの労働者、インドや日本の苦しみ戦っている人たちと連帯して戦わなければならない。何故ならば、隣人の幸せな姿を見るとき心は和み、隣人の苦しみを黙視できないのだから。社会的にもキリスト者としても大人の自覚をもって頑張りたい。」

## 飛脚

☆一月二十四日（日）、平田司教はベトナム難民慰問のため、収容先の山田市下山田の日赤ベトナム難民施設『大法園』を訪問した。午後一時半からミサを捧げたが、収容者八〇人中五〇人がカトリック信者である。

☆福岡地区連合婦人会の発会式が一月二十七日（水）午前十時から福岡司教館司祭の家で行われ、福岡市内各教会および本郷教会から三十一人の代表が集まった。従来の婦人有志の会を、平田司教の意向を汲んで発展させたものといえよう。家庭・社会におけるカトリック婦人の偉大な役割りと召命の養成の観点から、神学生への理解と援助を願う司教の訓話があったが、指導司祭堤要吉師の挨拶のあと討議に入り、会則の作製、検討に時を過ごした。次回は三月二十六日（金）午前十時からの開会を決定し、十二時三〇分散会した。

☆二月八日（月）午前十時から午後二時まで、北九州地区のママさんカテキスターの体験報告会が小倉教会で開かれた。四人の司祭、二人のシスター、二十八人のカテキスターが出席し、熱心な意見交換を行った。このママさんカテキスターは昨年五月十一日～六月十五日までの六週間、毎月曜日の研修会に参加していた人たちで、研修会の成果を発表した。

☆教皇ヨハネ・パウロ二世は、二月十二日から十九日まで、アフリカ四カ国を歴訪した。即ちナイジェリア（人口七、五〇〇万のうちカトリック六、五％）、ベニン（三五〇万人中十五％）、ガボン（五〇万人中二十五％）、赤道ギニア（三十五万人中九〇％）で、教皇のアフリカ訪問は二度目である。

☆ポーランドに愛を！福岡教区エキュメニズム委員会はプロテスタント諸教会と協力して、ポーランド救援のために教区の信徒に募金を呼びかけている。心身ともに厳しい寒波にあるポーランド国民に温かいキリスト者の手を差し延べよう。

☆四旬節の愛の運動は毎年展開され、多くの善意の援助金が集められているが、五十七年度目標額は八、〇〇〇万円で、国内の対象は心身障害者援助団体及び施設に対する援助、老人福祉対策援助、国内在住インドシナ難民対策援助などである。また国外（四、〇〇〇万円）の対象は、アフリカ地域社会の向上と食糧の確保と給食、水資源の確保と給水、遊牧民定住対策と医療活動、ポーランド緊急援助となっている。人類の救いのために苦難を受けたキリストの愛の行いを思いおこそう。

☆三月二十一日（日）午後二時から大名町教会で、下町豊重神学生の助祭叙階式がある。

☆三月二十六日、平田司教は司教祝聖二〇周年を迎える。一九六一年十二月二十二日、大分司教に任命されたが、一九六二年三月二十六日司教に祝聖された。一九六九年十二月二日、深堀仙右衛門司教の辞任により福岡司教となった。

Cnstom Tailor
糸永洋服店
福岡市中央区浄水通8ー8
TEL 531ー3831
夜間 521ー0820

祭壇・洗礼盤他
素材 大理石 御影石 その他
石のパイオニア
髙木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2ー21
TEL 52ー2417

## ママさんカステスター雑感

### 河村公子

私が毎週土曜日に4年生12名の公教要理を始めてから、1年10ケ月になります。私自身洗礼を受けて4年半にしかならず、また子供達に接するのははじめてのことでどうしてよいのかわからずに、試行錯誤をくり返しています。でも、神父様やシスターの御指導とリーダーの研修会等を通じて、やっと大分ゆとりを持って子供達に接することができる様になった、と感じています。その1年足らずの公教要理について感じたことをお話ししてみたいと思います。

私が公教要理を担当した1年目は神父様があらかじめ1年を通じた主題とその聖書の箇所を記したカリキュラムを作成してくださいました。

それに従って子供達に話しました。大体、前日の金曜日に、カリキュラムに記してある聖書の個所を読み、他の本を参考にしながら、子供達に主題をどの様にわかりやすく話すかを考え、1時間の中に聖歌・展開・まとめをどの様に配分するかを準備しました。1学期ごとにリーダーの集まりがありましたが、神父様に質問する問題さえ思いつかない程、一生懸命道をさがしている1年間だったと思います。その為、はじめの1年間では準備した様な流れで1時間をすませたことは数える程しかありませんでした。子供達は、その日その日によって非常に気持ちが高揚していて落ち着かなかったり、気持ちが素直に私の方に向いてくれなかったり、と色々でした。それはその状態を把握して、臨機応変に子供達に接する程の経験と余裕がなかったからです。又、子供達に非常に直観力があり、最初の20分位で私がまとめとして子供達に伝えようと準備していたしめくくりが子供達からでてしまい、あとの30分程をどうしようかと苦労しました。又良く発言する一人の子供達にかきまわされて、他の子が何も話さなかったりして、私に公教要理ができるのだろうか、一つでも私の気持ちを子供達が理解してくれているのだろうかと自問自答をくり返し、止めさせてもらおうと考えたことも何回もありました。

しかし、子供達が教会に行くことをとても楽しみにし、私にも親しんでくれるし、子供達を通して私がたくさんお恵みをいただいているのを感じて、精一杯がんばってみようと現在まで何とか続けています。この一年間に、私が担当している子供達がそれは私の足りない点、私の注意すべき点でもありますが聖書を非常に観念的に頭で理解しており、自分の生活の中に生かすという点が幾分欠けている様に感じました。それで、今年度は予供達に「生活の見直し」ということを主眼において話して行こうと考えました。黒崎教会では、今年度は昨年度とは異なり、（小学生の信仰教育＝家庭と教会学校のカリキュラム J・ウマンス著）を使って公教要理をすることになりました。また、その指導方針にも「信仰についての知識よりも信仰の生活を教える方が大切である」、と書いてありました。このテキストはとても細かく聖書の個所、伝えるべき意味などを記してあります。しかし、黒崎教会の公教要理の現状とあわないところはそれぞれ神父様と相談して対処していきます。ただ具体的にどの様にしたらよいか私にはわからないこともありましたので、色々と公教要理の仕方について参考書を調べて考えていました。幸い、丁度良い機会に教会学校リーダーの研修会があり、参加することになりました。私の現在のテキストの方法は、子供に伝えるべき主題から聖書の箇所が引用されていますが研修会では、聖書の箇所から自分で何をどの様に子供に伝えるかを考えるという逆の方法がとられました。非常に具体的にその学年に応じて、子供達に何をどの様に伝えるかを勉強することができ、私にとってはとても有意義な研修会でした。又、色々な教会の人々と聖書を分わち合うことにより、私に一番欠けている点にも気がつきました。私自身の信仰の面でも考えさせられることが沢山あり、実りの多い時間でした。それと同時に他の教会の多くの方々も、私と同じ様に、試行錯誤をくり返しながらがんばっているのだというはげみと連帯感を感じました。そして力不足ながら心を新たにして、子供達に接しようという思いを強くしました。又、一つの聖書の箇所にしても、伝える意味や伝え方が幾通りもあること、同時に、雰囲気作りなど私の苦手な面を補う技術的な方法も知ることができました。その研修会での成果を早速生かして、今年度は、毎週同じ様な1時間の勉強ではなく、ある時は、自分の学校のクラスのことを話し合いながら囲りにいる人達に対する自分の行動を見直させたりある時は、聖書を読みあらかじめ準備していた質問を考えながら聖書を深く読みとる方法にしたり、聖書を読んで自分の感じたことをノートに書いて他の子供達と分ち合ったりと色々な方法を準備できる様になりました。又、一年間の経験もでき、子供達の気持ちの状態により、対する方法も変化できる余裕も少しずつできました。とはいえ、まだまだ子供達の気持ちを十分にまとめるだけの力と経験はありませんので、私自身もっともっと勉強しなければいけないと思っています。私自身の中に神様の愛を心から受けとりふくらませて、子供達に伝える素直な心を育てて行かなければなりません。技術的な方法を、もっともっと学ばなければと思っています。そして教会の子供達が、学校や子供会等で、その行ないを通じて、神様の愛をあかしできる様な子供達になってほしい。その一つの力になれることに喜びを持ち、子供達に接して行きたいと思います。そして、私が子供達に教えることにより、本当に多くの恵みを子供達を通していただいていることを感謝しています。

（黒崎教会信徒）

## 福岡教区神学講座

（昭和五十七年第一学期）

**一、講義科目・担当講師**

| | | |
|---|---|---|
| 4月13日 | 現代教会における諸問題 | 高木　神父 |
| 4月20日 | 祈りの生活 | ラベル神父 |
| 4月27日 | 〃 | 〃 |
| 5月4日 | 現代教会における諸問題 | 高木　神父 |
| 5月11日 | ヨハネ聖福音書の読み方（続き） | イエル神父 |
| 5月18日 | 〃 | 〃 |
| 5月25日 | 〃 | 〃 |
| 6月1日 | 現代教会における諸問題 | 高木　神父 |
| 6月8日 | 〃 | 〃 |
| 6月15日 | 〃 | 〃 |
| 6月22日 | 〃 | 〃 |
| 6月29日 | 〃 | 〃 |

**二、講義期間**

4月13日～7月29日までの毎週火曜日とする。

**三、講義会場・時間**

福岡教区司祭の家において十八時～二十時十分まで。
（福岡市中央区浄水通三九司教館内）

**四、講義料**

六、〇〇〇円（一回五〇〇円）当日会場で受付ける。

## 三月年忌の司祭

▼フランソワ・マリー・ヴェイヨン神父（パリ外国宣教会）一九七三年三月十二日元唐津教会主任。

▼ルイ・マリー・ベリボー神父（ドミニコ修道会）一九七七年三月十六日元箱崎教会主任。

▼マキシム・ボネ神父（パリ外国宣教会）一九五九年三月十九日元新田原教会主任。

信頼に誠意と技術でこたえる
株式会社 藤木工務店
取締役社長　藤木鐵三
福岡支店長　池内満
福岡支店　福岡市博多区博多駅南4-18-2　電(092)441-6585

各種高圧ガス・溶接材料・その他
松尾産商株式会社
社長　松尾光敏
北九州市若松区藤ノ木1－4－23
TEL 771－3657

吉川病院
院長　吉川東陽
福岡市中央区平尾四ツ角　TEL 521－0568

# カトリック

平田司教認可
発行所
福岡市中央区浄水通39
福岡司教館
発行兼編集人 山田成章
電話092—522—5139
振替口座 福岡3-42981
定価 一部 25円

## 祈禱の使徒会

(一般) 地方教会における聖職者の召命
(布教) 福音宣教とマス・メディア

## 四月の聖体礼拝当番教会

四月 四日 大名町、菊池
四月 十一日 浄水通、水俣
四月 十八日 光ケ丘、帯山
四月二十五日 西新、大江

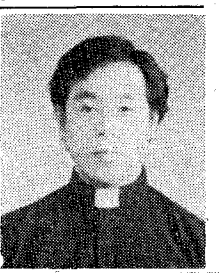
助祭叙階式

## 祭壇の奉仕者下町助祭の誕生

### 七〇年ぶりの喜びに湧く崎津教会

三月二十一日午後二時から、天草・崎津教会出身の下町豊重神学生の助祭叙階式が大名町教会で行われた。

平田司教は、二〇人近くの司祭との共同司式ミサの中で助祭の務めを説く。「祭壇の奉仕者となって福音を述べ、さささげものを準備し、主の御からだと御血を信者に授けます。司教あるいは主任司祭の名において愛の奉仕を行います。このすべての務めにあたって助祭は、仕えられるためではなく仕えるために来られたキリストの真の弟子であることを示してもらいたいと思います。」……受階者は



聖体を授ける司教と下町助祭

助祭の任務を受ける決意を積極的に表明して、「あなたは、わたしの按手と聖霊のたまものによって教会の奉仕のために聖別されることを望みますか。」「望みます」

さらに、受階者は司教の前にひざまずき、合わせた両手を司教の両手の中に置きながら司教に対する尊敬と従順を約束した。

司教はひざまずいている下町神学生の前で、手を広げて聖別の祈りを続ける。「あなたの神聖な祭壇の奉仕者となるよう、今助祭に叙階されるあなたのこのしもべをいつくしみ深く顧みてください。神よ、この人に聖霊をおつかわしください……。」聖別の祈りが終わると助祭の誕生である。助祭の正装であるストラを助祭型に受けて、ダルマチカを着る。又、福音を伝える使命のしるしとして聖書を受けた。かくして、下町助祭は一年後の司祭職へ前進するのであった。崎津教会では七〇年前、大崎八重師が出ている。

## 微光

太陽が春分点から出て再び春分点に達するまでを24に分割して、〈節気〉を配置している。一か年の気候の推移・変遷が、これで読みとれるらしい。すばらしい生活の知恵というべきかもしれない。『清明』は新暦四月五日頃で、桜花をはじめ草花が咲き出す時期に当たっている。四月二十日頃の春雨には『穀雨』と有難がり、百穀をうるおし、成長を助ける神通力を期待したのであろうか。新しい状態を迎える自然の喜びが溢れている。▼四月の学校・職場は、新入生や新入社員などでピッカピカに活気がある。あの顔にもこの顔にも喜びが一杯で、入試合格、就職決定の喜びの前には、卒業の喜びは小さくみえる。それほどに人は常に新しい状態に燃えるのではあるまいか。さる大学の入試に成功したM君の晴れやかな顔を忘れることができない。合格の喜びの中に神を見た彼は、早朝ミサに馳せ参じて感謝を表明した。神を仰ぐ心と顔はいつも美しく輝く。▼四月十一日は復活祭である。心の大陽の軌道にも節目が考えられてよい。復活祭を中心に、四旬節や復活節、聖霊降臨節、待降節と降誕節を体験的に過ごしている。心のかげり、変形を真剣に反省すべき時である。「イスラエルの家よ、なぜあなたがたは死のうとするのか。だれの死をもわたしは喜ばない。回心して生きよ。」(エゼキエル18・32) 悔い改めとゆるしは心の復活の前提となる。四月の花は復活の目に鮮やかである。

事務用機器・コンピューター・学校用・幼稚園備品
㈲シオタ事務機・㈱日本幼育社
社長 カシミロ・塩田五郎
福岡市南区大楠2丁目23—15(西田ビル2F)
TEL 代表 092 (521)—8266—7

熊本石材株式会社
熊本市島崎4丁目2ノ68
電話 52—3306
52—8622

## 司祭異動

▽崎津教会主任パトリック・ダイアモンド師（千葉・加茂川教会主任コロンバン会）▽オウクスチノ会東田島共同体管区長トマス・ドワィヤ師（長崎・城山教会）▽オウクスチノ会東田島共同体修練院長マイケル・ヒルデン師（長崎・城山教会）以上三月二十日付。▽泰星高校校長パウロ大野正恒師（別府、光の園白菊寮園長イエズス会）▽イエズス会浄水通共同体院長チリノ・アルツーロ師（前山口地区長）以上四月一日付。▽教区総代理兼司教秘書フランシスコ・ザビエル山田成章師（浄水通教会主任）▽浄水通教会主任アルベルト・ラミレス師（山口、防府教会助任イエズス会）以上四月四日付。▽岩松教会主任ミカエル山頭原太郎師（泰星高校長）四月十二日付。▽呼子教会主任ステファノ川口康頼師（教区会計）▽教区会計兼務ミカエル堤泰吉師（大楠教会主任）以上四月四日付。

## 墓地の環境整備と役員改選

### 福岡地区納骨堂墓地管理委員会

二月二十八日、福岡地区納骨堂墓地管理委員会総会が大名町教会で開かれ、小教区より選出された新委員によって、次の条項を審議し、決定した。

一、前年度事業報告
一、前年度決算報告
一、監査報告
一、役員改選

引き続き、本年度の運動方針ならびに予算審議に移り、つぎの通り決めた。

一、年二回の墓地慰霊祭を中心に環境の整備をする。
二、墓地埋葬者の不明の一掃。
三、予算として五十六万円計上。

総会終了後、就任挨拶のため全員平田司教を訪問し、慰労と激励の言葉を頂いた。

――納骨堂墓地管理委員――

委員長　目良　直（西新）
西区南庄2丁目11―6
副　青木　実（大楠）
南区大楠2丁目1―21
会計　水田三木雄（大名）
中央区大手門2―1―15
島田　弘（浄水通）
中央区警固3―6―113
林　幸雄（大名）
西区室見5丁目1―26
堀　康二（箱崎）
東区奈多団地16―304
岩永　隆（美野島）
博多区南三丁目9―207
原　テルミ（東田島）
西区田島4丁目28―4
平本　隆之（高宮）
南区長住3―42―104
田原　輝（老司）
南区屋形原桜ケ丘1267
角田晶次郎（光ケ丘）
博多区光丘1―30
安本　康夫（吉塚）
博多区吉塚5―17―35
中垣　義隆（茶山）
西区別府6丁目4―9
古賀　正助（二日市）
筑紫郡太宰府町五条月見山2723・15組
監査　森山　敬三（箱崎）
〃　吉田　正司（浄水通）

## マザーテレサ二度目の来日
## 4月27日 福岡一泊
### 講演会など計画される

四月下旬、カトリック系の社会教育団体であるファミリーライフ協会の招きで来日するノーベル平和賞受賞者マザーテレサは、二度目の訪日である。

発表されたスケジュールによれば、マザーテレサはカルカッタからソウルなどを経て四月二十一日東京に到着、二十八日まで日本に滞在することにする。

同二十三日には、東京で開かれる『第二回生命の尊厳を考える国際委員会』に出席する。その後二十五日に、兵庫県宝塚市で催される『愛と平和のシンポジウム』に参加し、夕刻、空路日本カトリックの聖地・長崎入り。

二十六日、子供たちや母親に、マザーの愛と平和に対する考えを聞いてもらう場として準備されている『愛―マザーテレサと子供たちの大集会』に出席したあと、平和公園のほか日本二十六聖人記念館、聖母の騎士修道院などカトリックゆかりの地を巡礼するようである。

二十七日には、長崎から午前十一時二十分博多駅に到着、福岡での第一歩をはじめる。現時点での福岡における具体的スケジュールは不明であるが、マザーの事情が許すならば、母親向きの講演会や司祭への講話も企画されている。

その日、マザーは福岡に一泊。翌二十八日、午前八時三十分板付空港発で大阪に向う予定である。

## 第16回カトリック全国書道展
### 力強く「みことば」を書く

三月二十五日～二十九日まで、日本カトリック書人協会主催の第十六回カトリック全国書道展（福岡展）が福岡中央区天神五丁目の福岡県文化会館ギャラリーで催され、連日学生たちで賑わった。

さすがに会場の展示作品は、総出品数四、五〇〇点の中から入賞したものだけに、力強い筆の運びに「みことば」がさえて見えた。

なお、授賞式は三月二十八日午後一時から、福岡展会場で行われた。教育の部（個人）入賞者はつぎの通り決定した。――

〈特別賞〉
加藤　美穂　星美学園中3年
〈駐日ローマ教皇庁大使賞〉
加藤　稔子　星美学園小5年
阪倉美智子　小林聖心中2年
村谷　恭子　盛岡白百合高2年
〈枢機卿賞〉
鈴木　直子　湘南白百合小6年
玉永　一成　暁星中学2年
木下いずみ　福岡海星高2年
〈名誉総裁賞〉
島田安理　田園調布雙葉小6年
田中美樹子　目黒星美中1年
大内　美幸　聖ウルスラ高2年
〈大阪大司教賞〉
谷島麻子　聖心女子学院小6年
〈顧問司教賞〉
上野　昌代　函嶺白百合小5年
郷富　佐子　雙葉中3年
白田　恵子　星美学園高2年
〈福岡司教賞〉
鉛山　忠之　玉里カトリック書道教室小6
片岡久美子　聖ウルスラ中1年
岩永智子　純子女子高3年
〈札幌司教賞〉
屋形　智子　聖ドミニコ高3年
〈仙台司教賞〉
白崎　蜂宏　暁星高2年
〈新潟司教賞〉
阿部　弘美　盛岡白百合中3年
〈浦和司教賞〉
青木美佐子田園調布雙葉中1年
〈横浜司教賞〉
内田　仁子　明星小4年
〈京都司教賞〉
八幡かおり　カリタス小4年
〈広島司教賞〉
鷲川富美子　目黒星美小5年
〈高松司教賞〉
藤井　盛水　福山暁の星小6年
〈大分司教賞〉
下阪　紀子　白百合学院小6年
〈鹿児島司教賞〉
大岩　詩子　晃華学園小3年
〈那覇司教賞〉
山本　リサ　盛岡白百合小4年
〈会長賞〉
竹本　育代　福岡雙葉小6年
前田　早苗　神戸海星小4年
豊島　宝子　小林聖心小6年
土屋尚子　田園調布雙葉小3年
野島　志信　暁星中学3年
森か　おる　聖ウルスラ高1年
〈協会賞〉
石田　規子　星美小4年
荒木　里佳　目黒星美小4年
長村　徳子　函嶺白百合小5年
平佐明子　聖心女子学院小4年
村井　晴子　星美中1年
福島ひろ美　目黒星美高2年
〈日本カトリック学校連合会賞〉

やその他の入賞者は、都合により割愛させていただく。

## 荒尾教会主任ドイル師帰天
### 心不全であっという間に
〈速　報〉

荒尾教会主任ジェームス・ドイル師は三月二十六日午後三時、心不全のために司祭館で急死した。

葬儀ならびに告別式は同二十九日十二時三十分から、手取教会でしめやかに行われた。平田、平山両司教、聖コロンバン宣教会総長をはじめ約五十人の司祭の共同司式ミサが捧げられ、多数の会葬者が故人の永遠の安息を祈った。詳報は五月号に掲載の予定です。

綜合建設業
八千代建設株式会社
取締役　社長　田中　清
取締役副社長　渡辺　勝三郎
〒810 福岡市中央区薬院3―2―9　TEL 531―1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく
(株)メガネの正視堂
代表者　フランシスコザビエル　臼井芳数
行橋市駅通り本店　☎2―0646
〃　駅前5秒店　☎2―2390
北九州市黒崎年金病院前店☎641―4321
〃　ダイエー城野店3階☎922―5637

## 会合と催し

☆平田司教
4月8日　聖香油祝別ミサ（十一時浄水通）、聖木曜日の典礼（十九時大名）
9日　泰星高校入学式、聖金曜日の典礼（十九時大名町）
10日　聖土曜日の典礼（十九時大名町）
11日　復活祭ミサ（九時大名町）
18日　鳥栖教会堅信
27日　マザーテレサ来福、光ケ丘教会召命ミサ
28～29日　聖書週間担当者の集い（東京）

☆福岡黙想の家
4月1～3日　熊本天使園
4～6日　九大・福大聖書研究会
5～7日　マリア幼稚園職員の研修会
12～13日　福大聖書研究会
15～16日　在日キリスト教西南地方連合婦人会
24～25日　シナイの会
28～29日　ルーテル教会の祈祷会

## 神学校後援会費（昭和56年度）

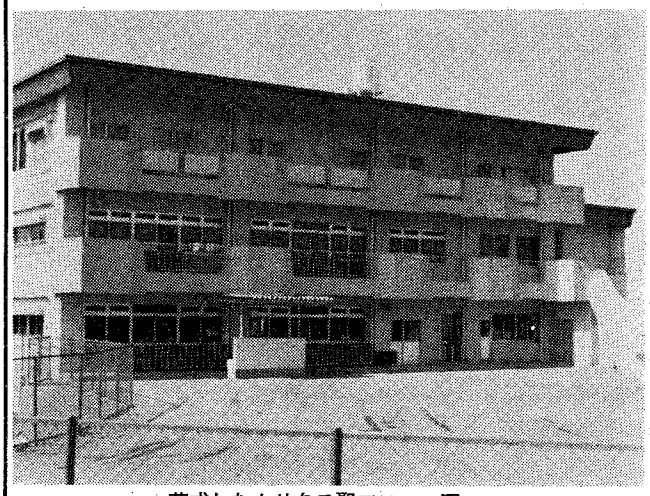
昭和56年度の神学校後援会費は七、〇三〇、八七五円で、55年度分六、〇〇六、九六〇円を大きく開けています。ご協力を心から感謝申し上げます。しかし、一方支出面を較べてみるとき、55年の大神学生養成費四、二五六、七二〇円、小神学生養成費七、二五四、四〇〇円計一一、五一一、一二〇円に対し、56年度の大神学生養成費五、七五一、二四〇円、小神学生養成費一二、三八五、一三八円計一八、一三六、三七八円となって重い負担を強いられています。司祭養成の急務と重大性にかんがみ、今後ともよろしくお願いいたします。

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 大名 | 1,154,300 | 水巻 | 75,000 | | |
| 浄水通 | 163,100 | 飯塚 | 81,200 | | |
| 西新 | 287,010 | 田川 | 28,600 | | |
| 大楠 | 45,150 | 原 | 198,000 | | |
| 美野島 | 52,800 | 取 | 500,000 | | |
| 老司 | 100,000 | 尾 | 40,200 | | |
| 吉塚 | 70,000 | 吉 | 180,400 | | |
| 高宮 | 203,200 | 渡 | 36,000 | | |
| 箱崎 | 40,900 | 山 | 20,000 | | |
| 二日市 | 183,500 | 俣 | 90,175 | | |
| 久留米 | 360,000 | 江津 | 60,000 | | |
| 大牟田 | 70,230 | 崎 | 50,000 | | |
| 吉野 | 65,070 | 島 | 206,000 | | |
| 今村 | 372,900 | 玉名 | 40,000 | | |
| 本郷 | 100,000 | 菊地 | 13,750 | | |
| 小郡 | 19,750 | 八代 | 88,920 | | |
| 門司 | 121,000 | 唐津 | 110,350 | | |
| 門司港 | 50,000 | 武雄 | 117,600 | | |
| 小倉 | 480,000 | 鳥栖 | 15,350 | | |
| 湯川 | 100,000 | 鹿島 | 54,650 | | |
| 戸畑 | 705,040 | 久留米 | 7,000 | | |
| 天神町 | 48,000 | 渡 | 10,000 | | |
| 黒崎 | 120,000 | 馬 | 19,750 | | |
| 八王寺 | 76,000 | 計 | 7,030,895 | | |

# 信徒幼児の育成を第一目標に
## 聖マリアの園の祝別・落成式
## 宮崎カリタス修道女会（新田原）

宮崎カリタス修道女会（邦人修道女会、現総会長シスターテレジア岩永マツヨ）は行橋市大字東徳永に修道院と聖マリアの園を開設することになり、三月二十二日午後二時から、盛大に祝別、落成式を行った。

参加者一六〇人を前にして平田司教が祝別した建物は、建坪八二六㎡の三階建て鉄筋コンクリートで、新田原カトリック教会の入り口に位置している。一、二階が保育室で、三階が修道院になっている。



落成したカリタス聖マリアの園

聖マリアの園は、保育所形式の信徒幼児育成所で、信徒幼児を第一対象にしているところに特色がみられる。一、六二七人の信徒を擁する新田原小教区においてはじめて考えられる試みであろう。

現在二十二人の園児を収容し、園長シスター横川スマ子外二人のシスターだけの保育が注目され、大きな期待が寄せられている。

もともと、新原田小教区と宮崎カリタス修道女会との縁は深く、同修道女会のシスター志願者の四〇人はこの地の出身者と聞いている程である。

宮崎カリタス修道女会は一九三八年八月に、サレジオ会のアントニオ・カヴォリ師によって宮崎市に創立された。その後、順調な歩みを続け、全国的な拡がりとともに本部を東京都杉並区井草四丁目に移している。

福岡教区内では、三分院が教勢の発展に協力することになる。福岡市南区大楠二丁目の福岡修道院が、一九六二年五月の創設で、カトリック聖クララ幼稚園を経営している。北九州市門司区光町一丁目にある門司修道院は、養護施設の天使育児園（定員六〇人）を引き継いで働いている。前経営主体は天使の聖母修道会であったが、二年前に事情あって引き揚げた。新田原修道院は電話〇九三〇二一三二七三四である。

カリタス聖マリアの園の祝別式

## 飛脚

▽三月二十一日、恒例の花岡山殉教祭が殉教者墓碑前で行われた。三人の司祭の共同ミサに一〇〇人近くの信徒が与かり、加賀山みや小笠原玄也一族十五人の殉教を偲んだ。一六三五年十二月二十三日

▽四月九日は聖金曜日で、大斎・小斎日である。一般の信者は、満21歳～59歳までは大斎小斎を、満14歳以上の者は小斎を義務づけられている。救主イエス・キリストのご受難、ご死去を犠牲の心で黙想しよう。

▽五月一日午後七時から四日午後四時まで、福岡黙想の家でクルシリオが開かれる。乞祈りと愛。

Cnstom Tailor
糸永洋服店
福岡市中央区浄水通8－8
TEL 531－3831
夜間 521－0820

祭壇・洗礼盤他
石材　石の理想の大御所
石のパイオニア
髙木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2－21
TEL 52－2417

## 移動信徒を迎えるにあたって

人生に新しい年輪を刻む「別れと出会い」の月、三月がやって参りました。馴れ親しんだ人や土地・状態に別れを告げて、希望と不安を抱きつつも新しい出会いを求めて、未知の世界に飛び込む月でもあります。今年も多くの若人が進学や就職のため故郷を巣立って移動することでしょう。

全国に配置されている「国内移動信徒担当者」は、このように移動する若年信徒の皆さんが移動先の教会にスムーズに定着できるようお手伝いするものです。その一環として二月七日～十六日まで、担当者は最も転出者の多い長崎県五島・平戸方面を廻り、転出予定者と面接して、都会の教会の様子や持つべき心構え、転出転入手続きなどを説明して参りました。福岡教区には、長崎地方からだけでも四・五十名転入する予定です。長崎地方では地域ぐるみ、家族ぐるみの信仰で、若者の多くは信仰の大切さやキリスト者としての自覚が稀薄ですので、都会に出て未信者の中に置かれた時、一人で信仰を守り育てるのは容易なことではなく、教会から離れてしまう原因にもなっています。

このような不幸な結果にならないよう、教区の皆様方にもご協力をお願いしたいのです。教会で新顔を見つけたら声をかけ、神父様や青年会に紹介してあげてください。知り合い同士がおしゃべりに夢中になるないで、意識してニューフェイスを見つけ、自分から兄弟として受け入れて頂きたいのです。そして互いに助け合って信仰を深めなければなりません。わたしたちは老いも若きも男も女も皆キリストの体をいただく兄弟なのですから、新しい兄弟に淋しい思いをさせてはいけないのです。

福岡教区から他府県に転出される場合、所属教会の主任神父様に申し出て転出手続きをしてください。移動信徒担当者は各教区の担当者と連絡があり、教会案内図等も持っておりますので必要な方はご連絡ください。

福岡教区移動信徒担当者
○竹森勇神父　〒810福岡市中央区浄水通三八小神学校内　○九二―五三二―六八二一
○シスター川口敏子　〒810福岡市中央区大濠一―七―一四聖母訪問会内　○九二―七四一―四二五〇
○シスター宮下慧子　〒810福岡市中央区今川一―二一四礼拝会内　○九二―七五一―二五七八
（文責シスター宮下）

### 四月年忌の司祭

▼フランソワ・ザビエル・ブレンゲ神父（パリ外国宣教会）一九四六年四月五日元佐賀教会主任。
▼ヘンリ・レウトル神父（パリ外国宣教会）一九四四年四月二十五日元新田原教会主任。

## 一九八一年度年間報告
## 福岡地区カテケージス

昨年四回開かれた福岡地区のカテケージス研修会を簡単にまとめて、報告いたします。

I、ゆるしの秘跡（3月8日）
イエール師が〝放とう息子〟を主題に、罪、悔い改め、ゆるし、和解の四点にしぼって話された。
ガイヤール師が「ゆるしの儀式書」から、ゆるしに不可欠なものとして、罪を悔い改める、告白する、償うの三点をあげられた。
以上を中心にグループ討議。

II、ミサ＝聖体とキリスト者の生活＝（6月14日）
中浜師が聖体の秘跡の大切さについて話された。その後質疑応答。

III、子供のミサ（9月13日）
ガイヤール師が「子供のミサ指針」をかいつまんで説明された。各グループ（三組）が「子供のミサ」のモデルケースを作成し、発表した。

IV、子供のミサ（11月29日）
体験発表―九月のモデルケースを参考にして、子供のミサを行った体験について発表があった。
典礼全般にわたって懇談会の形式で話し合いをした。
尚、今年一月の準備会で次の二点を決めた。
1、親の責任感と教育を呼びかける。
2、視聴覚教育に重点をおく。
早速、一月十七日（日）に視聴覚教育の研修会を計画したが、豪雪のため中止となった。しかし、三月二十八日（日）午後一時三〇分から、司教館新司祭の家5Fで行われた。

（角田）

## ファチマの聖母の願いの一つ

五月十三日は、ファチマの聖母がルチア、フランシスコ、ヤシンタの三人の牧童に出現されてから六十五年目になる。教皇ヨハネ・パウロ二世もこの日ファチマに巡礼されるというわさが伝わっている。当時の出現におけるマリアとルチアの不思議な会話を再録してみよう。――ルチアは勇気を出して、平生遠慮がちな彼女にも似ず、口を切った。「あなたはどちらからお出でになりましたの？」「天国からまいりました。」「どうして、こんなところへお出でになりましたの？」「皆さんが毎月十三日の、ただいまの時間に、つづいて六回、ここへ来てくださるよう願いにまいりました。十月にはわたしがだれであるか、皆さんになにを望んでいるかをお知らせしましょう。」「あなたは天国からいらっしゃったのね！わたしも天国へ行きたいわ！」「そうあなたも天国へ来るでしょう。」「ヤシンタは？」「ヤシンタさんも」「フランシスコは？」「フランシスコさんもやはり天国へ来るでしょう。でもそのまえにロザリオをたくさん唱えなければならない」（ファチマの牧童中山利亨太郎訳P48―49）。ロザリオの信心はファチマの聖母の教訓である。

## 第22回 結婚講座レポート

第22回福岡結婚講座は一月二十八日から六日の間開かれ、五十二人が参加しました。大名町教会主任の青木師が講座を盛りあげてくださるのは、スタッフの大きな支えです。挙式する教会は、大名1、4、光ケ丘2、東田島2、長崎3、高宮、鹿児島、宮崎各1となっています。

参加者のアンケートをまとめてみました。講座は、結婚式を申し込んだ時にはじめて知ったカップルが大半である。講座で聞いたことをカップルで度々話しており、年二回の開催は足りないとのうれしい意見も出ました。参考になったものとして、家庭経済、結婚における男性の立場や女性の立場と答えた人が多く、講師の体験談がよかったと答えた人もいました。要望としては、座談会の時間をもっと増やしてほしいことであったが、これは毎回のアンケートにも入っていますので、もっと真剣に考える必要がありそうです。

二月十九日（金）にスタッフの反省会（九名参加）を行いましたが、講座前にスタッフでミサに与かること、講座開催中五分前後の聖体訪問、参加者へのアフターケアとしてリフレットによる通信あるいは聖書のプレゼントをするなどの意見があった。

また、第23回結婚講座は八月二十六日／九月四日までの六日間を当てることに決めました。毎週の木・金・土となります。

最後に、スタッフの霊的成長につながる反省会ができたことを神に深く感謝しております。

（角田）

信頼に誠意と技術でこたえる
株式会社 藤木工務店
取締役社長　藤木鐵三
福岡支店長　池内満
福岡支店　福岡市博多区博多駅南4-18-2　電(092)441-6585

各種高圧ガス・溶接材料・その他
松尾産商株式会社
社長　松尾光敏
北九州市若松区藤ノ木1―4―23
TEL 771―3657

吉川病院
院長　吉川東陽
福岡市中央区平尾四ツ角　TEL 521―0568

# カトリック

平田司教認可
発行所
福岡市中央区浄水通39
福岡司教館
発行兼編集人 山田成章
電話092—522—5139
振替口座 福岡3-42981
定価 一部 25円


## 祈禱の使徒会

(一般) 聖母信心による女性の尊厳
(布教) 無神論におびやかされている国々

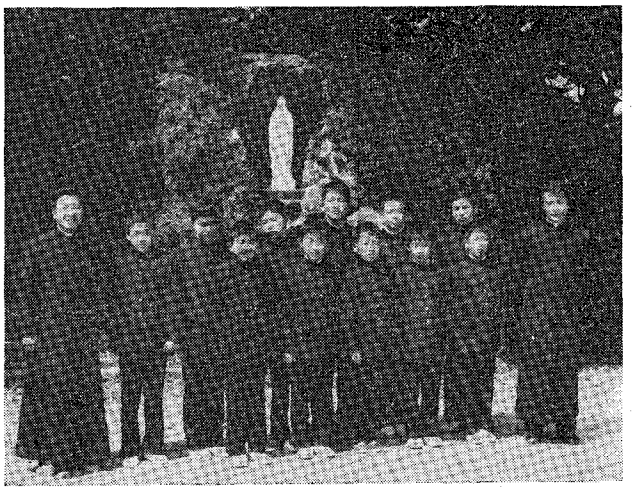
# ことし開設五十周年を迎える

## 十一人の新入生で喜びも倍増

福岡小神学校

一九三二年四月十一日は福岡小神学校の誕生日である。軍国主義の靴音が高まる中で始まった福岡小神学校の歴史は、動乱に突入してゆく日本の生き証人であり、正に「さまよえる小神学校」の時代を体験してきたといえる。そして今ここに五十周年の開設記念日を迎えたのである。激しい時代の流れにもめげず、時には蛇行しながらも今日まで存続し得たことは神の大きな恵みであるとともに、過去、現在にわたり教区一丸となって物心両面に支援を惜しまない教区の皆さんのおかげであることはいうまでもない。

過去五十年の福岡小神学校は、「エネルギー備蓄の時代」であったかもしれない。校舎・校名・住所が転々と変わり、苦難の日々を強いられた歩みであったが、神は蒔かれた種を忘れることなく、立派な実りを与えた。不安定な状況の中でも司教三人、司祭七十人の精鋭が、教区内外の布教戦線に赴いたのであった。



福岡小神学校の新入生

生徒一同

金視を迎えた福岡小神学校は、これから躍進に向かわなければならないであろう。百万都市の一等地に位置する校舎は、緑につつまれた静かな住宅地に偉容を示している。安定期に入った今、心にガソリンを満タンして第二バチカン公会議の期待に副った神学生作りが進んでいる。過去にみられた八十人位の小神学校のにぎわいを再現してほしいものである。

現在全校生徒は三十三人で、二人の司祭が世話している。竹森勇神父（校長）は熊本県天草大江教会出身で、野性味たっぷりのファイトマンである。松井忠之神父はスポーツマンである。

（第二面へ）

## 五月の聖体礼拝当番教会

五月 二日 美野島、崎津
五月 九日 高宮、島崎
五月 十六日 老司、玉名
五月二十三日 吉塚、手取
五月 三十日 福岡小神学校

## 微光

五月十六日は全国の『広報の日』である。高齢化社会とマス・メディアをテーマに選んでいる。例によってすっきりしたものではないが、報道機関はもっと高齢者の生き甲斐と喜びを煽ってくれということであろうか。平均寿命の延び率は年々大きくなっているが、うれしくもあり、うれしくもなしが正直な気持であろう。従来のピラミッド型社会には考えられなかった多くの問題が潜んでいるようにみえる。▼高齢化社会は老化社会、枯れゆく社会と断言すれば残酷に過ぎるだろうか。広辞苑によれば、「枯る」は若さ、豊かさ、うるおいがなくなること。さらに(4)円熟して深い味を持つようになること、老練（私見では少しずるさの響きを感じるが）。(5)気力が衰えること、である。明るい面と暗いみじめな面を両立させて解釈する。老化社会は何もできない、何もしない社会の謂ではない。むしろ円熟した深い味わいの社会と理解したい。▼万人は例外なく永遠に向かって歩く。「天地は過ぎ去る、しかしわたしの言葉は過ぎ去ることはない」（マタイ24・35）。老年期は永遠の御者の定めであって、避けて通ることはできない。しかもバックできない一回だけの通過となる。豊かな社会とは積年の経験と英知を分配し合う人間尊重の社会であり、そこより喜びと生き甲斐も生まれる。高齢者が自己を「社会に必要な存在」と診断し、孤立に進むことがないよう積極的な交わりを期待したい。


事務用機器・コンピューター・学校用・幼稚園備品
㈲シオタ事務機・㈱日本幼育社
社長 カシミロ・塩田五郎
福岡市南区大楠2丁目23—15（西田ビル2F）
TEL 代表 092 (521)—8266—7

熊本石材株式会社
熊本市島崎4丁目2ノ68
電話 52—3306
52—8622

（第一面から）

福岡県小倉教会の出で、おっとりした風ぼうの中に強いものを秘めている。また神学校生活に欠かせない影の功労者（調理や洗濯など）の存在を忘れてはなるまい。姉妹会の平田カズエ、平田ヒロエ玉杵夏子、釘沢ヒサエのみなさんは地味な活動ながら神学校の大きな支柱であることにかわりはない。小神学生を教区別にみれば、福岡教区二十五人、ドミニコ修道会（四国）六人、高松教区一人、鹿児島教区一人となっている。

ことしの新入生の出身地を紹介しよう。村上正樹（中三）君は福岡市西区東油山で老司教会所属である。浜田哲夫（中二）君は愛媛県松山市西石井町出身でドミニコ会神学生である。江村直広(中一)君は行橋市大字道場寺南部で新田原教会出身である。秦野義之（中一）君は中間市中鶴三区で水巻教会所属である。小松悟（中一）君は佐賀県東松浦郡呼子町大字殿浦で呼子教会出身である。牧山利安（中一）君は福岡市西区能古で大名町教会出身である。森山謙一君（中一）は北九州市小倉北区井堀三丁目の出で戸畑教会所属となっている。岡田芳博（中一）君は福岡県遠賀郡岡垣町大字山田で水巻教会出身である。白浜進一君（中一）は行橋市大字道場寺東部で新田原教会所属。谷口輝好（中一）君は行橋市大字東徳永で新田原教会出身である。森下貴文（中一）君は愛媛県伊予三島市朝日一丁目の出身で高松教区神学生であり、観音寺教会所属となっている。神のご意向のままに、蒔かれた種がすくすくと育つように祈りたい。

## 司祭銀祝の喜びに感謝
## 三村邦明師（久留米主任）

去る四月十一日久留米教会で同教会主任三村邦明師の司祭叙階二十五周年の祝賀会が盛大に行われた。久留米教会は復活祭と司祭銀祝の喜びの二重奏になった。

三村邦明師は大正十四年五月四日広島市研屋町十一番地に生まれ、昭和二十五年三月広島文理科大理学部物理学科卒業と同時に福岡サン・スルピス大神学院入学。昭和三十一年八月、カナダ・モントリオル大学神学部に転入、昭和三十二年四月六日司祭叙階。昭和三十七年九月、福岡サン・スルピス大神学院哲学教授に就任。昭和四十一年十一月、同学哲学教授を辞任、福岡カトリック司教館付となり布教事業に従事。昭和四十三年四月、久留米信愛女学院短期大学哲学・宗教学教授。昭和四十四年五月、久留米カトリック教会主任。昭和四十五年三月、久留米信愛女学院短期大学退職。昭和五十六四月、久留米信愛女学院短期大学哲学・宗教学教授に再び就任、今日に及んでいる。

## 泰星高校に有力な助っ人
## 新校長に大野正恒師（イエズス会）

四月の新学期から、福岡中央区輝国一丁目の泰星高等学校（学校法人泰星学園・理事長福岡司教平田三郎）は陣容を強化するために、イエズス会修道会（日本管区本部・東京都千代田区麹町六、管区長・粟本昭夫師）の支援を仰ぐことになった。

四人のイエズス会員が浄水通修道院（福岡市中央区浄水通三八）を根城に、側面的に協力して行くことになる。また、同時に浄水通カトリック教会の司牧に当たる。アルツーロ・チリノ師（院長）パウロ大野正恒師（校長）アルベルト・ラミーレス師（教会主任）アロイジオ松島忠雄修士（事務長）のみなさんである。

新校長となった大野正恒師は多彩な経歴の持ち主で、豊かな人間性とすぐれた教育の手腕をもっており、将来が期待される。

大野師は大正九年三月十六日、佐賀県佐賀郡大和町大字東山田に生まれる。昭和十三年県立大分中学校、昭和十六年官立大分高等商業学校、昭和二十九年上智大学文学部哲学科、昭和三十三年上智大学大学院神学研究科修了ならびに卒業した。

業歴としては、昭和十六年四月満洲製鉄株式会社、昭和十七年一月兵役、昭和二十年十月門司鉄道局、昭和二十二年四月福岡県道路運送監理事務所、昭和二十三年一月依願退官。昭和三十三年三月司祭叙階、昭和三十四年四月私立広島学院中学・高等学校教諭、昭和三十五年四月学校法人広島学院理事、昭和四十一年四月広島学院中・高校長、昭和四十七年三月広島学院理事ならびに中・高校長退職昭和四十八年四月私立六甲学院中・高校教諭、評議員、昭和五十年四月学校法人六甲学院理事、昭和五十一年三月六甲学院理事長。

大野師はまたスポーツマンで、講道館柔道三段、游泳術五段の腕前である。宗教・国語・書道については、高等学校教諭一級普通免許状を所持している。

イエズス会は一五三四年、イグナチオ・デ・ロヨラが創立し、一五四〇年パウルス三世教皇によって認可された。イエズス会の精神は創立者の手になる『霊操』に盛られており、会員にとっては修道的召命の生命源泉である。この会の宗教的最高標語は、より大いなる神の光栄のためにである。イエズス会の名称の起こりは、〈キリストがイエズス会の頭である〉の思想から出ている。キリストへの忠誠と奉仕が一貫した考えで、そのためにイエズス会の独自の目的は、教会の繁栄と霊魂の救いが要求するすべての使命において、無条件に聖座の指図に服従する（盛式立誓願者の第四の補足誓言）ことを掲げている。イエズス会は第一に布教修道会であるが、広い地域にわたって教育活動―学校経営修道会―をしている。これは、キリストのみ国の建設の前提条件がキリスト教的教育であることを理解したからである。

一五四九年、日本におけるイエズス会の第一歩がフランシスコ・ザビエルの渡来によってはじまったが、不幸なキリシタン受難の歴史がその交流を中断した。一九〇八年十月十八日、イエズス会の再渡来は日本の現代史に大きく貢献するところとなる。ヨゼフ・ダールマン師外二人のイエズス会員が来日し、小石川茗荷谷（東京）に仮寓して布教活動に入った。この三人のヨーロッパ出発に際し、ピオ十世教皇は「この三人の使命は一五四九年、日本の戦国時代に聖フランシスコ・ザビエルによって開始され、その百年後徳川家光の世に最後のイエズス会員の追放と殉教によって中断した仕事を継続することにある」、と激励した。

日本におけるイエズス会は、教会の司牧と宣教、学校経営などの教育活動や社会事業活動など巾広く行動している。イグナチオ的祈りは活動における観想、行動と相携えていく黙想から出発し、会員を奮起させるからであろう。学校関係では広島市の広島学院、エリザベト音楽大学、鎌倉市の栄光学園、神戸市の六甲学院、東京の上智大学などがとくに注目される。

日本における会員は三六九人を算し、司祭二一六人、修学修士・司祭候補二十三人、ブラザー三〇人となっている。

## 五月年忌の司祭

▼フランソワ・ルマリエ神父（パリ外国宣教会）一九四五年五月五日元熊本県八代教会主任。

▼フェルナンド・チリ司教（パリ外国宣教会）一九三〇年五月十日初代福岡教区長。

▼ヨハネ棚町正刀神父一九六八年五月十五日元茶山教会主任。

## 飛脚

☆ヨハネ・パウロ二世教皇は五月十二日、ポルトガル訪問の旅に出発される。同国には十五日まで滞在され、その間リスボンを初め、各地方都市を訪ね、信徒を激励される。とくに、十三日にはマリア出現のときに合わせて、ファチマに巡礼されることになっている。このたびのご旅行は、十一回目の外国旅行に算えられる。

☆五月十六日午後一時三十分、福岡市中央区大濠一丁目の聖母訪問会福岡修道院で典礼聖歌研修会が開かれる。

☆五月二十三日主の昇天祭、人生の流れは天国に向かっていることを記憶し、愛の業に励もう。五月三十日は聖霊降臨の主日、宣教的役務に生きるために「聖霊のおすまい」になろう。


綜合建設業
八千代建設株式会社
取締役　社長　田中　清
取締役副社長　渡辺　勝三郎
〒810 福岡市中央区薬院3―2―9　TEL 531―1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく
㈱メガネの正視堂
代表者　フランシスコザビエル　臼井芳数
行橋市駅通り本店　☎2―0646
〃　駅前5秒店　☎2―2390
北九州市黒崎年金病院前店☎641―4321
〃　ダイエー城野店3階☎922―5637

# マザーテレサ初めての福岡入り
## 生命の尊厳と中絶の非を訴える

四月二十七日、長崎から福岡入りしたノーベル平和賞受賞者マザーテレサ（七一）は、午前十一時二十五分特急かもめ6号で博多駅に到着した。駅頭には平田司教や教会、教区修道女連盟の関係者、一般人をふくめて約八十人が簡素の中にも心からの歓迎を表した。

降り立ったマザーテレサは一五〇センチそこそこの小柄な体で、頭とすそに三本のブルーの線をつけた白の質素な修道服にグレーのカーディガンをはおり、素足にサンダルばき。遠来の客とは思えない軽装にも、マザーテレサの信念が少なく所有して多く与える〉が生きているようであった。ただ胸元に光る小さな十字架はマザーテレサの最大の財産であり、勲章であるに違いない。歓迎陣の中から昨年インドのマザーテレサを訪ねた女高生（佐賀県三養郡基山町の児童福祉施設洗心寮寮生）が花束を贈呈し、親交を深めた。

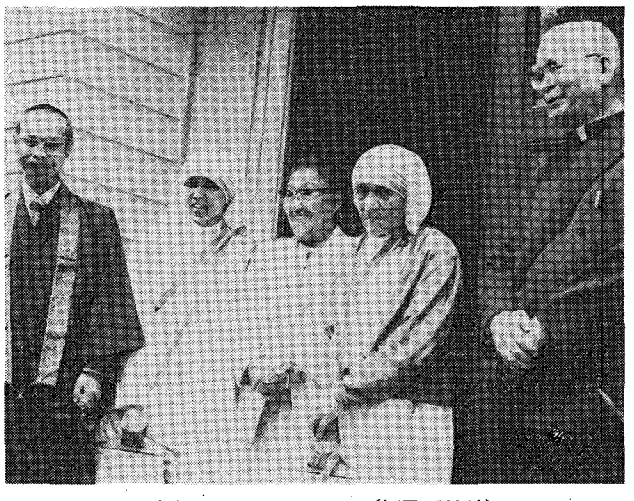
マザー一行は駅から直ちに福岡司教館を表敬訪問し、その後雙葉学園の生徒の歓迎と募金の贈呈式に向かう。マザーテレサはサン・モール修道院での中食、休息も束の間、午後二時から開かれた福岡市民会館の『母親との対話集会』に出席し、講演した。二、〇〇〇人収容の会場は信者非信者を問わず、若い母親で超満員、熱気に溢れていた。

中央出入口から平田司教に先導されて会場に入ったマザーテレサは万雷の拍手をもって迎えられ、期待の大きさを感じさせた。随胎天国・日本で毎年二〇〇万人の小さな生命が失われている現状を知るマザーの表情は笑みときびしさが交錯し、講演の中にもにじみ出る。立ったままの五十分間の通訳つきの訴えは、生命の尊厳と人工中絶の非をやさしく説き、母親たちの心に会場垂れ布のスローガン『人間・かけがえのない大切な存在』の文字を刻んだことであろう。「子供は家庭の幸せのために神が授けた。一人の子も決して殺さないで下さい。産むのを恐れないで下さい。育てられないならどうか私にください」。マザーテレサの一語一語に母親の感動は高まっていった。

講演のあと、筑紫女学園（仏教系中・高校であるがマザーとの関係が深い）を訪ね、生徒たちから募金をおくられた。

午後四時十五分、マザーテレサは雙葉学園講堂での「司祭・修道者の集い」に講演し、貧しさを理解するには自ら貧しく生きることが大切であり、キリストはその貧しさの最高の手本である、と説いた。一日の行事を精力的に終えたマザーテレサはサン・モール修道院にくつろぎ、宿泊した。

翌朝は、修道院での平田司教と三人の司祭の共同司式ミサに与かり、空の便で大阪に向かった。



ようこそマザーテレサ（福岡司教館）

司祭・修道者の集いを終えて（雙葉学園）

# 全国広報の日（五月十六日）
## 高齢化社会とマス・メディア

### 会合と催し

☆平田司教
5月1～4日　クルシリヨ
5日　ウルスラ修道会の誓願
銀祝
16日　移動青年の集い
23日　大名町教会堅信、信徒協地区会議
25日　司祭評議会、美野島教会創立三十周年
28～29日　神学研修会
30日　浄水通教会堅信と創立三十周年
31日　全国司教協議会
☆福岡黙想の家
5月1～4日　クルシリヨ
9日　大神学院静修
15～16日　九州英数学館研修
22～23日　湯川教会黙想会
29～30日　高宮教会壮年の黙想会
30～6月1日　大神学院看衣者の黙想

### 住所・名称変更（五月十日）

旧　福岡市西区笹丘1－16－1
新　福岡市中央区笹丘1－16－1
笹丘カトリック教会

旧　福岡市西区東田島カトリック教会
新　福岡市中央区笹丘1－16－1
笹丘カトリック教会

旧　福岡市西区茶山2－12－11
新　福岡市城南区茶山2－12－11
茶山カトリック教会

旧　福岡市西区城西3－14－1
新　福岡市城南区茶山2－12－11
茶山カトリック教会

新　福岡市早良区城西3－14－1
西新カトリック教会

旧　福岡市西区城西3－14－1
西新カトリック教会

新　福岡市西区片江神松寺1900
福岡サン・スルピス大神学院

旧　福岡市西区片江神松寺1900
福岡サン・スルピス大神学院

旧　福岡市西区片江町148
新　福岡市城南区片江町148
御受難修道会福岡修道院

旧　福岡市西区片江神松寺1618
新　福岡市城南区神松寺3－6－33
カルメル会福岡修道院

旧　福岡市西区片江神松寺1900
新　福岡市城南区片江神松寺1900
幼きイエズス会福岡修道院

### 住所変更（四月一日）

旧　福岡県筑紫郡太宰府町大字太宰府字御垣野5926－1
新　大宰府市大字太宰府2596－1
二日市カトリック教会

Cnstom Tailor
糸永洋服店
福岡市中央区浄水通8－8
TEL 531－3831
夜　間 521－0820

祭壇・洗礼盤他
石石他
理影の
大御そ
素材
石のパイオニア
髙木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2－21
TEL 52－2417

# マルグリット・ブールジョア列聖される

## コングレガション・ド・ノートルダムの創立者

ことし来る五〇周年を迎えるコングレガション・ド・ノートルダムはもう一つの喜びを加えることになった。去る四月二日教皇庁はコングレガション・ド・ノートルダム（日本管区本部・東京都調布市下石原三、管区長大溝節子修女）の創立者マルグリット・ブールジョアの列聖を発表したからである。ローマにおける列聖式典は十月三十一日に一応予定されている。福岡教区内の同会は北九州市戸畑区仙水町五にあって、明治学園（高・中・小）の教育活動に当たっている。

マルグリット・ブールジョアは一六二〇年フランスに生まれ、一六五三年カナダへ渡って、聖母マリアの地上の生活を崇敬するために献げた女性のグループを組織した。特に、聖母の訪問の神秘から霊感を受けて、イエスの御母を教育を通して託身されたみことばの知識を伝えるために献げられた女性の典型と仰いだ。一六五八年マルグリットはカナダにおける最初の公立学校を開設し、続いてカナダ国内そしてアメリカに多くの学校を設立した。この教育事業をより広く行うために、囲い制のない北米における最初の女子修道会を創立したのである。今日ではカナダ、アメリカ、日本、ホンデュラス、グァテマラ、アフリカのカメルーン、フランスに二、六〇〇余人の会員が宣教に従事中。

一七〇〇年に帰天した創立者の願いは、日本にも種蒔かれることになった。「アジアに福音を宣べよう」という教皇ピオ十一世の呼びかけに応え、一九三二年カナダより五人の会員が日本に派遣され、福島市に支部を創設した。現在この支部は北九州・東京・奈良・大分へと発展し、八〇人（うちカナダ人一六人）の会員が教育などの使徒職に携わっており、七人が初期養成の段階にある。

一九七五年、カナダ政府はマルグリット・ブールジョアの帰天二七五年を期して記念切手を発行した。これはカナダ政府が、彼女のカナダ国の歴史における社会的・教育的役割を認めたからに他ならない。

☆☆山内清海著信・望・愛　過去十年間の、カトリック系新聞、雑誌に投稿した著者の「ふりくな発想」の写絵集である。著者自ら認めているように多少色あせたか所がなきにしもあらずであるが、ワイシャツ姿の自由な発言であるだけに著者の人となりを理解する一助となるのではあるまいか。

本書は内容的にみて、六つの章に整理されている。第一章「堕胎天国」の汚名を消そう、第二章反省すべきこと、第三章教育について、第四章現代に生きるキリスト者、第五章信・望・愛、第六章召命についてである。もくじを開いて先ず驚いたことは、冒頭の「堕胎天国」……であった。これは的外れの推測かもしれないが、この本は何よりも世の母親に読んでいただきたい、家庭の心臓である母親に立直って考えていただくと召命の問題も明るい話題になるような気がしてきた。著者の意図がこの辺にあるとすれば、双手を挙げて賛同したい。四月下旬、ファミリ・ライフ協会の招きに応えて二回目の訪日となったマザーテレサは福岡にも立寄り、生命の尊さと人工中絶の愚をじゅんじゅんと説いた。「一人の子も殺さないで下さい」、「育てることができないなら、私にください」。二、〇〇〇人の会場の母親の中に、痛む心で聞いた者もいたに違いない。闇に葬られたわが子をいとおしく追憶した母親もいたであろう。生命は奪うためではなく、与えるためにあることを心に留めておきたい。与えることは苦しいことであるが、苦しみの終局を迎えるために苦しむのではない。神とその喜びの入場券として苦しみを捧げる。イエスは弟子たちに仰せになった。「わたしの後に従いたい者は、自分を捨て、自分の十字架をになって、わたしに従いなさい。自分の命を救おうと望む者はそれを失い、わたしのために命を失う者はそれを得る」。（マタイ16・24―25）チェスタートンがキリスト教は逆説の宗教と語るとき奇跡をそこに感ずる。全編を通して、祈る強い母親を願ってやまない。（福岡大神学院九八〇円）

# ジェムス・ドイル師（荒尾）

## みとられることなく急死

〈詳　報〉

ジェムス・ドイル師（荒尾教会主任）の急死と葬儀については、四月号「カトリック」に発表したが、補足的に師の経歴をふくめて掲載し、哀悼の意を表したい。

かねてから心臓衰弱のために健康がすぐれなかったドイル師は、入院・退院のくりかえしであったが、三月二十六日（帰天の日）は体調も良く、午前中司祭館庭の芝の手入れに精出されたらしい。これが死を早めたかもしれない。司祭館のお手伝いさんが外出先から戻ってみると、昼寝しているかのような姿で亡くなっていた。

三月二十九日手取教会で行われた葬儀には、多数の聖職者・信徒が溢れ、生前の師の人柄と業跡を物語っていた。葬儀の中で聖コロンバン宣教会日本管区長マイク・スカリー師が発表したドイル師の経歴はつぎのとおりである。

ドイル師は一九〇八年九月二十一日アイルランド国に八人兄弟の四男として生まれ、兄の一人は司祭、姉は修道女であった。郷里の教区高等学校を卒業後、設立まもない聖コロンバン宣教会に入った。そして同会の大神学校在学中アメリカの同会大神学校に留学した。一九三三年十二月二十一日、司祭に叙階（司式者はアメリカ・セントルイスのグレノン大司教で叔父）される。叙階の翌年アイルランドに帰国、数か月して韓国へ。一九三四年親友であるオブライエン師と日本語学習のため日本へ行った。十月二十日だった。東京・関口教会の司祭館に住みながら日本語の勉強を続けた。一九三六年麻布教会の助任を三年間務めた。一九三九年再びオブライエン師と韓国に渡り宣教活動に入ったが、軍部のために困難を極めた。終戦後一年間位アイルランドに帰国したが、一九四八年一月六日日本の宣教のために来日した。東京の聖母病院付司祭館に起居しながら、豊島の聖パトリック教会の初代主任となり、また日本管区（聖コロンバン宣教会）の初代管区長にもなった。当時の日本管区は韓国の宣教地を含んでいた。ドイル管区長の指導のもと、豊島教会の新築工事が完了し、二年後には日本管区本部も出来上った。管区長職が多忙となったため豊島教会主任を辞任し、管区長を一九五八年まで果たした。その後熊本地区の宣教に従事する。一九五八年―一九六三年まで大江（天草）教会、一九六四年―一九七三年まで帯山教会主任、一九七四年から現在まで荒尾教会主任であった。ドイル師は最後まで司祭職を忠実に果たし、キリスト者の姿、宣教師の姿、司祭の姿を見事に示してくれた。

## サン・モール修道会 新しく二支部設置す

（四月一日付）

◎笹丘修道院（院長・加藤正子修女）福岡市中央区笹丘一―17

◎マリアン・ハウス修道院（院長・井手澄江修女）福岡市中央区御所谷一三六―一

信頼に誠意と技術でこたえる
株式会社 藤木工務店
取締役社長　藤木鐵三
福岡支店長　池内満
福岡支店　福岡市博多区博多駅南4-18-2　電(092)441-6585

各種高圧ガス・溶接材料・その他
松尾産商株式会社
社長　松尾光敏
北九州市若松区藤ノ木1―4―23
TEL 771―3657

吉川病院
院長　吉川東陽
福岡市中央区平尾四ツ角　TEL 521―0568

# カトリック

平田司教認可
発行所
福岡市中央区浄水通39
福岡司教館
発行兼編集人　山田成章
電話092—522—5139
振替口座　福岡3-42981
定価　一部　25円


祈禱の使徒会
(一般) キリストの慈悲と愛
(布教) 福音宣教と真の士着

## 教区の重責と期待を帯びて
## 新しい教区顧問官の任命

四月十二日、平田司教はつぎの六人を教区顧問官に任命した。

山田　成章師（教区総代理）
伊東　誠二師（茶山教会主任）
青木　保師（大名町教会主任）
ベルトラン師（八王寺教会主任）
堤　要吉師（大楠教会主任）
平田　敬師（戸畑教会主任）

☆☆参　考☆☆

カトリック教会法第四二四条　顧問官は、司教によって任命される。ただし、第四二六条の規定の適用を妨げない。

教会法第四二五条の一　教区顧問官の最小数は、六名であり、司祭が少ない教区においては、四名でなければならない。それらは、すべて司教都市、または、その近在に定住しなければならない。

教会法第四二六条(1)　顧問官の任期は三年である。

(2)三年の経過後、司教は、旧顧問官の代わりに他の者を任命するか、または同一人を、次の三年間留任させなければならない。この規定は三年ごとに守らなければならない。

(3)顧問官のある者が、いかなる理由によるを問わず、三年中に欠員となる場合は、司教は、他の顧問官の意見を聴取して、他の者を補欠として任命しなければならない。補欠顧問官は、前任者の任期が終了するまで在職する。

(4)また、三年の終了時に、司教座が空位である場合は、顧問官は、新司教の着任まで留任しなければならない。新司教は、就任より六カ月以内に本条の規定にしたがって処置しなければならない。

教会法第四二七条　教区顧問団は、司教の参事会としての司教座祭式者会の代わりをなすものである。したがって、司教が就任しているとき、就任が妨害されているとき、または空位であるとを問わず、本法が教区の統轄に関して司教座祭式者会に与える権限は、教区顧問団にも与えられるとみなされる。

教会法第四二八条　顧問官は、その任期中においては、正当な理由にもとづかないかぎり、かつ、他の顧問官の意見を聴取しないかぎり、罷免されることはない。

## 六月の聖体礼拝当番教会

六月　六　日　茶山、八代
六月　十三　日　箱崎
六月　二十　日　大楠
六月二十七日　笹丘

## 第8回釜ケ崎産業社会労働問題ゼミナール

期　間：1982年7月25日(日) 16：00～
　　7月31日(土) 14：00
会　場：釜ケ崎「旅路の里」
テーマ：「釜ケ崎に学ぶ」—釜ケ崎との出会い—
参加資格：全期間に労働に従事できる18歳以上のキリスト者及びキリスト教に理解のある男女
申込金：3,000円（当日の会場受付で納める）
申込方法：別紙申込用紙に参加する動機、このゼミナールに期待するものを記入のうえ
〒557 大阪市西成区萩之茶屋2-8-9
「旅路の里」 宛に送る
申込〆切：6月26日（土）まで必着のこと
主　催　釜ケ崎協友会 ゼミナール 運営委員会

## 待望の新・増築の西新教会
## 七月中旬着工へ決定

かねてから、園舎の一部に仮住居を余儀なくされていた福岡市早良区の西新カトリック教会（主任牧山藤房師）は、長年の信徒の資金作りと平田司教の理解と協力を得て、七月中旬、併設の西新カトリック幼稚園の夏季休暇の開始とともに着工にふみきることになった。

計画書によれば、教会堂一一七坪（四一〇席）、司祭館五五坪である。幼稚園舎は一部既設の建物を残して、それに増築する形になるようである。

西新教会は、昭和二十八年七月五日、故青木功師によって創設され、故平田勇師、川口康麟師、牧山藤房師と引き継がれている。名簿上の信徒数は八八四人であるが、教会が把握している実数は五八八人となっている。西新小教区は広い範囲に及んでいて、早良区（五五年統計では一六三、〇〇〇人）と西区（一一〇、〇〇〇人）、糸島郡内を含んでいる。西新教会と唐津教会との間にカトリック教会がないと聞けば、驚く人も多いのではあるまいか、「これから」の地域であるだけに、教会の質的量的発展を期待したい。

## 微光

電流伝導のからくりに、陽極と陰極が対立している。両極を合わせると火花が飛び、電気を生む。陽極が陽極に、陰極が陰極に結合されても何らの変化も起きない。この小さな科学の世界には、平和共存が絶え間なく繰り返されている。対立するものを拒絶するのではなく、火花を散らすほどの大きな犠牲を通してでも一致して明るさを生み出す。この科学の神秘的な作業をもって、神は何を語りかけるのだろうか。▼聖心（愛）の月の初めに、キリストの愛を深めてみたい。愛には限界がなく、永遠性をもつ。限りなく愛することは神だけを対象にしているのではない。すべての隣人を、敵をも愛する心のひろがりこそキリスト者のものでなければならない。気心を知り合った者だけの交わり、同信の者だけの語らいで満足することは低次元の愛ではあるまいか。思想・宗教の違いを越えて、愛する喜びに到達する努力はおささ怠ってはなるまい。▼愛とは相異なるものの歩み寄りである、と云えば、少しキザッぽく聞こえるかもしれない。対立する者同士であるが故に、そこに愛が働く。愛する苦しみは、異質のもの、対立点を温かく包む心の痛みである。親の意のままにならないわが子を温かく見つめる寛大な心に、明るい家庭が誕生するであろう。対立する子の仕打ちに拒絶反応を持ち続けるとき、憎しみに変化する。愛することは困難を伴うが、その可能性は祈りとともに実現できる。


事務用機器・コンピューター・学校用・幼稚園備品
㈲シオタ事務機・㈱日本幼育社
社長　カシミロ・塩田五郎
福岡市南区大楠2丁目23—15（西田ビル2F）
TEL　代表 092 (521)—8266—7

熊本石材株式会社
熊本市島崎4丁目2ノ68
電話　52—3306
　　52—8622

# 研修会開催と召命学校支援

## 教区信徒協役員会

四月二十五日（日）午後一時三〇分から、福岡司教区信徒使徒職協議会役員会が福岡司教館で開かれた。

平田司教、山田・青木両神父をはじめ十二人ほどの参加の下に、つぎの議事を討論し決定した。

一、福岡司教区信徒使徒職協議会の研修会開催について――八月七～八日の一泊二日、福岡默想の家で午後六時から開催する。講師は浦和教区長島本要司教、費用については後日決定する。

二、召命学校支援について――教区青少年担当司祭団（代表渡辺隆義師）主催の召命学校は七月二十九日（木）～三十一日（土）まで小学五年生から高校生（男子）を対象に聖パウロ会小神学校で催される。この企画を成功させるために援助金を募集することにした。一応の目安として、北九州十万円福岡十万円、佐賀三万円、熊本五万円を目標に募金する。

さらに神学校援助会費の増額についても努力することを申し合わせた。

# 第15回全国総会開催を決定

## S・V・P日本全国理事会

聖ビンセンシオ・ア・パウロ会（S・V・P略称）の日本全国理事会は、ことし本会保護の聖人聖ビンセンシオ・ア・パウロ生誕四百年にあたり、また、来年がフレデリック・オザナムによる本会創立一五〇周年を迎えるために、これを記念して「第15回日本全国総会」を開催することになった。

大会テーマは、「現在の日本の中でキリスト者はどう生きるべきか――S・V・P教会はどうあるべきか」に決定した。これは、現代日本にあって真にキリスト者として生きていくうえで様々の障害に遭遇するが、具体的にどう対応していくべきなのか。真に愛と正義に生きようとするときの社会とのかかわりはどうあるべきなのか。そのためにS・V・Pはそして教会はどうあらねばならないのか、の反省から生まれたものである。また、今総会は低迷つづきのS・V・Pの再出発点とするためのものであり、同時に教会が教会として存在するに価するためにわれわれが何を具体的にしていかなければならないかを追求し、確認しようとするものである。そのために会員外の参加が期待されている。愛と正義に生きようとする人々すべてに開放された場と考えているからである。

全国総会は九月三日（金）～五日（日）まで、愛知県幡豆郡幡豆町三ケ根山（東海道線清郡下車バス）で開催される。総会プログラムでは、パネルディスカッション、分科会、全体会議（分科会報告）の外に、名古屋教区長相馬信夫司教の特別講演や福井教全国理事会長の基調講演がある。

## 飛脚

☆五月一日午後七時から四日の午後四時まで、使徒職に献身するリーダー養成のためのクルシリヨが福岡默想の家で開催された。盛会のうちに終了したが、平田司教は参加者激励のために、最終日午後二時からミサを捧げ、一同を祝福した。

☆五月十四日司教館で福岡地区婦人会役員会が開かれ、地区婦人会総会（六月十一日予定）について話し合った。総会は地区発会式を兼ね、また小さな默想会形式とすることを決めた。当日午前十時から午後三時まで行い、会費五〇〇円。名古屋・港教会主任ハトリック師の講話がある。

☆五月十四日司教館でアウキシエルの集いもあった。アウキシエルは、準修道誓願を立て生活している社会人（勿論未婚者）で、学校・幼稚園教師や美容師など種々の職業の人を含んでいる。福岡教区内のメンバーは五人である。

☆福岡地区信徒使徒職協議会が五月二十三日司教館であった。午後一時三〇分から、約二十人が集まって開かれたが、途中平田司教、山田・青木両師も加わった。主な協議事項としては①地区信徒協の研修会を七月三日～四日、福岡默想の家で鈴木師を講師に迎えて、午後二時から行う。参加資格は役員に限定しない。申し込みしめきりを七月二十三日とすること。以上を決定した。(2)教区信徒協の研修会は八月六日～八日に催されること。③召命学校への援助金として、福岡地区二〇教会に対し計十万円を目途に努力すること。これら二つの行事に対する理解と協力を乞い合った。④花ビラの会（弱視児の拡大絵本製作のボランチア活動者の会）が紹介された。福岡花ビラの会はカトリック・プロテスタントその他未洗者で組織されており、十三人の会員である。熊本花ビラの会は手取教会を中心にカトリック者十二人である。⑤地区信徒協ビジョンについて、その可否について討議したが、賛否両論がはげしく対立して成立にいたらなかった。平和（反核・軍縮）と正義の具体的運動は政治的影響を伴うものだけに、事はそれほど簡単ではなさそうである。ただそれらのテーマは関心を持ち、研究する価値がある、という認識では同感であったと思う。

☆五月二十六日、福岡サン・スルピス大神学院教授ジャック・ツルデル師（七五歳）は司祭叙階五〇周年の喜びを迎えた。当日は神学校内だけの内輪の祝いにとどめ、正式には十一月の大神学院祭のときに盛大な祝賀行事をすることになっている。また、同師は来日四十六年目に当たる宣教師で、外国人の顔をした日本人であろう。長寿と健康・幸せを祈り、感謝の一端を示したい。

☆六月二十七日午後一時から、典礼聖歌研修会が笹丘教会で開かれる。ヘクリームの入らないコーヒーなんて〉ではないが、聖歌のないミサももの悲しい。生来の音痴はないと聞くが、研修は大切。

## 聖書の読み方

聖書を読むことは、信仰を保持しようとするキリスト信者にとっても、キリスト教というものを知ろうとする、信者以外の人にとっても必要であろうが、その際近代人はいろいろの問題にぶつかるし、しばしば迷方に暮れるような感じを受けることがあるであろう。すでに「使徒の宣教」は次のような話を物語っている（使8・27～35）。ある日ユダヤ教に改宗したエチオピア人がエルサレムからの帰途、馬車の上でイザヤ書を読んでいた。そのときフィリポスという一人のキリスト教の宣教者が「読んでいることが、おわかりになりますか」と尋ねると、「説明してくれる人がなければ、どうしてわかりましょう」とかれは答えた。そこでフイリポスは馬車にのぼってかれと並んで腰をおろし、かれが読みかけていた箇所の解説から始めて、ついにイエス・キリストの福音を告げるに至ったというのである。現代の読者も同様な困難にぶつかる。教会が説教において、および祭儀を通じて行っているように、かれらに対しても聖書の意味を解説する理由は、かれらがそしてまたかれらもそれを必要としているからである。しかしながら、このような困難とは性質の異なった障害が起こりうることも考慮しておく必要がある。というのは、われわれが聖書を読む場合自分の心の中に自然に生じてくるいろいろの疑問は、古代や中世のキリスト信者がいだいたそれと必ずしも同じものではないからである。現代の教育を受けて、少なくとも一般普通教育を受けて、文学的および歴史的批判方法に親しんでいるわれわれは、無意識のうちにこれらの方法を聖書にも適用しようとする。近東地方の過去の文化を再生してくれる考古学の成果に興味をいだくわれわれは、すぐにこれらの研究成果と聖書のテキストの記述を結びつけ、テキストを当時の時代的環境を背景として理解しようとする。このようなやり方は聖書が聖なる宗教文学である以上誤りであろうか。

いな、けっしてそれは誤りではない。なぜなら、神は人間に語るため、完全に人間の言葉でみ言葉を表現するさまざまの人間を利用してきたからである。したがって神が今日もなおわれわれに語り続けている事柄を理解するため、われわれが精神科学のあらゆる産物を適用することは当然であろう。考古学と批判学のすべての成果をこれに適用しても多すぎはしないであろう。もちろんその際に宗教的な信仰をもってこれを行うこと……（グロ著聖書入門P24―25）

**六月年忌の司祭**

▼トマス平田好神父＝九三八年六月二十一日門司港教会主任。

綜合建設業
八千代建設株式会社
取締役　社長　田中　清
取締役副社長　渡辺　勝三郎
〒810 福岡市中央区薬院3－2－9　TEL 531－1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく
(株)メガネの正視堂
代表者　フランシスコザビエル　臼井芳数
行橋市駅通り本店 ☎2－0646
〃　駅前5秒店 ☎2－2390
北九州市黒崎年金病院前店☎641－4321
〃　ダイエー城野店3階☎922－5637

# 輪になる練成会の一泊二日
## 新田原教会の役員会

新田原カトリック教会の役員会（委員・班長・監査）は、四月十七～十八日の両日、国東半島の聖ドンボスコ海の家で、主任司祭（山川辰幸師）の指導のもと、練成会を行った。

一行二十六名は、十七日午後、各車両に分乗、海の家に向けて出発。車中は四方山ばなしに花を咲かせて約二時間の旅となった。

練成会は、みことばの祭儀で始まり、司祭を囲んだ一同は、聖霊の助けを祈り続けた。

夕食会で兄弟たちが一同に集い汲み交す酒は、益々信頼感を深め、小教区共同体に奉仕する姿勢を語り合うなど、素晴らしい親睦となった。

翌十八日は早朝起床。本格的に練成会は進められ、二十六名の兄弟は五グループに分けられ、家庭について、キリスト者の使命について、組織について、それぞれのグループごとに検討会を実施。

私たちの日常生活の中に、キリストが生かされているか、組織の中の一員として役割は果たされているか、反省をこめて、ありのままの姿を語り、有意義な黙想会ともなった。

新田原教会の練成会

練成会の最後は、ミサ聖祭で結ばれた。聖霊に充たされ、兄弟は燃えるかの如き信仰と、感激もあらわに、固く結ばれた手と手、共同体が一つの輪となって、わが主により頼み、主への祈りも感激のうちに心をふるわせた。

そこには、現世の旅路の新たな決意と、主への賛美があった。

なお、本練成会は、小教区の年度計画に企画されていたことが、このたび実施されたものである。

# 長崎教区から七十七人
## 第三回移動青年の集い

五月十六日午後一時三〇分から、福岡教区司教館の新館ホールで「第三回移動青年の集い」が開催されました。約七〇名の若人がさわやかな五月晴れの下で親睦スポーツ大会に興じ、若いエネルギーをぶつけ合いながら、地元青年達との交流を深めました。

八二年度の福岡教区への転入者、特に長崎教区の移動信徒は七十七名に達しています。（連絡もれもあると思います）

係りの者達は一日も早く各教会の懐に入って貰いたいと願い、微力乍らも新住所確認や名簿作製、教会所在地地図と電話応答などで、やっとこの日を迎える事が出来ました。

今年も、地元青年達の積極的な協力により、なごやかな雰囲気の中でプログラムがすすみました。

第一部は「キリストと共に」のフォークソングで始まり、ついで司教様の歓迎のおことば「キリスト信者として教会に結ばれる事の大切さと未来を負う青年男女がキリストの名の下に永遠の契りを交わすまでの親睦が望ましい。」「日頃親分の情で又、担当司祭の竹森神父様と教区青年は、もうすっかりついていく程の心の通いを培かっておられるので、青年達の全面的な協力態勢は年々に深まって行くばかりある、と手伝いの者達が強く感じております。第二部では、担当したシスターたちの挨拶、続いて地元青年による自己紹介、各教会に青年会やサークル等が紹介され、未だ所属教会を決めていない青年達は大きい期待と喜びを持ち乍ら仲間にはいっていきました。やがて一通りのお茶の時間が終わると、外に出て各グループでバレーボールに興じ、時間のたつのも忘れる程で、四時過ぎに散会した。

司教館の方々からも、とっても良い集いでした、と喜びのことばを頂きました。色々な事情で出席出来なかった方々もいらっしゃいましたが、一日も早く各自の教会を訪ねられて、青年達の仲間に入られるようおすすめいたします。又福岡教区の皆々様、この大勢の青年達が一日も早く皆様の教会に馴染む事が出来ますように、どうぞ暖いひとみとやさしい一声をお願いいたします。（シスター沢）

## ☆募金ご協力にお礼☆

先日、「ポーランドで愛の手を」でカンパを呼びかけましたところ、皆様のご協力で、四月二十八日現在五、四二九、五五六円が寄せられています。募金は継続されていますが、うち五〇〇万円は四月二十三日、駐日バチカン大使に手渡し、ポーランド教会を通して国民に届けて頂くことになりました。皆様の温かいお心により、ポーランドへの大きな励ましとなりました。感謝！（鈴木）

# 修道立誓願25年の祝い

福岡・聖心のウルスラ宣教女修道会本部では、五月五日、シスターグラツィアーナ・チャオ、シスタージョヴァンナ・フェラリス、シスター村上貞美、シスター新宮郁子の四人が立誓願の銀祝を迎えた。午前十時から、同本部修道院聖堂で平田司教と三人の司祭の共同司式ミサが盛大に捧げられた。与かった四人はそれぞれの国語で誓願を更新し、奉献生活の喜びと感激を新たにした一日となった。

立誓願銀祝のシスター

## 会合と催し

☆平田司教
6月1～5日　全国司教協議会
8日　司祭候補認可式
11日　福岡地区婦人会総会
13日　小倉教会堅信
15日　司祭月例集会
20日　福岡黙想の家（墳墓部分）の落成式
27日　教区修女連総会
29日　平田司教ご霊名祝賀会

☆福岡黙想の家
6月4～8日　幼きイエズス修道会の黙想会
11～13日　善きサマリア人修道会の黙想会
17～18日　西ルーテル教会の親睦会
20～21日　カテキスターの黙想会
21～26日　大分・鹿児島・高松三教区司祭の黙想会
26～27日　久留米信愛シスターの黙想会

Cnstom Tailor
糸永洋服店
福岡市中央区浄水通8－8
TEL 531－3831
夜間 521－0820

祭壇・洗礼盤他
石材
石の理想の大御所
石のパイオニア
髙木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2－21
TEL 52－2417

# 「家庭勧告書」から見た こどもの信仰教育 (1)

## 〈小さな教会〉

ジュリアン・ガイヤール

一九八〇年の秋、ローマで、家庭というテーマを中心にシノドスが行われたことは、皆さんの記憶に新しいと思います。当時、現代世界における家庭のメッセージが発表されましたが、その外にはーシノドスが討議した内容についても、あるいは将来を目指す方針などについてもー特別の文書は発表されませんでした。しかし、シノドスの作業の結論として、司教さまがたは43の提案書を教皇さまに手渡し、全世界の信者に宛てた適切な公文書を書き送るようにお願いしました。ヨハネ・パウロ二世がこの願いにお答えになって、昨年十一月に、内容の豊かな勧告書を発表することになりました。

こどもの信仰教育にたずさわりたびたびそれに悩んでいるわたしたちにとって、この公文書の中に参考になるものがきっと多いと思い、それをゆっくりと読むことにしました。収穫が多かったので、それを少しづつみなさんと分かち合いたいと思います。

先ず第一に、この長い文書を読んだ時に、一つの表現がたびたび私の目に止まりました。それは家庭という共同体が〈小さな教会〉であるということです。勿論、これは全く新しい表現ではありません。既に十七年位前にバチカン公会議は、こどもの信仰教育と新しい社会の建設について家庭が負っている責任に触れたとき、二回程家庭は教会の家族的な聖所であることを録して、家庭を教会にたとえています。(教会憲章 11信徒使徒職教令11)。その時、小さな花のように咲き出たこの言葉は、今度の勧告書の中に何回も出てきます。信者の家庭とはどんなものであるか、その家庭のいろいろな義務、とくにこども社会に対する義務の根源がどこにあるかを説明するとき、ヨハネ・パウロ二世は13回位家庭が家族教会であるとか、小さな教会ーミニ教会ーと言っておられます。何回も出ていますが、シノドスはこの考えを一層深めました。

ここで全部挙げることはできませんが一番意味の深いか所だけを選びました。「信者の家庭は教会共同体を表すものであり、特別の形でそれを実現するものである。したがって家庭を家族的教会と呼ぶことができる。というよりも呼ばなければならない」。(勧告書21)。別の言葉で言えば、とくに洗礼と婚姻の秘跡によって親もこども聖霊に満たされています。聖霊の賜物のおかげでキリストさまと兄弟になったと同時に、教会に結ばれたのです。ですから、家庭はもう普通の共同体ではなく、キリストの教会の目に見ゆるしるしとなり、その生きた細胞でもあります。また、みことばと秘跡とによって家族的な教会として集められた家庭は、同時に教会全体のように母でもあり教育者でもあります。(勧告書38)。〈小さな教会〉としての信者の家庭は大きな教会の模範にしたがって、この世のために一致のしるしになるように招かれています。(勧告書48)。福音宣教の将来の大部分は家族的教会次第である。(勧告書52、同65)。この責任を果たすことができるために、〈小さな教会〉にとっていつも福音を豊かにうけいれることが必要である。(勧告書の52)。

このような言葉を読むだけでも信者の家庭がどれほど神聖なものであり、また家庭と教会との関係も深く神秘的なものであるかが解ります。この関係においてこそ、家庭の真の姿が表されるとともにその使命、とくにこどもの教育に関する使命も生じるのです。信者の家庭が教会のお世話になっているというならば、教会も自分のこどもを信仰に導く親の世話になっているとも言わなければなりません。教皇さまがいわれたように、教会は信者の家庭の中に自分の揺かごを見出すのです。(勧告15)

(福岡司教館司祭)

# カリスマ刷新と私

## 益田のり子

熊本市に聖霊セミナーが初めて行われたのは、コロンバン会の神父様方による一九七九年の秋でした。それまでは御父、御子が何か知識としては感じられる存在でしたが、その二つのペルソナから出た愛のペルソナ・聖霊を体験しはじめたのは、私の信仰生活における大きな大きなめぐみでした。

「聖霊来たり給え、信者の心に満ち給え……」、と私は教会でも独りの祈りの中でも誦えていましたが、ここ三年間ほどの聖霊を意識したことはありませんでした。それまでは御父、御子が何か知識としては感じられる存在でしたが、その二つのペルソナから出た愛のペルソナ・聖霊を体験しはじめたのは、私の信仰生活における大きな大きなめぐみでした。

熊本市に聖霊セミナーが初めて行われたのは、コロンバン会の神父様方による一九七九年の秋でした。七週間にわたるセミナーに、毎週一回、四つの教会から集まり、小林司教様の御指導のもとにはじまりました。

セミナーの間、十二名の神父様方によって書かれた神のみわざの体験「聖霊と私」という本を読んで、神さまなめぐみがもっと深く分りました。セミナーのはじめのうちは、今まで体験した事のない祈り方(両手をとげたり、手をたたいたり)に戸惑いを感じましたが、七週間が終わると、より深く聖書が神のみことばとして心にひびき、今まで興味のなかった病人訪問や他の信者の方達との交わりなど、確かに大きく変わっている自分を発見しました。それまでは私と神さまだけという関係でしたが、セミナーの後にできた祈りの集いでは、共同体で神さまに感謝と賛美を捧げます。ミサは単なる儀式ではなく、生きた礼拝となりました。

今、私は水曜日の午前と月曜日の自宅での祈りの集いに参加していますが、水曜日の祈りの集いでは、お年寄と若い主婦の十二・三名位が雨の日も風の日も雪の日も、嵐の日も殆んど全員出席し、聖書を中心に、又自分の生活における主のみわざの証し、奉仕などを分ち合いながら神さまを賛美しています。神さまは色々の方法を通して、御国が広がるのを望まれています。カリスマ刷新もその一つだと思います。

私は今年一月、熱海で行われたカリスマ刷新リーダー研修会に参加しましたが、司祭三十四名、修道者二十二名、信徒百六十三名が北海道から沖縄まで一つに集まり、聖霊の賜物を体験し神さまを賛美しました。

今カリスマ刷新は、私の教会の祈りの生活に大分影響しています。毎朝のミサの後と日曜日のミラの後信者達が集まり、いやしの祈りがつづいています。この三年の間、私達はイエズス様のいやしのできごとを色々体験しました。そして熊本市の手取教会では月に一回、第四日曜日に九州祈りの会として五つの市から集まり祈っています。

これからも個人の祈りを増々深め、共同体も小教区や全国の人々と手をとり合って、「御国の来たらんことを、御旨の天に行わるるごとく地にも行われんことを」期待して祈りつづけたいと思います。

(健軍教会信徒)

## 九大文学部長に稲垣良典教授

九州大学文学部は、任期満了による選挙で、次期部長に稲垣良典教授を選んだ。任期は七月一日から二年間である。

稲垣教授は中世スコラ哲学の第一人者で、一家五人全員カトリック信者である。古賀教会の所属となっている。九州大学には数人のカトリック教授がいるが、有力な福音宣教の証人の一人である。

信頼に誠意と技術でこたえる
株式会社 藤木工務店
取締役社長　藤木鐵三
福岡支店長　池内満
福岡支店　福岡市博多区博多駅南4-18-2　電(092)441-6585

各種高圧ガス・溶接材料・その他
松尾産商株式会社
社長　松尾光敏
北九州市若松区藤ノ木1—4—23
TEL 771—3657

吉川病院
院長　吉川東陽
福岡市中央区平尾四ツ角　TEL 521—0568

# カトリック

平田司教認可
発行所
福岡市中央区浄水通39
福岡司教館
発行兼編集人 山田成章
電話092—522—5139
振替口座 福岡3-42981

定価 一部 25円


## 祈禱の使徒会

（一般）婚姻の秘跡と家庭生活
（布教）アフリカにおける福音宣教

## 大神学院の司祭候補認可式
### 四人の福岡教区神学生も

六月八日、福岡サン・スルピス大神学院は司祭候補認可式を盛大に行った。

午前十時から、平田福岡司教が司式し、多数の関係者が見守る中で、九人の神学生は司祭候補の認可を受けた。

この認可を受ける者は、通常、神学科一年の第一学期に当たり、スータン（聖職者用黒衣）着用が許可される。そこより、別名着衣式とも呼ばれている。大神学院に入学して五年目に、この喜びの日を迎えることになっている。

当日、一門の喜びを背負って参加した人の中には、遠く長崎、鹿児島、大分からも見え、到る所に祝福の輪が作られていた。特に、認可式を受けた神学生の出身教会の主任司祭が、多数参加している姿は印象的であった。

平田司教と福岡教区神学生

四人の福岡教区神学生は、つぎのとおりである。

ペトロ青木悟君（今村教会）
ペトロ平田三好君（今村教会）
ヨゼフ川上惣一君（小倉教会）
ヨハネ桜井尚明君（佐賀教会）

四人とも、昭和四十七年四月福岡小神学校入学の同期の桜である。

この外、長崎教区二人、大分教区二人、鹿児島教区一人が喜びの認可式を受けている。

## 七月の聖体礼拝当番教会

七月 四日 八王寺
七月 十一日 天神町
七月 十八日 黒崎
七月二十五日 小倉

## 反核・軍縮の平和ミサ
### 福岡市内の教会有志

六月六日、第二回国連軍縮特別総会開催を前にして、日本カトリック司教団の呼びかけに応える、福岡市内教会有志の反核・軍縮の平和ミサならびに平和集会が行われた。

平田司教は、午後三時からのミサ参加者二百人に、広島における教皇の平和アピール「人類同胞に向かって軍備縮少とすべての核兵器の破棄を約束しようではありませんか。」の力強い要請がみられる。現代世界憲章21に、「教会は無神論を絶対に退けるものであるが、信じる者も信じていない者も、すべての人が、ともに生活しているこの世界を正しく建設するために尽力すべきであることを真心こめて主張する。」同憲章43に、「われわれがこの世に永続する国を持たず、未来の国を求めることを知って、それゆえに地上の義務を怠ってもよいと考える者は間違っている。」と述べている。「キリストのあがないの業は、本来、人間の救いを目ざすものであるが、それはこの世の秩序全体の刷新をも含んでいる。教会の使命は、ただキリストの福音を告げ…るだけでなく、この世の秩序を福音の精神で満たし完成することである。」（使徒職教会五）と明示する。

六月六日、第二回国連軍縮特別総会開催を前にして、日本カトリック司教団の呼びかけに応える、福岡市内教会有志の反核・軍縮の平和ミサならびに平和集会が行われた。

平田司教は、午後三時からのミサ参加者二百人に、広島における教皇の平和アピール「人類同胞に向かって軍備縮少とすべての核兵器の破棄を約束しようではありませんか。」の力強い要請がみられる。現代世界憲章21に、「教会は無神論を絶対に退けるものであるが、信じる者も信じていない者も、すべての人が、ともに生活しているこの世界を正しく建設するために尽力すべきであることを真心こめて主張する。」同憲章43に、「われわれがこの世に永続する国を持たず、未来の国を求めることを知って、それゆえに地上の義務を怠ってもよいと考える者は間違っている。」と述べている。「キリストのあがないの業は、本来、人間の救いを目ざすものであるが、それはこの世の秩序全体の刷新をも含んでいる。教会の使命は、ただキリストの福音を告げ…るだけでなく、この世の秩序を福音の精神で満たし完成することである。」（使徒職教会五）と明示する。

ミサ後、平和集会に移り、平和の犠牲者に対する黙祷、原爆被災者の体験発表、近づく平和の脅威―新しい段階に入った世界の核軍拡競争によって、現在世界には広島に落とされた原爆の数百発分が貯蔵され、年間五、〇〇〇億ドル以上の軍備費が使われている。―に対する核兵器完全禁止と世界的軍縮の早期実現の要請、神の恵みであり、神の導きのもとに育てる平和の共同祈願をもって集会を閉じた。その後、岩田屋デパートを中心にした天神町界隈を、賛美歌を唱和しながらの静かな平和行進で、道行く人に平和を訴えた。

教皇ヨハネ・パウロ二世の広島の平和宣言の中には、「広島を考えることは平和に対する責任を取ることです。」「人類同胞に向かって軍備縮少とすべての核兵器の破棄を約束しようではありませんか。」の力強い要請がみられる。現代世界憲章21に、「教会は無神論を絶対に退けるものであるが、信じる者も信じていない者も、すべての人が、ともに生活しているこの世界を正しく建設するために尽力すべきであることを真心こめて主張する。」同憲章43に、「われわれがこの世に永続する国を持たず、未来の国を求めることを知って、それゆえに地上の義務を怠ってもよいと考える者は間違っている。」と述べている。「キリストのあがないの業は、本来、人間の救いを目ざすものであるが、それはこの世の秩序全体の刷新をも含んでいる。教会の使命は、ただキリストの福音を告げ…るだけでなく、この世の秩序を福音の精神で満たし完成することである。」（使徒職教会五）と明示する。

## 微光

倫理社会が問われている。これは、昨今のニュースの特色の一つであろう。年を追うごとに、倫理感の欠落した人間は目を覆うばかりである。上手にうそをいうことが社交術であり、立身出世の要諦と心得ている向きが多い。多発する凶悪犯罪、職務権限に絡む贈収賄事件、公費の不正流用や濫用のかずかずに、良心はいずこに、と懸念される世相がうらめしい。政治はかね（金銭）、と豪語する輩には何をか云わんや。▼戦後の日本では、いち早く敗戦のショックから立直り、食べられる社会を築くことが最優先の課題であった。高度成長期の社会は心の問題を配慮することなく、一輪車の曲芸を楽しむ、不安な成功であった。丸々と肥った動脈硬化の重症患者の感さえあったのである。危険が一杯のその社会に、勇気ある診断と治療を与えた者が幾人いたであろうか。名医はいたが、その声は顧みられず、余りにも非力。ぞろぞろ危険信号が出始めた。▼心を重視する社会、他人の痛みを分かち合う人間にするために、教育の在り方を再検討してみる必要があるはしないだろうか。人間を人格的に理解できないならば、永遠的な価値観も生まれてこない。朽つべき「もの」に過ぎない、何も残らない存在とみるとき、この世を楽しく、面白く暮すために役立つ方便はすべて許される、と考えるであろう。善悪の規準が良心ではなく、札束の厚さに関係するかのように行動する人は少なくない。


事務用機器・コンピューター・学校用・幼稚園備品
㈲シオタ事務機・㈱日本幼育社
社長 カシミロ・塩田五郎
福岡市南区大楠2丁目23—15（西田ビル2F）
TEL 代表 092（521）—8266—7

熊本石材株式会社
熊本市島崎4丁目2ノ68
電話 52—3306
52—8622

# アダム荒川などの列福の動き

## 六月の司教協議会の議題に

## 八代の六人の殉教者たちも

五月三十一日から六月五日まで開かれた日本カトリック司教協議会総会の検討議題として、熊本県葦北町富岡の殉教者アダム荒川と八代市の六人の殉教者の列福問題が採択された。

この殉教者たちについては、かなりの資料が集められているが、とくに、片岡弥吉著日本キリシタン殉教史のP二一三～二二〇、P二四六～二五三にかなり詳細に紹介されている。

一、八代の六人の殉教者は、ジョアン南五郎左衛門、その妻マグダレナ、甥で養子となったルドビコ、シモン竹田五兵衛、妻アグネス、母ヨハンナである。肥後の領主加藤清正は、一六〇〇年（慶長五年）の関ケ原役で亡んだキリシタン大名小西行長の残党キリシタン武士に対する迫害を開始した。当時、小西行長の領内であった宇土、八代方面には、熱心なキリシタンがかなりいたようである。

一六〇三年十二月、これらの殉教者の血が流された。先ず、南五郎左衛門が加藤清正の菩提寺本妙寺に連行され、殺された。竹田五郎兵衛は八代の邸内で、母や妻の眼前で斬首された。八代の奉行は、竹田の母に改宗を勧めてくれるよう頼んだが、「一時の生命を保つために、永遠の幸福を失うことは、私たちの取らない所でございます。そしてもし、私も五兵衛と一緒に死ぬことができますれば、天下の母たるものの中、私ほど幸せなものはありますまいと存じまする。」と答えている。五兵衛の殉教の翌日即ち十二月十日に、五兵衛の母ヨハンナ、その妻アグネス三〇歳、南五郎左衛門の妻マグダレナ三三歳、その養子ルドビコ七～八歳の四人、磔刑で槍で突き殺されたのである。五兵衛の母ヨハンナ五五歳は、殉教したわが子の首に手をおき、その顔を撫でながら、「そなたの幸せなこと。そなたは御主のために生命をささげたのだもの。私も罪人ながら仕合わせにも、長年何よりも愛しく思って来た独り息子を捧げて殉教者の母となれ申した。」と言ったそうである。かれら六人の遺骸は、長崎のトードス・オス・サントス教会に改葬された。

この他にも八代の殉教者（今回の司教会議には挙げられていないが）が記録されている。四人の殉教者は、ジョアン服部甚五郎、その子ペトロ、ミゲル水石三右衛門とその子トマスである。また、ヨアキム渡辺次郎右衛門は迫害の責苦のために、獄死している。いずれも、一六〇九年一月の出来事である。

二、アダム荒川は天草・富岡の殉教者で、一六一四年六月三日未明（殉教日については多くの議論がある）に殉教したといわれる。アダム荒川の記念碑は、本渡市のキリシタン墓地公園にある。唐津領主の寺沢広高にうけつがれた天草四万二千石には、一万五千人のキリシタンがいたという。一六一四年三月、キリシタン迫害のおふれが届いた。その時、天草の志岐教会のカテキスタであったアダム荒川の身辺も例外ではなかった。捕えられた荒川は、かずかずの拷問によってしつこく改宗を迫られた。「アダムを殺さないで改宗させるのだ。殺せば天国にやることになるし、殉教者として尊敬され、他のキリシタンたちを発奮させるから用心せよ。」これが領主寺沢広高の意向であった。しかし、アダム荒川の心変わりを期待できないと知ると、死罪にすることになった。

刑場のアダムは「あなた方の子供さんたちにキリシタンの教えを勉強させなされ。あなた方もなるべく早くキリシタンになりなさるがよい。」と役人に言った。「アダムの死は人々を感動させた。人間性の弱さの故にキリシタンをやめた人々は、アダムの勧めと模範とによって信仰をとりもどした。ある村では村民全部がキリシタンであることを公言した。」と当時の宣教師は報告している。ところで、日本の教会の五千人以上の殉教者に対して、二六人の聖人と二〇五人の福者が公認されている。キリスト教信仰の掘り起こし教会の名誉のために、教会当局の積極的な列福運動の促進を望む。

## 広島へ平和巡礼

七月五日、福岡カトリック平和の巡礼団が広島へ出発する。福岡市内の信徒有志が、ロザリオを誦えながら平和集会へ参加する。

## 召命のつどい

### 生きがいのある人生の一つの道

**日時**　七月三十一日（土）午後から八月二日（月）昼まで

**指導**　早　副　穢　師（東京大神学院長）

**対象**　未婚の女性信徒

**費用**　五、〇〇〇円

**場所**　聖心の祈りの家（聖心のウルスラ宣教女修道会）

**申込先・しめ切り**　七月二十日までにハガキ又は電話で左記へ申し込まれた方には、後日詳細をお送り致します。

〒八一五　福岡市南区塩原九一　電〇九二一五二一一〇三三

聖心のウルスラ宣教女修道会

# スマートになった黙想の家

## 新修道院などの祝別式

六月二十日正午から、増・改築の福岡黙想の家ならびに新築の御受難会福岡修道院の祝別式が、平田司教司式で行われた。

約七十人の参加者の祝福をうけた黙想の家では、従来に比して三倍大きくなった玄関が一寸シャレタそしてバランスがとれた感じになり、建物全体の堂々たる「顔」を演出している。

昨年十一月以来続けられていた工事は、現代の生活様式に少しでも近づけようとする配慮の跡が見られるようである。旧修道院用の部屋は、温水付きの洗面ユニットの新設で便利な個室となり、六人分が確保されている。個室で洗面を、の構想は、事情が許す限り、他の個室についても早い時期に実現したいとのことである。

黙想の家を眺めて忘れてならないのは、新築された修道院（修練院兼用）の堂々たるたたずまいである。木造二階建て、九〇坪の建物は、黙想の家食堂裏の奥まった一角に遠慮気味に位置しているとはいえ、内部の造作は結構なものである。勿論、そこに住む人々はもっとすばらしい聖人の集まりである。教区内に黙想の家が与えられていることは大変有難いことで、大いに活用したいものである。

新築のご受難会福岡修道院

綜合建設業
八千代建設株式会社
取締役　社長　田中　清
取締役副社長　渡辺勝三郎
〒810 福岡市中央区薬院3—2—9　TEL 531—1231

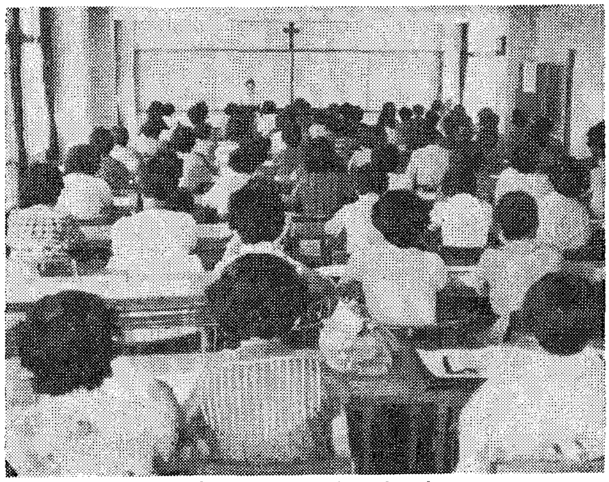
信者の皆さん今年もどうぞ宜しく
(株)メガネの正視堂
代表者　フランシスコザビエル　臼井芳数
行橋市駅通り本店　☎2—0646
〃　駅前5秒店　☎2—2390
北九州市黒崎年金病院前店☎641—4321
〃　ダイエー城野店3階☎922—5637

# 基礎固めに入った総会
## 福岡地区カトリック婦人会
## 神との出会いから活動へ

六月十一日、福岡地区カトリック婦人会（会長野川美絵子）は、午前十時から司教館司祭の家の会議室で、黙想会ならびに第一回総会を開いた。

「よい意向がよい活動を生む」の考えに立脚して、午前中は黙想会のプログラムであった。百人余の会員が真剣に講話に耳を傾け、神との対面によって心の歪みを省察した。講師は、名古屋教区港教会主任ハトリック師（聖アウグスチノ修道会）であった。

同師は聖母マリアから学ぶ三点を取り上げ、〈単純さ、日常生活の大切さ、内面生活〉の理解と実践を力説した。とくに、自分の心の中に静かな部屋を作り、できるだけそこに住み、神に心を開くことやミサを生活の中心にすることが大切であると強調した。マリアの姿は、自分の置かれた場所に根を下ろし、神の愛を毎日の生活に見出す。また、み摂理を信じ、感謝を忘れず、いつも自分の中に住んでいたのであった、と説く。分かり易い中にも厳しい針があった講話に、多くの会員は深い反省を余儀なくされた。


福岡地区カトリック婦人会総会

中食後、午後一時から総会に入り、経過報告及び行事予定が発表された。もともと、この会は「婦人の集い」という有志の人たちの集まりが母体となって発展したものである。十年程前、高校生の集まりのために昼食の準備に各教会から手伝いに出た母親たちが、これからも連絡し合って協力しようということから出来た、文字通りの有志の集まりであった。小教区の婦人会だけでは出来ないことも力を合わせることによって可能では、という考えからである。よき仕事はよき霊魂からということで、先づ黙想会が中心になった。片江の黙想の家を本拠に、ご受難会にいろいろお世話になり、いつの間にか十年が経った。

その間に、日本カトリック婦人団体連盟に準会員として入会したり、昨年は、田中澄江氏の講演会を催した。同年夏、平田司教はこの会を教区の中の組織として再発足させるために、指導司祭として提要吉師を任命したのである。そしてその準備のために、各教会から代表二人づつが出席して、一月二十七日の第一回委員会となった。委員会では、会の骨組になる会則の作成が始まり、三回の委員会の検討の末に今日の会則が出来上った次第である。やがて、会則が紹介され、全員一致の承認となった。

行事予定としては、「婦人の集い」時代からの引き継ぎとして、小神学校の掃除及び老人ホームの慰問を続行することに決定した。

二時から、平田司教、ハトリック師と提要吉師の共同司式ミサ。ミサ後は、ハトリック師を囲んでの座談会や告解などに時間を過ごす人たちがみられた。

誕生したばかりの福岡地区カトリック婦人会であるが、何かを手伝いたいという一念に燃えている婦人たちの全員集合は頼母しい限りである。神の御国の建設の良きパトナーとして、教会あげて協力していきたい。

## 飛脚

☆五月三十一日から二日間、教区司祭有志の神学研修会が司教館新館会議室で行われた。午前十時から午後三時まで、十五人の参加司祭は、鹿児島教区加治木教会主任小平卓保師の講義「聖書学的に考察した受肉の問題」を熱心に聴いた。

☆六月十五日、福岡地区司祭の月例集会があった。午前十一時から平田司教の司教会議の報告があった。❶里脇枢機卿の心臓疾患による重態のお知らせ。❷信徒個有のカリスマを生かす教区指導を求めた駐日バチカン大使の訓話。❸来年開催予定のシノドスのテーマについての話し合い。「和解と償い」について、神の義―人間の応答―教会は和解の秘跡、緊張と分裂は、神から離れて区別された人間であることから起こる。❹信仰教育について―信仰とは何か、その目的、内容、方法。教育の場として、家庭、教会学校における信仰教育、典礼における信仰教育、中高生(青少年)の信仰教育、❺中央協の建物存続問題―もう少し情勢を見守る。❻中央協の機構改革について。❼大神学院の現況報告。❽教区再編成について、❾日本人殉教者の列福運動。❿聖公会との交わりを前向きに。⓫差別用語に十分の配慮。⓬提案事項―イ、信徒使徒職サンデーの設置の是非。ロ、日本平和旬間の制定について、八月六日～十五日頃に教区毎に実行する。

福岡教区では、各小教区毎に実行するよう勧めている。ハ、カリタス・ジャパンの国内募金六千二百五十九万円、海外援助のため一億五千万円の募金。以上の項目について説明があった。ついで、大神学院のイエール師が「グルロ著聖書入門」の具体的なまた、広範の紹介と反響について話す。この本へのプロテスタント側の関心の強さが注目された。

## 会合と催し

☆平田司教
7月4日 クルシリヨ・ウルトレア
25日 唐津教会創設80周年祭及び堅信
29～31日 夏季召命学校

☆福岡黙想の家
7月3～4日 福岡地区信徒協研修会、博多ルーテル教会の修養会
8日 聖公会婦人会
10～11日 コーロ・ピエノ合唱団の合宿
17～18日 高宮ガールスカウト
23～25日 マリッジ・エンカウンター
25～8月3日 幼きイエズス会修道会の黙想会

## 広報の日献金 （5月16日）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 大名町 | 135,700 | 呼子 | 8,300 | 行橋 | 14,388 |
| 浄水通 | 24,000 | 佐賀 | 15,000 | 八王寺 | 6,000 |
| 光ケ丘 | 45,264 | 唐津 | 5,700 | 手取 | 44,000 |
| 箱崎 | 8,000 | 伊万里 | 5,000 | 荒尾 | 12,000 |
| 笹丘 | 32,000 | 鳥栖 | 12,117 | 人吉 | 11,500 |
| 西新 | 34,930 | 武雄 | 3,600 | 本渡 | 4,400 |
| 大楠 | 11,000 | 鹿島 | 1,650 | 健軍 | 14,000 |
| 美野島 | 8,090 | 多久 | 6,000 | 帯山 | 9,000 |
| 茶山 | 13,000 | 門司 | 21,599 | 大江 | 13,600 |
| 高宮 | 30,300 | 門司港 | 10,966 | 崎津 | 10,400 |
| 老司 | 17,000 | 小倉 | 83,228 | 島崎 | 43,500 |
| 吉塚 | 10,000 | 湯川 | 29,793 | 玉名 | 8,500 |
| 古賀 | 36,600 | 戸畑 | 50,581 | 菊池 | 5,200 |
| 二日市 | 20,000 | 若松 | 8,930 | 八代 | 11,600 |
| 久留米 | 42,904 | 天神町 | 20,000 | 水俣 | 8,200 |
| 大牟田 | 8,000 | 黒崎 | 38,220 | | |
| 吉野 | 3,160 | 水巻 | 25,627 | | |
| 今村 | 90,115 | 直方 | 4,000 | | |
| 本郷 | 25,000 | 飯塚 | 20,000 | | |
| 小郡 | 5,670 | 田川 | 9,500 | 合計 | 1,258,282 |
| 馬渡島 | 12,100 | 新田原 | 49,350 | | |

Cnstom Tailor
糸永洋服店
福岡市中央区浄水通8－8
TEL 531－3831
夜間 521－0820

祭壇・洗礼盤他
素材 石石他 理影の 大御そ
石のパイオニア
髙木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2－21
TEL 52－2417

# 「家庭勧告書」から見た こどもの信仰教育 (2)

## 〈生命の奉仕者〉

ジュリアン・ガイヤール

先月、この欄に、キリスト者の家庭が〈小さな教会〉であるというテーマについて考えました。家庭の真の姿とその使命を表すために、この表現は最も相応しいものである、とシノドスの言葉を引用して述べました。シノドスの文章の中によく目立つ、もう一つの文章があります。それは、親が生命に奉仕する立場であるということです。この言葉を中心として、信仰教育の責任について考えてみたいと思います。

シノドスによれば、生命に奉仕する使命は非常に広いものです。ただし、信仰教育をもってこどもをキリストさまで導くそのわざも、生命に奉仕することです。子を生み、育てることが生命に奉仕することであると云ったら誰でも納得できますが、そのこどもをなるべく立派なキリスト者にすることも、同様に生命に奉仕することになることに対して、自由を賛える現代人はすぐ納得まで行かないかもしれません。しかし、この義務について、シノドスの言葉は明らかです。「神はこどもの心の中に教会を築き上げるよう、親に呼びかけておられます。」（参照勧告書38）「主は神の独り子キリストの一人の兄弟、聖霊の神殿、教会の一人のメンバーを築き上げるよう、親に頼んでおられます。」（参照勧告書39）即ちこどもを生む責任を取った親が、同時に、人間として又、信者としても、そのこどもを立派に育てる責任を帯びています。

この教育は、中途半端に終わらないようにいつも心がけねばなりません。親は福音の最初の使者として、自分の生んだこどもに遣わされているのです。こどもに福音を知らせることによって、親は完全な意味で親となります。自然の生命だけではなく、聖霊によってキリストさまの十字架、その復活の泉から湧き出る生命をも与えて、キリストさまの生命の奉仕者になります。「家庭生活の全体を通して、福音はのべ伝えられているのです。ですから、家庭生活は信仰への道、キリストに従う道を教える場となります。このような家庭において、みんなお互いに福音を教えたり、学んだりします。」（参照勧告書39）この信仰教育は親からこどもへ、という一方的なものをのではありません。こどもが親通して恵みを受けるならば、同時に親もこどもを通して恵みを受けるのです。この交換によってのみ、信仰教育は果たされるのです。シノドスはこの効果を強調しています。

もう一つの大事な点が指摘されているのです。それは信者の場合こどもを教育するのは、単なる義務ではないということです。親は教育者としてすでに創造の業に与かっているのですが、さらに婚姻の秘跡によって、かれらは神と善き牧者であるキリストの権力と愛、母である教会の愛にも与かっているのです。秘跡によって信仰教育の業は、義務というより教会の一つの聖務となるのです。このすばらしい聖務を考えたときに、アキノのトマスはそれを司祭の聖務にたとえたのです。したがって〈小さな教会〉である家庭において、こどもの心の中にキリストさまを育成する親を司祭にたとえても過言ではないのです。両方とも、キリストさまの生命に奉仕するからです。このヨハネ・パウロ二世の言葉を聞くとき、自分の責任をよくわきまえると同時に、自分の足りない点も意識し過ぎて、落胆するような親がいるかもしれません。ところが、教皇さまが述べておられるように、親は秘跡によって聖務となった責任をわきまえるならば、気落ちするどころかその逆に、生命の奉仕者としての力、自信、喜び、勇気などの生命の賜ものを頂くことができるのです。（参照勧告書37、38、39）

## 奇跡的な天候に恵まれる
## 年度計画の聖体行列挙行
### 新田原教会

六月十三日昨夜から降り始めた雨は、一向に止む気配を見せない。新田原小教区が年度頭初に計画した「聖体行列の日」である。

できることなら、あと一旦天気で欲しかった、と「恵みの雨」にもっぷやきがあった。「主に任せよ、すべて御旨のままに」とは主任司祭の日頃の言葉である。

やはり主は〝聖体行列〟を望まれたか、午後一時、奇跡的にも雨がピタリと止んだ。

信徒は半信半疑の体で空を仰ぎながら、行列のため教会へ急いだ。定刻の午後二時には、約六百名を数えた。

聖体行列は、予定どおり行われた。十字架を先頭に、整然と列が連なっていく。御聖体は、主任司祭（山川辰幸師）によって奉持され、讃美の歌声が聖歌隊のリードで流れる。主の栄光を讃えるに相応しく美しく、小教区の丘にひろがっていく。

見よ！十字架の木、救いの木。御国を目ざして旅する人々の群れ、キリストと共に旅路の列が続く。

仮祭壇は、聖マリアの園幼稚園（カリタス会）に設けられた。御聖体が安置され、山野神父（中津サレジオ会）は「御聖体は、キリストの最大の贈りもの、キリスト者の生命の糧、キリスト者のエネルギー」、と熱弁を振った。また、聖母への信心を説き、参列者に深い感銘を与えた。

人間は、いま互いに不信感をもって争い憎み、ややもすれば破滅への道を暴走しているのでは——。人の信頼と平和と一致、それは御聖体を通してはじめてできること。偉大な神の御恵みが、まだ人々に理解されてないことは悲しいことである。

人類に、御聖体の尊厳や崇拝がなければ真の平和の到来はあり得ないことである。兄弟よ！キリストの園に集ろう、とさけびたい気持に駆られる。

聖体行列は最終コースを進み、讃美の歌声も高らかに、人々に喜びと平和を与えて無事終了した。（切江敏夫）

## 七月年忌の司祭

▼ヤコブ平田勇神父一九八〇年七月二十日元西新教会主任。
▼ヨゼフ・ブルトン神父（パリ外国宣教会）一九五七年七月二十五日元呼子教会主任。
▼ルネ・ルリエ神父（パリ外国宣教会）一九七〇年七月二十八日元本城教会主任。

## 光の子のつどい

**日時**　七月二十六日(月)午後から　二十八日(水)昼まで
**指導**　竹森勇師（福岡小神学校長）
**対象**　女子中学生・高校生信徒
**費用**　三、〇〇〇円
**場所**　聖心の祈りの家（聖心のウルスラ宣教女修道会）
**申込先・しめ切り**　七月二十日までにハガキ又は電話で左記へ申し込まれた方には、後日、くわしい事をお知らせ致します。
〒八一五　福岡市南区塩原九一　電〇九二一五二一〇〇三三
聖心のウルスラ宣教女修道会

信頼に誠意と技術でこたえる
株式会社 藤木工務店
取締役社長　藤木鐵三
福岡支店長　池内満
福岡支店　福岡市博多区博多駅南4-18-2　電(092)441-6585

各種高圧ガス・溶接材料・その他
松尾産商株式会社
社長　松尾光敏
北九州市若松区藤ノ木1—4—23
TEL 771—3657

吉川病院
院長　吉川東陽
福岡市中央区平尾四ツ角　TEL 521—0568

# カトリック

平田司教認可
発行所
福岡市中央区浄水通39
福岡司教館
発行兼編集人 山田成章
電話092—522—5139
振替口座 福岡3-42981
定価 一部 25円

祈禱の使徒会
(一般) キリスト教的よろこび
(布教) 新生国家における人権尊重と宗教の自由

## 教区司祭評議員の新しい構成
### 各グループ別に選出す

去る七月初旬に選出された教区司祭評議会の評議員は、七月二十日付で平田司教より承認された。

**一 邦人教区司祭グループ四人**
竹森 勇師（福岡小神学校長）
山川辰幸師（新田原教会主任）
深堀勝人師（小倉教会助任）
浦 俊雄師（湯川教会主任）

**二 パリ・ミッション会二人**
徳山 登師（天神町教会主任）
ラバルタ師（水巻教会主任）

**三 コロンバン会二人**
オーサリバン師（熊本地区長）
デイキン師（老司教会主任）

**四 ミラノ宣教会二人**
ガザルディ師（佐賀教会主任）
マグリン師（唐津教会主任）

**五 福岡市内宣教・修道会二人**
鈴木忠一師（黙想の家院長）
カーテン師（吉塚教会主任）

**六 職務上三人**
山田成章師（教区総代理）
堤 要吉師（教区会計大楠主任）

## 暑中お見舞申し上げます
昭和五十七年盛夏

福岡教区長・司教 平田三郎
司教 深堀仙右衛門
福岡教区司祭一同

## 八月の聖体礼拝当番教会

八月一日 門司
八月八日 門司港
八月十五日 戸畑
八月二十二日 若松
八月二十九日 聖パウロ小神

山内清海師（大神学院院長）
××参考××

福岡教区司祭評議会規約第三条
本会の目的は、司祭の生活と役務に関する事項のみならず、宣教及び司牧などの教区の共通善に関する事項について、適宜な規準の樹立を示唆し、また、原則的な問題を提示することによって、教区長司教の教区行政を助けることにある。

規約第四条 本会は教区長司教を会長とし、総代理を副会長としてつぎの者をもって構成する。
一 司祭の互選によってグループ別に選出される者（十二名）内訳一邦人教区司祭四名、パリ・ミッション会二名、コロンバン会二名、ミラノ宣教会二名、その他の修道・宣教会二名。
二 司教が任意に任命する若干名
三 職務上属する者（四名）教区長、教区総代理、教区会計および大神学院院長。

規約第五条 第四条の二および二によって選出された者の任期は二ケ年とする。但し次期評議員が選出・任命されるまでは、評議員の任期終了後も、その職務を継続するものとする。任期の途中で評議員の欠員が生じた場合には、選出・任命された評議員の任期は、前任者の任期の残任期間とする。

## 飛脚

☆コロンバン宣教会のオマホニ師（本郷教会主任）は、六月上旬熊本市の聖母慈恵病院に入院していたが、結腸シュヨウのため七月十四日手術、小康状態にある。

☆司教館の平田惣五郎師は、七月三日心筋コウソクのため、福岡市中央区平尾の吉川病院に入院、加療中である。両師の全快のため祈りをお願いする。

☆八月二十九日（日）午後一時から、典礼月例研修会が笹丘教会で開かれる。多数の参加歓迎。

☆最近入金した合志教会の献金について、児童福祉二〇、〇〇〇円広報一七、六〇〇円であった。

☆八月七日午後五時から八月八日（日）午後四時まで、島本浦和司教を講師に、教区信徒使徒職協議会の研修会が福岡黙想の家で催される。「教会の使命における信徒使徒職の位置付け」や「家庭の使徒職」の講話が予定されている。

## 微光

国民総生産世界第二位の貧禄であろうか。

またまた、日本人の寿命が延びたようだ。厚生省統計情報部が発表した昭和五十六年簡易生命表によれば、男子七三・七九歳、女子七九・一三歳である。男女の差は、約五歳となる。この点に関する限り、女性上位は当分続くであろう。女の底力、執念を見る思いに駆られる。動の男性に対する、静の女性の証しかも…。人生の男女の歩みにおいて、ふと、ウサギとカメを思い出した。▼八月十五日は終戦の日である。大東亜戦の直接・間接の死者は幾百万人になるのであろうか。〈戦争は死そのものです〉（現教皇の平和メッセージ）。だから、反戦活動は、生命尊重の理念の帰結ではあるまいか。反戦・平和は、特定政党の専売特許ではあるまい。人類の限りない願いであり、重大な使命であることを心しなければならない。〈戦争は人間のしわざである〉ならば、反戦の誓いを新に、生命を労わりたい。▼戦争体験者が年毎に減ってゆくのは無念だが、到し方ないことだ。でも、かれらこそ、反戦の旗手であっていいのではないか。生命の危険に曝されながら、一日でも長く生きることを努めてきた。戦友の死を見送りながら、生き延びてきた恐怖の日々は何だったのだろうか。戦争は馬鹿なことだ、と叫ぶ英霊が、今にも出現するような気がしてならない。生きていることがすまないような気持で、亡き戦友を偲ぶのも、明日の平和に役立つ。

事務用機器・コンピューター・学校用・幼稚園備品
㈲シオタ事務機・㈱日本幼育社
社長 カシミロ・塩田五郎
福岡市南区大楠2丁目23—15（西田ビル2F）
TEL 代表 092（521）—8266—7

熊本石材株式会社
熊本市島崎4丁目2ノ68
電話 52—3306
52—8622

# 私は教会の娘です
## アビラの聖テレサ帰天四百年祭

一九八二年は、聖テレサを特に記念する年であり、帰天四〇〇年が祝われている。この記念は、すでに昨年十月十五日聖テレサの祝日に始まっており、今年の十月十四日には教皇ヨハネ・パウロ六世を聖テレサ誕生の地、改革カルメル発祥の地であるスペインのアビラに迎えて、盛大な祝典が挙行されることになっている。聖テレサ（一五一五―八二）はアビラの聖テレジア、大聖テレジアなどと呼ばれるキリスト教神秘家、女子カルメル会改革者である。彼女は十六世紀に人間の内なる世界とその体験に生き、神体験に関する数多くの古典の名著を残している。

テレサは、一五一五年スペインのアビラに生まれ、三六年に二一歳でカルメル会の御託身修院に入会した。当時この修道院は緩和の勅書に従っており、神への憧れの火は消え、修道院サロンのような雰囲気であった。だが、五四年のある日、テレサは「見よ、人を」のキリスト像の前で祈っているとき、キリストの傷ついた姿に深くとらえられ、その強い呼びかけを聞いたといわれる。この体験は彼女の内的回心を迫り、この時から魂の内奥に現存する神との一致体験がはじまり深められている。ラッチンガー枢機卿は書いている。

「テレサは回心前、禁域という古い様式のわずらわしさを時代に迎合して開放し、世間に開いてあらゆる人との友情のふれ合いを可能にする、現代的修道院に生活していた。ある日、キリストの現存が彼女を内的にとらえ、福音の不滅の現実がその魂の目に開かれたとき、彼女は時代への迎合をすてて刷新を断行した。」

さらにこの頃、ヨーロッパにおいて日に日に広がってゆく教会分裂の痛みは、テレサの心をひきさいた。そして教会とともに、教会のために、絶えまない祈りと徹底的自己奉献による純粋に観想的な使徒職を生きようとして、緩和前の原始会則に従う小さい改革カルメル会サンホセ（聖ヨセフ）修院を六二年に創立した。入会から約二七年、テレサは四七歳になっていた。激しい反対にも遭遇したが、総長の同意とはげましのもとに、その後、一六の女子修道院と二つの男子修道院を創立した。これらの修道院の霊性を中心として、改革カルメル会は世界に広がった。現在女子改革（跣足）カルメル会は世界に七九七の修道院、一万三千百余名を有している。

一五八二年、テレサは創立の途次重病にかかり、アルバ・デ・トルメスの修院でその生涯を神に献げ返した。六七歳であった。死の床で、テレサは「私は教会の娘です」とくり返した。このことばが、彼女が生涯、教会のために生き、自己を献げつくしてきたことを表している。三百年後、彼女の娘のひとりリジユの聖テレーズは母の心をこだまするかのように叫ぶであろう「母なる教会の心臓の中で私は愛になりましょう」と。

テレサは一五二二年十月十四日帰天、一六二二年列聖、一九七〇年教会博士に挙げられた。

テレサの著作中、「自叙伝」「完徳の道」「創立史」「霊魂の城」「小品集」が邦訳されている。M・オクレール著の伝記「神のさすらい人、アビラの聖テレサ」にはこの聖女のダイナミックな生涯が、いきいきした筆致で描写されている。

## ＝全免償＝

教皇ヨハネ・パウロ二世は、アビラの聖テレサの帰天四百年を記念する年（一九八一年十月十五日―一九八二年十月十五日）、次の条件のもとに全免償を付与された。

ゆるしの秘跡をうけ、聖体を拝領し、教皇聖下のために祈ることを前提とし、

一、聖テレサを祝う典礼祭儀、又は信心業に敬けんにあずかる時。

二、跣足カルメル会修道院を訪問し、主禱文と使徒信経をとなえる時。

三、聖テレサの祝日（十月十五日）に聖女の肖像を敬けんにあがめる時。

さらに、聖女の祝日の典礼祭儀中、前記の前提条件のもとに、司教の全免償つきの教皇祝福を与えることができる。（福岡カルメル山の聖母修道院）

## カテケジス・福岡レポート

七月四日午後一時から、「視聴覚によるカテケジス」の研修会を大橋教会で開いた。これは、先の五月の同じテーマでの研修会を踏まえたものである。

はじめのガイヤール師のオリエンテーションでは、大テーマ「神さまと共に夏休みを過ごそう」をワークショップしやすいように、五つの小テーマにわけて説明された。㈠キリストを証しする、㈡人をゆるす、㈢平和のために働く、㈣人に仕える、㈤自然に感謝する。そのあと、三つのグループに分かれて、ワークショップを行った。一小テーマの一つを選ぶ、二みことばを選び出す、三子供の実体験を引き出す、四一時間クラスの展開作業（パネル・シアター、紙芝居、紙工作）。そしてグループ発表があった。教材としては、パネル・シアター以外使われなかった。

㈠一～二年クラスのグループ

一自然に感謝する―歌へ神さまの愛はしみとおる♪、子供と共に十五分くらい外に出て、感じたことやふれたことを分かち合う

二創、一章

四子供が持ち寄ったものを紙にはる。

五パネル・シアター　祈り（子供が作る）、歌へごらんよ、空の鳥♪。

質疑―自分で静かに体験したものを視聴覚の作業によって、はっきりさせるのは大変良いと思う。パネル・シアターに限定する場合とそうでない場合とでは、展開が違ってくると思う。作業に気をとられすぎないように、先ず自分の体験を深めるように導く。

㈡三―四年クラスのグループ

一「人に仕える」

二良きサマリア人―子供たちの中にあるキリストに目覚めさせるため、二時間クラスとした。

四良きサマリア人の現代版―仲良しグループは大変仲間意識が強く他の人が入る余地はなかった。でも、その中の一人が仲間はずれになるのを覚悟で、友達のいないS男君を呼んで仲間に入れた。

五パネル・シアター祈り（小さなひとびと）。

質疑―拍手をしなかった人は、一人もいなかった。以下割愛…。

## 聖ペトロ聖座の献金
（6月27日）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 町 | 71,600 | 馬渡島 | 12,227 | 田川 | 4,495 |
| 名水通 | 15,000 | 志免子賀津 | 3,795 | 新田原 | 76,000 |
| 大浄光ケ | 61,474 | 呼佐唐里 | 12,923 | 行橋寺 | 16,733 |
| 箱崎丘 | 10,000 | 唐津栖 | 15,000 | 八王取尾 | 9,857 |
| 笹西新 | 27,100 | 伊万雄 | 6,800 | 手荒吉渡 | 29,000 |
| 大美楠 | 35,300 | 鳥武多司 | 5,000 | 人本健軍 | 6,300 |
| 野島山宮 | 18,210 | 門司港 | 9,881 | 帯水大崎 | 13,300 |
| 茶高老吉 | 11,000 | 門司倉川 | 3,000 | 山俣江津 | 3,600 |
| 吉二久大 | 13,500 | 小湯戸畑 | 3,000 | 崎名代志 | 15,000 |
| 今本小 | 50,200 | 日留牟若松 | 24,345 | 池八合菊 | 11,000 |
| | 32,500 | 田野村郷 | 4,500 | | 10,000 |
| | 24,710 | 天神町 | 10,361 | | 15,195 |
| | 30,142 | 黒水直飯 | 83,994 | | 12,000 |
| | 30,000 | 崎巻方塚 | 28,998 | | 40,000 |
| | 53,101 | | 51,810 | | 8,000 |
| | 12,000 | | 15,000 | | 20,220 |
| | 2,252 | | 36,955 | | 63,121 |
| | 100,050 | | 26,637 | | 8,000 |
| | 30,000 | | 7,500 | | |
| | 5,890 | | 16,000 | 合計 | 1,373,576 |

## 八月命日の司祭

▼エミール・ベノア神父（パリ外国宣教会）一九六二年八月六日元門司港教会主任。

▼パチフィコ・マルケシーニ神父（フランシスコ修道会）一九八〇年八月八日元熊本待労病院付。

▼アルベルト・ブルトン司教（パリ外国宣教会）一九五四年八月十二日元福岡教区長。

▼ミカエル木村義已神父（ブラジル・マリンガ教区）一九六七年八月十四日元馬渡島教会主任。

綜合建設業
八千代建設株式会社
取締役　社長　田中　清
取締役副社長　渡辺　勝三郎
〒810 福岡市中央区薬院3―2―9　TEL 531―1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく
㈱メガネの正視堂
代表者　フランシスコザビエル　臼井芳数
行橋市駅通り本店　☎2―0646
〃　駅前5秒店　☎2―2390
北九州市黒崎年金病院前店☎641―4321
〃　ダイエー城野店3階☎922―5637

# 大牟田カトリック納骨堂落成

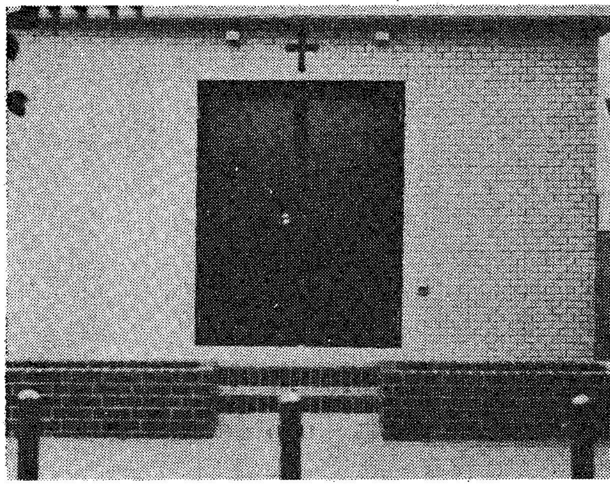
大牟田市当局より借りている市内上官町の教会墓地が満杯になって久しく、早くから新しい用地を獲得してほしいという声が高かった。

昨年秋、黒川神父より納骨堂を作るよう下命があり、急遽教会委員会で相談、希望者把握のためアンケート調査を実施した。その結果、大牟田のもう一つの吉野教会の希望も含めて、ほぼ三〇世帯が参加を希望していることがつかめた。納骨堂利用希望者総会を開き、規模、資金、日程等の決定、それに建設委員の選出をおこなって、実施にふみきった。

司教館の承諾をえて書類を作成、県知事の承認をえるのに約三か月、これと並行して建設業者や奉安用ロッカーの業者と折衝、県の認可を待って三月一四日に用地の祝別式、三か月の工事を経て、七月十一日に落成式をむかえるにいたった。

納骨堂の敷地は大牟田教会聖堂横、規模は地上四坪、地下二坪で鉄筋コンクリート造り陸屋根、外装はクリーム色のタイル張り。内部には地下昇降口を設け、床は緑のじゅうたん。奉安用のロッカー（一家族八個の骨壷を収納）六九個以上が設備できる。現在は資金の都合で三三個設置している。地下は将来、家族の骨壷が八個を超えた時の用心である。

資金は建築二六〇万円、ロッカー三三個分一〇九万円、外庭（レンガ調のタイルを張り雑草防止・花壇も設置）三五万円で、総額約四〇〇万円で、利用一家族当り一二万六千円の拠出であった。まだ利用希望を受け入れる余地があるので、その申込金は不足する奉安用ロッカーの追加購入に当てたり、維持費の基金とする予定である。（大牟田教会委員会）



大牟田教会の納骨堂

# 八十年の生涯を静かに捧げて ラグレブ師（門司天使園）逝く

北九州・パリ外国宣教会のジョルジュ・ラグレブ師は、去る七月二十五日午前十時過ぎ、肺炎のため入院先の聖母訪問会新田原病院で死亡した。行年八十歳。葬儀ならびに告別式は、翌二十六日午後二時から、二十年間の療養生活の地であった門司カトリック教会で、しめやかに行われた。

平田福岡司教、平山大分司教、ワレパリ外国宣教会管区長など四十六人の司祭の共同司式ミサが、二百人の会葬者とともに故人の安息を祈った。なお、これに先立って通夜は、新田原カトリック教会で、二十五日午後七時からとり行われた。

ジョルジュ・ラグレブ師は、一九〇二年四月二十四日、フランス国マイエヌ県フジェロール村で生まれた。教区小神学校及び大神学校を経て、一九二三年十月、パリ外国宣教会に入会した。一九二四年十二月、弱冠二十二歳で司祭の叙階を受けた。一九二五年六月、長崎に上陸した後、八代で、日本語習得のため一年を過ごす。そして一年間の浦上教会助任と続く。一九二七年から一九三一年の四年間は、北九州、八幡で司牧活動に入り、初めは上本町で民家を借りていたが、一九二八年、八幡で最初の教会と司祭館を建てた。一九三三年、新田原で十五年間の宣教生活、その間新田原の教会及びルルドの建設を行い、他方、訪問会修道院の設立や事業の発展に協力を惜しまなかった。一九四七年から一九四八年まで、飯塚教会、そのあと今村教会の助任を一九五〇年まで果たした。一九五〇年～五三年には、新築された八幡のパリ外国宣教会本部付きとなり、聖小崎育児園の事業を援助した。一九五三年から一九六二年までは、湯川教会の主任司祭を務めたが、健康がすぐれず、第一線を退く。一九六二年から一九八二年までの二十年間、療養の身でありながら、門司天使園で、シスターやその子供たちの霊的指導と祈りの日々を送っていた。七月十六日、病勢悪化し、新田原病院での十日間足らずの加療の効もなく、七月二十五日、帰らぬ人となった。

# 教区修道女連盟第十二回総会

去る六月二十七日、教区修道女連盟第十二回総会が、福岡雙葉小学附属幼稚園を会場に、修道女一一七名の参加を得て開かれた。

午前十時、総会が始められ、旧役員への感謝のことばについで、新役員の紹介があった。

続いて十時三〇分から、イエズス会のバラ師の「修道生活……従順」の講話で研修に入った。同師は確信にみちた力強さで、修道生活の核心に触れ、奉献の生活の意味と尊さを、約二時間余りにわたり熱心に話した。

中食後一時五〇分から、平田司教司式のミサと司教霊名日の祝詞や花束の贈呈があった。これに対し平田司教は、四十三年間の司祭職と二十年間の司教職を果たしてきた思い出をしみじみ語り、今後も神の栄光と教会の発展のために捧げたいと祈りを求めた。

なお、委員長シスター加藤、副委員長シスター永瀬、会計シスター田代、委員シスターカールガルバニー、書記シスター長谷川、監査シスター大野が選ばれている。

# 福岡教区神学講座

（昭和五十七年第二学期）

一、講義科目・担当講師

| | | |
|---|---|---|
| 9月14日 | 詩編と霊性 | 高木善行師 |
| 9月21日 | 〃 | 〃 |
| 9月28日 | 〃 | 〃 |
| 10月5日 | 〃 | 〃 |
| 10月12日 | 〃 | 〃 |
| 10月19日 | 典礼諸事について（祭服・香部屋など） | ラプラント師 |
| 10月26日 | 〃 | 〃 |
| 11月2日 | 〃 | 〃 |
| 11月9日 | 〃 | 〃 |
| 11月23日 | 〃 | 〃 |
| 11月16日 | 博多キリシタン史跡を歩く | 山田成章師 |
| 11月30日 | ヨハネ聖福音書の読み方（ヨハネ13章21節から続行） | イエル師 |
| 12月7日 | 〃 | 〃 |
| 14日 | 〃 | 〃 |
| 21日 | 〃 | 〃 |

二、講義期間

9月14日～12月21日までの毎週火曜日とする。今学期は15回。

三、講義会場・時間

福岡司教館司祭の家において、18時～20時10分まで。

四、講義料

7、500円（一回500円）当日会場で受付ける。

# 会合と催し

☆平田司教

8月7～8日　教区信徒使徒職協議会の研修会

15日　門司港堅信、納骨堂の共同司式ミサ（福岡）

17日　コングレガション・ド・ノートルダム来日五十周年記念（東京）

☆福岡黙想の家

7月25～8月3日　幼きイエズス修道会の黙想

4～7日　御受難会の召命学校（イエズス村）

7～8日　教区信徒使徒職協議会の研修会

7～9日　青年黙想会

9～17日　シスター黙想

20～21日　福岡雙葉小学六年生の黙想会

22～28日　サレジオ会の黙想

28～31日　カルメル会第三会員の黙想

Cnstom Tailor

糸永洋服店

福岡市中央区浄水通８－８
ＴＥＬ　531－3831
夜　間　521－0820

祭壇・洗礼盤他

素材｛大理石 御影石 その他

石のパイオニア
高木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2－21
TEL 52－2417

# 「家庭勧告書」から見たこどもの信仰教育 (3)

## ＜愛のあかし＞

ジュリアン・ガイヤール

〝信仰教育は両親のあかしからはじまって、子供があかしができることを目的とするのです〟。五年ほど前に、カテケジスについて行われたシノドスは、このことばをたびたび使いました。「家庭勧告書」の中にも、子供の信仰を育てようとする親が先ずキリストを証ししなければならない、とヨハネ・パウロ二世は述べておられます。

たとえば、〝神の掟に副った生活の証しを通して、両親は自分の家庭に対して福音宣教の聖務を果たすのです。〟（七一）この証しによって両親は、子供にとって福音の最初の使者となります。また〝親の具体的な模範すなわち生きた証しは、教育の根本で、かけがえのないものです。〟（六〇）これについて、教皇さまはパチカン公会議の言葉を挙げておられます。〝子供の個人的・社会的全教育を促進するような、神と人に対する愛と敬謙の心で満たされた家庭環境を創り出すことは、両親の義務である。〟（キリスト教的教育に関する宣言三）

神が愛であり、キリスト教も愛の宗教であれば、子供の目前で愛を証しすることは教育の第一歩となります。家庭の暖かい雰囲気につつまれた子供は、両親の愛の証しを通して御父の親切な心を体験し、安心して成長することができるのです。

この両親の証しは神の愛の啓示だけでなく、子供に正しい生き方をも教えるのです。〝夫婦がお互いに己れを捧げる模範は、兄弟との関係についても、同じ家族に住んでいる上の世代との関係についても、鑑と見本となるのです。〟（三七）

キリストさまは、ナザレトの人々の信仰をおこすためにはお話しを聞かせたばかりでなく、〝かれらの間に奇跡、不思議な業、そしてしるしを行われた。〟

（使徒言教二―二二）たとえば、御聖体の神秘を説明する前に、空腹だったユダヤ人を憐れんでパンを増加し、かれらに食べさせたしるしを見せてくださいました。この愛のしるしをもって、イエズスさまは人々の心を備えたわけです。結局、立派な教育者として、イエズスさまは必ずしるしとことばとをもって弟子たちの信仰を育てたのです。しるしが伴わなければことばには意義も重みもない、と同時にことばが伴わなければしるしも理解もできないままに残ってしまいます。つまり、両親の具体的な愛と敬謙で生かされた家庭生活の中で、子供は神と兄弟の愛を学んで、それを実行することもできます。シノドスの言葉ですが、〝信者の家庭は、信仰と愛を学ぶ最初の学校です。〟この教えを考えるとき、反省せざるを得ないと思います。家庭の愛と平和を乱すようなもの、たとえば夫婦げんか、兄弟げんかやわがままなどほ、信仰教育を大いに妨げるのです。同じように、会社の仕事やつきあいのために、夜おそくなって家に帰ってくる父親の家庭、パートタイムに出かけて、長い時間家にいない母親の家庭において鍵っ子とされた子供は、実際御父の愛を知ることができるはずがないと思われます。

神が愛であり、キリスト教も愛の宗教であるといいましたが、それと同様に、ヨハネ・パウロ二世が述べたことですが、〝愛がなければ、家庭が生きることも成長することもできません。〟（十八）

〝子供の生命の根本である両親の愛は、教育のすべての業を生かし照らす魂と基本でもあります。〟（三六）

---

# お恵み一杯

篠田妙子

「聖霊よ、私のペンを通してお働きください」、と祈ってペンを取りました。

私は朝起きると、すぐ黙想します。「神様いつも私と一緒にいてくださって有難うございます。あれもこれもお恵み沢山に有難うございます」、とお恵みを数えあげます。そして、「神様何かおっしゃってください、私は静かに聞きます」、と祈ります。でも、神様は何もおっしゃってはくださいません。十分位すると、もういいという気持になって黙想を止めてしまいます。でも、何か祈り足りないような気がして、ロザリオを祈ります。

ロザリオは、朝起きたときと午前十時、午後二時の一日三回祈ります。そして神様にお祈りしたい事が、沢山便箋に書いてあるのですが、ロザリオがすむと異言で祈り、そして便箋に書いてあることをずっと祈り、「召命の祈り」と「宣教クラブの祈り」をして終わり、聖書をしばらく読みます。これが私の朝の祈りです。

私の異言は聖霊セミナー（五十六年の夏）の時に頂いたので、ほんの二言三言です。それの繰りかえしです。メロディをつけてもそれだけです。皆の異言は多いのにと祈りましたら、「あせらなくてもいい」という声が返って来ました。

聖霊がくださったものだ、先のものだ、あせらなくてもいい、と思って祈っています。聖霊に関する本を読むと、聖霊のバプティスマを受けると神と共にあるという、飛び上がるような喜びが湧くと書いてありますが、私にはそんな経験はありません。何故だろうと思い祈っていると、「聖霊を育ててください」という声が返って来ました。静かにだんだんと聖霊を育てるのだなアと思いました。そんな事を人に話すと、聖霊を育てるなんてことはないよ、と言われそうなので誰にも申しません。初めて書きます。

「足が痛いのは、神様のノックだ」ということばが浮んだことがあります。私は、神の声などというのは嫌いなのであまり使いませんが、時々短かいことばがふっと浮びます。それに尾ひれをつけて自分で楽しんでいます。神様のノックということは、ついうっかり神様を忘れることがあるから、神様を思い出させるために私の心をノックするのだと思います。

足が痛いのは仲々治らないが、そのままで神様を賛美できます。有難うございます。異言で祈るようになって、安定剤を止める気持になりました。

ソーウツ病で八年間入院していましたが、退院しても薬だけは続けないと再発すると院長先生に言われ、薬を二年間飲みました。ある日ふと、イエズス様が守ってくださるから再発はしないということが心に浮び、止めました。四月二十一日に止めました。二ケ月になりますが、夜も薬なしでぐっすり眠ります。これまで眠れなくて薬の力に頼っていましたが、此の頃は、午後十時になるとコトンと寝て朝まで何も知らずにいます。そのおかげか、外出しても疲れないで元気です。心臓病も治り、太り過ぎも解消して十五キロやせました。

異言はすばらしい祈りだと思います。

それから物忘れをしなくなりました。年を取ったのと病気をしたせいで、いつも物忘れをしていましたが、大切な事はいつも神様が思い出させてくださいます。

書きたいことが心に盛り上がって急いで書きましたので、文章がまとまっていません。お許しください。神様と共にいるという、飛び上がるような喜びを味わいたいと思いながら、ペンをおきます。

（笹丘教会信徒）

---

（教区人事）

☆教区信徒使徒職協議会指導司祭
山田成章師（教区総代理）

信頼に誠意と技術でこたえる
株式会社 藤木工務店
取締役社長　藤木鐵三
福岡支店長　池内満
福岡支店　福岡市博多区博多駅南4-18-2　電(092)441-6585

各種高圧ガス・溶接材料・その他
松尾産商株式会社
社長　松尾光敏
北九州市若松区藤ノ木1―4―23
TEL 771―3657

吉川病院
院長　吉川東陽
福岡市中央区平尾四ツ角　TEL 521―0568

# カトリック

平田司教認可
発行所
福岡市中央区浄水通39
福岡司教館
発行兼編集人　山田成章
電話092—522—5139
振替口座 福岡3-42981
定価　一部　25円

**祈禱の使徒会**
（一般）教皇の旅行の実り
（布教）宣教者の召命

## 無念！オサリバン師水難　地区長の急死惜しまれる

八月十二日正午すぎ、聖コロンバン宣教会九州地区長であったジョン・オサリバン師は、長崎県加津佐町野田海水浴場で水泳中、高波に流されて溺死した。荒尾教会の主任代行でもあった師は、教会の三人の高校生らと楽しい一日を分かち合うために来て、この不慮の事故に遭った。

享年六十五歳。

諸般の事情により、葬儀ミサ及び告別式は八月十六日午前十時から、熊本市上通町の手取カトリック教会でしめやかに行われた。

平田福岡、平山大分両司教、聖コロンバン宣教会日本管区長スカリー師をはじめ五〇人の司祭たちによる共同司式ミサに、亡き師を偲ぶ三百人の会葬者が永遠の安息を祈った。平田司教は追悼の説教の中で、偉大な宣教師であったオサリバン師の急死を悲しみつつ、同師を日本に福岡教区に送ってくれた聖コロンバン宣教会とその遺族に深い感謝を表明した。故国アイルランドからは、わざわざこの葬儀参列のために二人の令妹が見えて、悲しい対面をしていた。

ミサ後、告別式に移った。高木慶治教区信徒使徒職協議会長は、かつてオサリバン師が司牧したことのある島崎教会信徒であるが、いろいろの想いに感動したのであろうか、弔辞の途中絶句してしまった。二番手に立った教区総代理の山田成章師は、ごくくだけた調子で故人へのお別れのことばを話した。「教区司祭一同を代表してお別れのことばを述べさせて頂きます。オサリバン神父さま、あなたに最後にお会いしたのは、七月二十六日の北九州市門司教会での、ラグレブ神父さまの葬儀の時でした。その時あなたは私の手を固く握りながら、お元気ですかと問う私に、元気です、お互いに頑張りましょうと言ってくれました。それなのに今、このような悲しい形でお会いすることになりました。残念でなりません。測り難い神のみ摂理の深さを感じます。家庭を持たない司祭の一生は、淋しくもあり、孤独に満ちたものでもありますが、その中でもあなたは、大海の中で誰にみとられることもなく、天のおん父に六十五年の生涯をお返しになりました。あなたに対する私の印象では、あなたは派手好みではなく地味なお方でした。しかし、宣教・司牧の活動における責任を忠実に果たした偉大な宣教師であったと思い、敬慕しておりました。本日、この高価な犠牲を要求された神さまは、何を考えているのでしょうか。私たちはこれからじっくりと考え、行動する決心でいます。オサリバン神父さま、長い間ご苦労さまでした。これからは至福の国において、ゆっくりお休みください。」

引き続き、亡き師と行動を共にした高校生が、涙声をふりしぼってオサリバン師の遭難の状況を語り、追悼と感謝のことばとした。

弔電は数多く寄せられていたが、入院療養中の里脇枢機卿からのものもあった。福岡教区司祭団からの弔電には「元気だったオサリバン神父さまの不慮の死を知って、驚いています。神さまのみ摂理の深さが測り難いものであることをつくづく感じさせられました。今はただ悲しみのうちに、急いで天国に旅立たれた神父さまのとわの安らぎを祈るばかりです。神さまの忠実な僕であった神父さま、天の父の懐にゆっくりお休みください。」と友情をのぞかせる一文もみられた。ついで、故人の履歴が管区長から紹介され、献花を経て式を閉じたのは正午頃であった。

故オサリバン師は、一九一七年二月アイルランドに生まれ、聖コロンバン大神学院で、一九四一年十二月司祭に叙階された。一九四七年から二年間、北京で中国語を習得したが追放され、来日した。日本では、長崎の平戸教会、千葉県銚子教会、東京豊島、横浜藤沢や熊本の島崎教会の司牧の他、聖コロンバン宣教会の千葉地区、九州地区の地区長を経験した。

## 九月の聖体礼拝当番教会

九月五日　湯川
九月十二日　飯塚
九月十九日　水巻
九月二十六日　直方

## 合志教会准小教区に昇格　初代主任に牧山重光師

このたび、熊本県菊池郡合志町豊岡黒石原の合志カトリック教会が准小教区に昇格し、初代主任に牧山重光師が任ぜられ赴任した。

これまで合志教会は、菊池教会の巡回教会であったが、菊池助任の渡辺隆義師が常時居住し、恵楓園や熊本天使園をふくめた宣教・司牧に当たっていた。

もともとこの共同体は、海外引揚の入植者を中心にして戦後発足した、雑草のようにねばりのある信徒集団と聞いているが、新しい門出に神の豊かな祝福を祈りたい

### （司祭異動）　九月一日付

☆熊本県合志教会主任　牧山重光師（福岡司教館）
☆フィリッピン東アジア司牧研究所へ留学　渡辺隆義師（合志）

### 教区人事　九月一日付

☆カリタス・ジャパン担当　岩永義人師（行橋教会主任）

### 微光

成人病適齢期に入ると、否応なく栄養のバランスが気になってくる。適正なカロリー摂取を考える、人間の仲間入りを望むようだ。カロリー比率の表記号P（たんぱく質）、F（脂肪）、C（炭水化物）ば栄養のつり合いを示す。とりすぎは悩みを深める。欧米先進国がF四〇％以上の肥満型になり、開発途上国はC七〇％を越える穀物消費が多い。日本はP一二・八％、F二五・一％、C六二・一％の理想型らしい。▼心の栄養のバランスはどうであろうか。悲しいことだが、社会の現象面は、精神的な肥満型人間の横行を証明している。教科書検定問題をはじめ、諸外国との友好を損なう事件の裏では、小手先きの対応のみに苦慮する余り、事実を厳粛に受け止めない姿勢に怒りが集中しているのではないか。単なる字句の表現の問題ではなく、犯した悪事を卒直に認め詫びる人間性を表してこそ、解決の道のりは近い。ごまかしは通用しない。▼平和な生活の営みにおいて、平衡感覚を大切にしなければならない、と思う。左右の隣人と手を取り合って、一つの輪になることを目標にしたい。安易な妥協は許されない。精神的に極端なカロリー不足の人間には、飢餓という恐怖が待ち構えている。飢餓は人間を盲目にし易い。聖霊に満たされることによって、心のぬくもりを取り戻し、正常な人間を生きなければなるまい。〈心の新鮮さ〉は聖霊の八番目の賜物（？）かもしれない。

事務用機器・コンピューター・学校用・幼稚園備品
㈲シオタ事務機・㈱日本幼育社
社長　カシミロ・塩田五郎
福岡市南区大楠2丁目23—15（西田ビル2F）
TEL　代表 092（521）—8266—7

熊本石材株式会社
熊本市島崎4丁目2ノ68
電話　52—3306
52—8622

# 「一致の姿勢」の体験学習
## 新田原の中学生研修会

新田原教会（主任司祭・山川辰幸師）が計画した中学生の研修会が、八月七日と八日の二日間、国東半島国見町の「サレジオ会海の家」で行われた。

サレジオ会の山野師が指導する研修会は、五十五人の生徒（男子二七人女子二八人）の参加を得、教会委員会、花の会、青年会が支援する形の大々的なものだった。

「一致の力」をテーマに、みことばの祭儀で始まった研修会は、共同生活を通した「一致の姿勢」を学ぶにあった。厳しさの中にも遊技や海水浴などの盛り沢山の楽しい行事があって、喜びと苦しみを分かち合うことができた。八班に編成された各班は、一体となって体験学習に努めた。

また、これらを支援する父兄の苦労も並大抵ではなく、宿泊、給食や事故防止に全神経をとがらせていた。

研修会は、ミサ聖祭の後閉幕したが、各班から出された共同祈願〈主よ、私たち中学生があなたのみ旨に生き、あなたのみ旨を行うことができますように聖霊を送ってください〉の中にその成果がみられた。

なお本研修会は、小教区の年度計画の中の「青少年の指導育成」の一環として準備されたものである。これと時を同じくして小学生の研修会も、主任司祭の指導のもとに新田原教会で開かれた。

研修会のミサ

研修会の学習風景

## 飛脚

☆九月十九日（日）午後一時三十分から、典礼月例研修会が福岡黙想の家で開かれる。

☆八月二十八日午前十時から、福岡地区婦人会が司教館司祭の家ホールで行われ、四十人が平田司教のミサに与かり、講話を聴いた。

☆八月十五日（日）午後二時から、福岡市南区大字和田字大谷の福岡地区カトリック納骨堂で、平田司教外二人の司祭による共同司式ミサが捧げられ、三百人の信徒が参加した。

☆同じ納骨堂の清掃が、八月一日午後二時から、協力を求められていたが、一五〇人の参加者で見ちがえる程の美しい墓地となった。

☆教区青少年担当司祭団による夏季召命学校は、七月二十九日から三十一日まで開催されたが、昨年を上廻る参加者で大成功裡に終了した。聖パウロ会小神学校で行なわれたこの召命の集会には、教区内から百二十人程の小・中学生が参加し、盛会だった。

☆平田司教は七月二十八日、長崎大水害見舞のため、現地の教区当局を訪れ、金一封を手渡した。

☆七月二十五日午後一時三十分から、教区信徒協議員会が司教館司祭の家ホールで行われ、信徒協のヴィジョン作りについて討議したが、結論持越しとなった。

## 新刊「コルベ神父物語」

カトリック女流作家曽野綾子さんのソフトな文章でつづられている「コルベ神父物語」が、聖母の騎士社から出版され、全国の書店で発売されている。

本は週刊誌大ほどの六十ページで、福岡在住の商業デザイナー西島伊三雄さんが挿絵を担当して、異色ある組合せの絵本（？）が出来ている。価格千三百八十円。

コルベ神父は一八九四年ポーランドに生まれ、ローマのグレゴリオ、コンベンツアル各大神学校で研鑽の後、帰国してワルシャワに「無原罪の聖母の園」修道院を創立した。大戦中捕らえられ、アウシュビッツで一九四一年、四十七歳の若さで死亡。二人の子持ちの若い父の身代わりに餓死刑に服した。死後、その人間愛が評価されて「福者」になり、ことし十月には「聖人」の称号を贈られる予定である。福岡市内での記者会見の曽野さんは「コルベ神父が人間としていかに見事に生きたかを、訴えたかった」、と語った。

---

前宮崎カリタス修道女会
門司修道院付司祭
故ジョルジュ・ラグレブ神父の葬儀に際しましてはご多用中のところわざわざご会葬賜りまことに有難く厚く御礼申し上げます

昭和五十七年九月一日

宗教法人　カトリック福岡司教区
教区長司教　平田三郎
パリー外国宣教会北九州地区
地区長　アンドレ・ベルトラン

---

ご会葬御礼

前聖コロンバン宣教会
熊本地区本部地区長
故ジョン・オサリバン神父の葬儀に際しましては多用中のところわざわざご会葬賜りまことに有難く厚く御礼申し上げます

昭和五十七年九月一日

宗教法人　カトリック福岡司教区
教区長司教　平田三郎
聖コロンバン宣教会日本管区
管区長　ミカエル・スカリ

綜合建設業
八千代建設株式会社
取締役　社長　田中　清
取締役副社長　渡辺勝三郎
〒810 福岡市中央区薬院3－2－9　TEL 531－1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく
(株)メガネの正視堂
代表者　フランシスコザビエル　臼井芳数
行橋市駅通り本店　☎2－0646
〃　駅前5秒店　☎2－2390
北九州市黒崎年金病院前店☎641－4321
〃　ダイエー城野店3階☎922－5637

# 「唐津教会八十年のあゆみ」

唐津にキリストのみ教の種が蒔かれてから八〇年になります。カトリック的な世界観がなじみにくい風土の中で、唐津教会が今日あるのはひとえに神様のお恵であり、神様の手足となって働いて下さった多くの神父様方や先輩信徒の御苦労と御努力の賜であります。

以下に唐津教会のあゆみと記念行事の概要をお知らせいたします

〔唐津教会八十年のあゆみ〕

◎一九〇二（明三五）七月一八日 洗礼台帳一号、マリア松下テル（山口宅助神父サイン）受洗、北波多村芳谷

◎一九〇九（明四二） ブルトン神父馬渡島に着任、唐津にも巡回された。

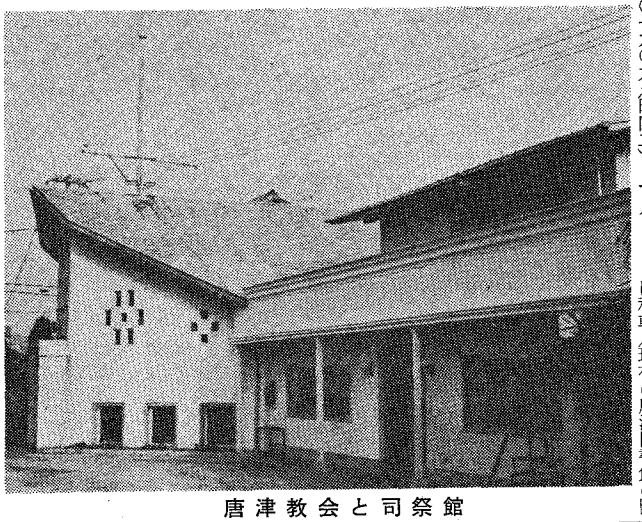
◎一九一一（明四四）城内二の門 聖母マリア聖心の教会

◎一九一八（大七） 馬渡・松島・呼子・唐津合同聖体行列が唐津で行われた。

◎一九二五（大一四） 大名小路に移転

◎一九二七（昭二） 福岡教区創立にともない唐津も同教区編入。山口神父は長崎教区黒崎教会へ転任。後任として佐賀教会に着任したブレンゲェ神父の巡回を受ける。

◎一九二九（昭四） 西の門小路に移転（現在の唐津図書館の附近）



唐津教会と司祭館

◎一九三二（昭七） 坊主町に移転（杉元医院母屋）

◎一九三六（昭一一） ヴェイヨン神父呼子教会着任。

◎一九四一（昭一六） 山下町五丁目に移転。（現在の場所）聖ヨゼフ教会（深堀司教により命名）

同年太平洋戦争勃発により、外人神父は監禁された。以後終戦までは邦人司祭が巡回。戦後はヴェイヨン神父司牧。

◎一九五四（昭二九） スヴァノーニ神父着任。

◎一九六二（昭三七） 一一月二七日 スヴァノーニ神父帰天。

同年サルヴィ神父着任。

◎一九七〇（昭四五） クリスチャンセンター設立。

◎一九七八（昭五三） サルヴィ神父イタリアへ帰国。

同年マグリン神父着任。現在に至る。

こうして八〇年の当教会のあゆみをたどるにつけ、今日までの道程が平穏な時ばかりではなかったことをあらためて考えさせられます。私達日本人の救霊のために献身された外人宣教師の監禁、その空白を埋めるために、身の危険もかえりみず東奔西走された邦人の神父様方（当教会も現平田司教様をはじめ、木村・伊東・糸永各神父様方の巡回を受けている）、敵国の宗教と排斥される世の中で信仰を守り通した先輩信徒の勇気……今日私達が受け継いでいる遺産の偉大さに粛然とせずにはおられません。

私達は、当教会の洗礼台帳に第一号として記録されているマリア松下テルさんの受洗の日・一九〇二年七月一八日を唐津カトリック教会誕生の日と定め、去る七月二五日に八〇周年記念式典を行いました。

式典は平田司教様をお迎えして、九時の堅信式に始まり、十一時には県内各教会の神父様方や信徒代表の方々も加わり荘厳な記念ミサ、続いて十二時三〇分より幼稚園に会場を移して祝賀会と続きました。

祝賀会は、司教様はもとより県内各教会の神父様方、信徒代表、唐津出身のシスター方、市内プロテスタント教会の牧師、唐津市長代理他来賓約百名、当教会信者一五〇計二五〇名の参加を得て、当教会児童代表の開会宣言、来賓の祝辞のあと、シスターの紹介、幼稚園児や青年会のアトラクションなど盛会のうちに終了しました。

〔記念行事の概要〕

一、信徒会館の増設（昭五五・六～八月）

司祭館を改築し一部を信徒集会場とした。費用の大半は神父様が調達、不足分を信徒で補った。

二、聖母マリアの巡礼

八〇周年に向け、「信仰の刷新」を目的として聖母像を各家に巡回した。

◎期間 昭五六・一〇～五七・一

◎七〇世帯に巡回し、その間十二回の家庭ミサが行われた。

三、マリア像台座に聖句を刻む。

「一粒の麦地に落ちて死なずば、唯一つにてあらん。もし死なば多くの果を結ぶべし。」（ヨハネ・一二の二四）

四、記念絵皿の特注配付

「一粒の麦……」の聖句入り、図案は青年会・河村武子さん。

五、堅信式・記念ミサ・祝賀会

六、記念誌の発行（九月の予定）

設立以来八〇年、三八〇の信徒を数えるに至った私達唐津カトリック教会は、先人の努力に学びながら一人ひとりが自らの信仰を省み、教会発展のためになにをなすべきかを問い求めつつ新なあゆみをはじめました。神が私達の行手を照らし導いて下さいますようにお祈り下さい。

（文責、牧山励）

記念式典ミサ

## 会合と催し

☆平田司教

9月12日 二日市教会堅信

19日 若松教会堅信

23日 戸畑天使園五〇周年記念式典

☆福岡黙想の家

9月4～5日 プロテスタント周船寺教会修養会

11～12日 ボーイスカウト

18～19日 佐賀地区青年会の黙想会

25～26日 福岡レジオマリエ

Cnstom Tailor
糸永洋服店
福岡市中央区浄水通8－8
TEL 531－3831
夜間 521－0820

祭壇・洗礼盤他
素材 石石他 理影の 大御そ
石のパイオニア
髙木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2－21
TEL 52－2417

# 平和に奉仕する教会を求めて
## 熱気こもる教区信徒協研修会

八月七、八日の両日、教区信徒使徒職研修会が福岡黙想の家で開かれた。これは、福岡教区信徒使徒職協議会（会長・高木慶治氏）の主催で、浦和教区長島本要司教（全国信徒使徒職委員会委員長）を講師として招き、指導を受ける。

第一日目は、午後七時十五分、「教会の使命における信徒使徒職の位置づけ」と題して約一時間の講話があった。使徒職の見地における教会は、福音宣教と典礼、七つの秘跡の執行によって救いの恵みを与えるために、キリストによって世に派遣された共同体であるといわれる。福音的価値観に根ざした社会を建設するために、教会を構成するすべての信徒によって異なった形であるとはいえ、実行されなければならない。使徒職実践のためには、信仰の恵みを頂くように努力しなければならない。ボランチア活動ではない。信徒は使徒職を実践する権利と義務を有する。信仰は鍛えること（使徒職の実験）によって深化してゆく。

使徒職には、聖職者個有の、叙階の秘跡からくるもの―信徒個有の使徒職―聖職者の協力者としての信徒使徒職がある。協力者として、聖職者から協力すべく招かれている（委任されている）場合、聖職者が必要と思えば、教会学校への協力、聖職者不足を補うための家庭集会・地区集会でのみことばの祭儀やご聖体拝領の権限、病人への聖体拝領（浦和教区ではシスターに与えている）がある。また財政確立などのためにも、教会に見えない信徒への勧誘も考えられるであろう。

信徒個有の使徒職（教会が信徒を通してでなければ入れない社会について）は世俗性が強いものになる。家庭における使徒職、政治文芸における―、医学医療における―、マスコミにおける―などである。個人として、或る団体に加入して、使徒職を行うことができる。信仰・希望・愛の証しによる生活、信者として生きる。社会人として所属する社会を変革する努力、愛徳の実験と祈り、苦業の方法がある。団体としてはレジオマリエ、ビンセンシオ会、キリスト者共同体などに所属することによってキリストの神秘体として行動する。家庭、小教区、任意の団体において同様である。調整役として司牧協議会（司祭、修道者、信徒から成る）、超小教区、教区や全国的レベルに及ぶ。これが第一講話の大略である。

翌日は、七時から黙想、朝の祈り、朝食後四人の信仰体験発表が夫々十分づつあった。島本司教の第二講話は、九時十分から、「家庭の使徒職」に移る。身近な問題を孕んだテーマだけに、参加者二十七人の表情は緊張気味となる。信仰の遺産の与え手である親の責任の重大さが強調された。

講話の後の質疑では、クラブ活動に参加することが主日のミサに出席できない、ことを悩む親の立場が訴えられ、対策が問われた。十時三十分からのグループ別討議では、四グループに分かれて種々の問題点を話し合った。

午後一時から、グループ別討議のまとめが四人の発表者から行われた。(1)信仰の気持で日常業務を果たすこと。心のともしびの配付を通して迷える羊との接触を息長く続ける。祈りの大切を認識し合う。(2)研修会への若者の参加を希望する。親が信仰の手本となること。わが子の幼児洗礼を望まない親が増加している。(3)教会不参加者の勧誘について話し合う。親子の対話、クラブ活動と信仰教育の問題。(4)子どもの信仰問題、家庭における親の在り方、日常生活における子どもの信仰体験、とくに祈り、親の信仰的手本の必要。

続いて島本司教は、話したことが参加者によく伝わっていることを喜んでいる。とくにクラブ活動と信仰教育について、クラブ活動を一つの奉献として考えるならば信仰を失う危険はない。家庭が祈りの雰囲気にあれば、帰った子どもと一緒に感謝の祈りをするように勧め、まとめとした。

第三講話「地域社会における信徒の使徒職について」は、日本の地域社会は教会に何を求めているか、それは平和である。訪日教皇の平和メッセージ後の日本教会は何をするだろうか、と人々は関心と好奇心を持っている。日本の教会は平和に奉仕する教会であるべきだと思う。福音の原点に立った態度、信者の自己証明を求められている。現代教会は信仰の真価を問われていると理解する。平和の神から出たわたしたちだから。平和運動はアカ・左翼と誤解している信者がいる。平和とは戦争のない状態ではない。人間の諸権利が尊重されている状態を指している。これを侵害するのが戦争である。核戦争の危険は迫っている。精神的ものの尊重、精神の優位を強調しなければならない。技術に対する倫理の優位、技術に対する人間の優位を大事にする。人間尊重は条件付きであってはならないと思う。人間を大切にする新しい人間作りが必要になってくる。以上が講話の要点であった。

講話後、島本司教、平田司教、山田師の共同ミサで二日間にわたった研修会を終了した。

## 視聴覚によるカテケジス研修

一、日時　九月十九日（日）午後一・三〇～四・三〇
一、場所　大楠カトリック教会
一、内容
①〝水〟の映写とカテケジス
②夏休みの実体験発表
③視聴覚教材のリスト交換

※子供の信仰教育に関心のある人はどなたでも参加できます。
ジュリアン・ガイヤール

## 九月命日の司祭

▼ピエール・コトレル神父（パリ外国宣教会）一九二八年九月三日熊本地区で宣教活動。
▼アナトル・ヒューゼ神父（パリ外国宣教会）一九四四年九月十五日福岡司教館。
▼ユスチン・ヴィオン神父（パリ外国宣教会）一九六九年九月二十九日福岡司教館。


## カトリック新聞を読んでいますか

カトリック新聞は毎週発行の日本カトリック教会の機関紙です。全世界の教会、日本の教会のニュースを掲載し、郵便でお届けします。一家庭に一部、購読いたしましょう。

▶お申し込みは、ハガキかお電話でどうぞ

〒102 東京都千代田区六番町10―1
カトリック新聞社 電話03―264―4982

▶購読料　1年5,000円　半年2,500円

信頼に誠意と技術でこたえる
株式会社 藤木工務店
取締役社長　藤木鐵三
福岡支店長　池内満
福岡支店　福岡市博多区博多駅南4-18-2　電(092)441-6585

各種高圧ガス・溶接材料・その他
松尾産商株式会社
社長　松尾光敏
北九州市若松区藤ノ木1―4―23
TEL 771―3657

吉川病院
院長　吉川東陽
福岡市中央区平尾四ツ角　TEL 521―0568

# カトリック

平田司教認可
発行所
福岡市中央区浄水通39
福岡司教館
発行兼編集人 山田成章
電話092—522—5139
振替口座 福岡3-42981

定価 一部 25円


**祈禱の使徒会**

(一般) 黙想と祈りの生活
(布教) 布教国より他国への布教

## ピオ・オジョニ師不帰の人に
## 肺血栓で宣教活動に終止符

ミラノ外国宣教会佐賀地区のピオ・オジョニ師は、九月十七日午前二時、肺血栓のために神に召され、八十年の生涯を閉じた。

葬儀ならびに告別式は、翌十八日午後一時から、平田司教外三十人の司祭、三百人余の修道者・信徒の参列の下に、佐賀カトリック教会でしめやかに行われた。告別式では、縁りの人たちの弔辞が披瀝されたが、故人の温かい人柄が偲ばれた。中でも、宣教師として貧しく黙々と生きながら、教会のためには財産のすべてを捧げつくした暮らしが、多くの人の感動を呼んだ。「少なく所有して多く与える」宣教師魂をそこに見る思いがした。佐賀教会のために数百万円の私財を投げ出した……の弔辞のくだりでは、読み上げていた佐賀教会信徒代表が涙にむせび、絶句してしまった。老人ホーム代表の一老女の哀悼の辞によれば、故ピオ師は老人たちの良き師、慰め手であったようで、追慕の念が生々しく語られていた。

故ピオ・オジョニ師は一九〇二年七月三十日イタリアに生まれ、一九二七年六月十一日司祭の聖位を受けている。司祭叙階後間もなく八月十八日には、中国宣教の旅に出かけた。二十数年の中国における宣教活動の後、一九五一年十二月、五十才近くになって来日。高年期の日本語勉強は、故人に大変な犠牲となったようである。

一九六一年七月、イタリアに帰ったが、日本の布教への思いが募り、一九六八年十二月再度日本の地を踏んだ。故ピオ師の宣教活動は中国河南省南陽に始まり、日本の田府教会、富士吉田教会、佐賀県大和町のロザリオの園（老人ホーム）に及んでいる。ロザリオの園に居住し宣教・司牧に従事する一方では、佐賀教会のために誠心誠意協力を惜しまなかった。中国大陸の寛大な心の持主であったのかもしれない。地味な存在に思われているが、山梨県ミラノ宣教会地区長として活躍したこともあったのである。ことしになって福岡教区は、四人の司祭の野辺の送りを行ったが、古き良き時代の宣教師には教えられるものが多いような気がしてならない。

## 十月の聖体礼拝当番教会

十月 三日 田川
十月 十日 新田原
十月 十七日 行橋
十月二十四日 古賀
十月三十一日 大神学院

## 「連帯」は地下に生きている
## 在外ストック支部顧問語る

九月二十六日午後、ポーランド「連帯」歓迎福岡集会が大名町カトリック教会で開かれ、独立自治労組「連帯」在外国際局ストックホルム支部顧問ヤコボ・シフエンチッキー氏の講演を聴いた。

ヤコボ氏は二百人の聴衆を前に、「連帯」は死んではいない。来るべき日に備えて地下でエネルギーを貯えている。人々の目には小さくなっているが、地下組織としては巨人である。今後は大規模なデモ活動を遠慮し、地道に労働者の自由を求める運動を展開していく、と語っている。

「連帯」はポーランド労働者によって結成され、一時は政府公認の組合であったが、強力な政治勢力に発展することを恐れた軍事政権によって、骨抜きにされた状態となっている。とくに、昨年末の戒厳令で、組合幹部や多数の労働者が逮捕投獄され、致命的な打撃を受けた。しかし、この政労の不穏な関係が続いているため、ポーランドは破産状態で、国民は厳しい生活を強いられているそうだ。

教皇ヨハネ・パウロ二世は祖国ポーランドの混乱を憂い、ポーランドの平和回復と援助を信徒たちに訴えている。

また、市民グループが開いたこの集会では、前野良長野大学教授の「ポーランド連帯から私どもは何を学んだか」の講演もあった。

## 老司教会の新築計画実現へ
## 信徒の増加に対応せまられる

年毎にふくらんでいる老司教会（主任・デイキン師）は、現教会堂では手狭で不便をかこっていたが、このたび新築計画を推進し、実現の明るい見通しを立てた。

計画によれば、七百坪の敷地に百六坪の教会堂を建てることになっている。現教会堂に隣接した東南部に新教会堂が建設される。来年早々にも着工、と聞いている。完成の暁には、旧教会堂は信徒会館に利用される。

老司教会は、昭和五十一年二月二十二日に創立されたが、それまでは高宮教会の管轄下にあった。初代主任として聖コロンバン宣教会のデイキン師が着任し、現在に及んでいる。当時百人余りの信徒であったが、現在四百数十人の信徒を擁している。

## 微光

最近の頼母しい傾向だが、祈りの集いが見直され、盛んに行われるようになった。「祈りの復権時代」というべきか。かつては、実践面を強調する余り祈りを軽視する声が聞かれた時もあった。豊かさの中の飢餓を味わっている現代人は、欲求不満一杯である。腹が満たされても、心は渇いているといった按配ではなかろうか。みたされない内面で話し相手が欲しい、語りかけたくなる欲望は年毎に深まってゆく。▼故教皇パウロ六世は〈諸民族の発展〉という回勅の中で、「今後の発展がますます多くの技術者の作業を必要とするのであれば、より以上に必要とされるものは、愛と友情、祈りと思索の、より高次の価値を受け入れることにより、現代人が自らを再発見することを可能とするような、新しいヒューマニズムを求める賢人の深い思想と内省である」ことを力説している。人間を取り戻すために、祈りと瞑想を大切にする賢人を要求している。▼人間は好きなことには時間を惜しまないばかりか、上手にやりくりできる。祈ることを好きにならなければ、と思う。そうすれば、忙がしくて祈る時間がないの弁解もなくなるであろう。ロザリオの月に当たり、黙ってロザリオを握りしめてみよう。神の愛が伝わってくるに違いない。神があなたに何を望んでいるか理解できるのではないか。神の愛の運び屋であるわたしたちを、世界の人、アジアの人、同胞は手を拡げて待っている。


SIOTA
小まわりのきくアフターサービス。

—営業品目—
オフイスコンピューター・パーソナルコンピューター（マイコン）・POSターミナル・ワードプロセッサー・ファクシミリ・複写機・印刷機・電話機器・一般事務機器・オフイス家具、関仕切
コンピュータと複写機・事務機器の商社
(有)シオタ事務機
福岡市南区大楠2丁目13番21号
〒815 TEL (092)521—8266(代)
代表取締役 塩田五郎
取締役営業部長 吉里忠長

熊本石材株式会社
熊本市島崎4丁目2ノ68
電話 52—3306
52—8622

# ベトナム難民
## 日本定住促進のための指針

カリタス・ジャパンは一九七五年（昭和五十年）、ベトナム難民の日本到着当初から、教区、修道会の協力を得て彼らの受け入れに力を尽くしてきましたが、今も続く難民の入国者を迎えるにあたり難民キャンプの受け入れ能力は限界に達してきました。

これらは彼らの定住問題にかかわることで、今の難民が定住に移動しない限り、この問題は大きくなるばかりです。第三国への定住は現在各国ともその受け入れ枠が非常にせばめられており、そのため、わが国の滞留難民がふくらんでおります。

ご存知の通り、政府は一九八一年（昭和五十六年）、「難民条約」に批准しており、インドシナ難民の日本定住枠を三千人に拡大し、大村レセプションセンターおよび定住促進センターを起用し、定住の促進にあたっております。しかし現在の方法と定員では、センター入所を待つだけで、積極的定住促進はできていない状況です。

そこでこの度、カリタス・ジャパンは、教会共同体の教区および小教区へ、あらためて彼らの日本定住促進のために援助とご協力をお願いするために、具体的援助内容を記した指針を出すことになりました。

現在、カリタス・ジャパン関係の収容施設は十三ケ所、六百数十名を収容しております。彼らの日本定住促進のために最も必要なことは、職業および住居斡旋と日本語教育であります。

☆職業斡旋

一、定住するのに先ず第一は職業の問題であります。現在のキャンプ所在地に適当な仕事を見つけること（実際問題として不可能な状況です）。

二、キャンプ所在地に職業のない場合には近辺の地域に斡旋する。

三、職場が遠距離になる場合には生活ができる適当な住居も提供する。

四、職安との連絡、協力を願う。

☆住居斡旋

一、事実上、職業につくとキャンプを出ることになるので、住居斡旋は必然的なものとなります。

二、社宅、寮の斡旋（会社との話し合いで）

三、アパートに住む場合、一年間位、家賃の援助を小教区にお願いする。保証金、敷金については、支払い不可能な場合、カリタス・ジャパンが負担する。

☆日本語教育

一、小グループで適切な教育ができるようなシステムを考え、大学生等のボランチア活動のグループに訴える。

二、適当な教師を雇う場合には、その手当を信徒の方たちに援助を依頼してもらう。不可能な場合はカリタス・ジャパンが援助する。

☆社会教育

一、小教区民又は、地域社会の人々に彼らが日本の社会に適合できるよう指導、協力を願う。（例ゴミの始末、水道光熱の支払方法、防火対策など）☆小教区に依頼する事務手続き

一、外人登録の更新

一、社会保険の手続き

一、地方自治体に関係する諸手続き

一、彼らの住所・職業に変更があった場合、カリタス・ジャパンへの連絡

一、以上について生ずる経済的援助

☆カリタス・ジャパンが担当する事項

一、定住登録

一、外人登録

一、定住許可が出るまでの国連難民高等弁務官事務所との連絡諸手続き（生活費援助など）。

一、入国管理関係の諸手続き

一、定住に関係する中央官庁との諸連絡

このような問題を解決してゆくには、地元の小教区の皆様のご協力なしにはできません。「助けを求めている人たちは、すべて我々の隣人であることを主の御名において思い出させることができるように」とのインドシナ難民のためのヨハネ・パウロ二世の訴えにこたえるため、あらためて皆様のご協力をお願い申し上げます。

カリタス・ジャパン

〒261東京都新宿区揚場町二十一五BM飯田橋ビル
（〇三）二六七一七二八一

## 「子供たちのわかちあう心を育てよう」
### ――視聴覚によるカテケジス――

一、日　時　十一月十四日（日）一三・三〇～一六・三〇

一、場　所　大楠カトリック教会

一、内　容　①スライド　(ア)「アルカンシェルの大きな木靴」　(イ)「お日さまとカチンコおじさん」　②わかちあい

ジュリアン・ガイヤール

## 十月命日の司祭

▼エミール・ラゲ神父（パリ外国宣教会）一九二九年十月三日福岡司教館

▼ジャン・バプチスト・ドラビ神父（パリ外国宣教会）一九六七年十月二十三日北九州市黒崎教会元主任。

## 聖霊セミナー開催

熊本市内合同

一、日　時　十月六日～十一月十七日　毎週水曜日
午前十時三十分～十二時〇分まで
午後七時三十分～九時〇分まで

一、場　所　手取カトリック教会

一、講　師　小林司教、グリン師、岡俊郎師、マテオ師、マツケイ師

一、会　費　一、〇〇〇円

このセミナーは、以前受けた方もどうぞ参加してください。一層聖霊の賜を豊かにいただき、生き生きとした信仰生活になります。

## 移住の日献金（9月12日）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 原田 | 64,500 | 島渡 | 12,800 | 町名 | 89,250 |
| 橋新 | 17,756 | 子賀 | 12,923 | 通水 | 35,106 |
| 寺行 | 7,753 | 津里 | 15,000 | 丘光 | 68,304 |
| 取王 | 26,000 | 栖雄 | 5,510 | 崎箱 | 13,500 |
| 尾手 | 8,000 | 島久 | 7,600 | 丘笹 | 25,000 |
| 吉荒 | 15,400 | 司港 | 10,700 | 新西 | 29,500 |
| 渡八 | 4,100 | 倉川 | 3,200 | 島美 | 9,810 |
| 軍本 | 18,000 | 畑松 | 1,500 | 山茶 | 15,600 |
| 山健 | 10,500 | 町崎 | 1,867 | 宮高 | 23,700 |
| 俣帯 | 5,010 | 巻方 | 15,757 | 司考 | 20,411 |
| 江水 | 16,105 | 塚川 | 8,877 | 塚吉 | 27,031 |
| 津大 | 10,480 | 神黒 | 69,866 | 楠大 | 7,121 |
| 崎崎 | 30,000 | 水直 | 32,146 | 免志 | 8,716 |
| 島島 | 9,000 | 飯田 | 48,996 | 賀古 | 35,205 |
| 玉玉 | 8,000 | 戸若 | 12,660 | 市二 | 26,000 |
| 菊八 | 16,439 | 門門 | 20,000 | 米久 | 59,108 |
| | | 小湯 | 39,410 | 田大 | 12,566 |
| | | 司 | 42,500 | 野吉 | 4,039 |
| | | 天 | 7,000 | 村今 | 80,560 |
| | | 神 | 17,000 | 郷本 | 30,000 |
| | | 巻 | 4,680 | 郡小 | 8,632 |

合計 1,286,194

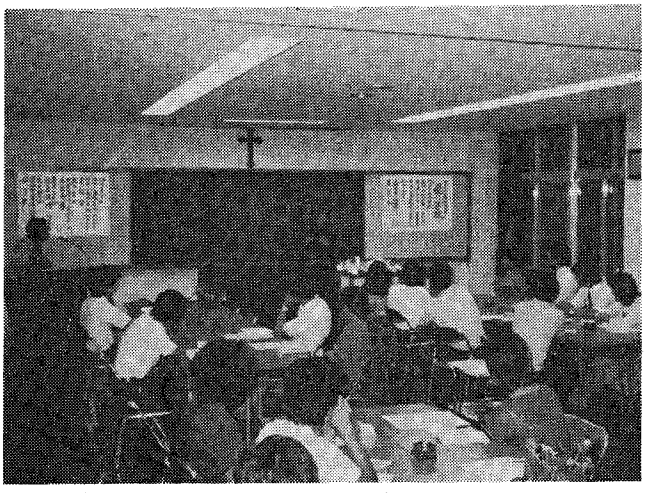

綜合建設業
八千代建設株式会社
取締役　社長　田中　清
取締役副社長　渡辺勝三郎
〒810 福岡市中央区薬院3－2－9　TEL 531－1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく
(株)メガネの正視堂
代表者　フランシスコザビエル　臼井芳数
行橋市駅通り本店　☎2－0646
〃　駅前5秒店　☎2－2390
北九州市黒崎年金病院前店☎641－4321
〃　ダイエー城野店3階☎922－5637

# 福岡の結婚講座無事に終了
## 挙式間近の約四十人の参加者

二十三回目を迎えた福岡の結婚講座は、八月二十六日から毎週三日の割で六日間、司教館ホールで開かれた。

午後七時から行われた講座に、結婚式を間近に控えた、職場帰りの約四十人が熱心に聴講した。講座の内容として、高宮教会の中村道生師の「適切な結婚準備とは」と「愛と結婚におけるキリストの道」、高橋貞一氏の「実り豊かな交際・婚約時代」、吉川信雄・京子夫妻による「夫婦愛を育てる新婚時代」、山田耕司氏の結婚における男性の立場、田中幹子氏の結婚における女性の立場、三沢正氏の「すこやかな子を育てるため」と納富泰子氏の家庭経済についての経験談、これに座談会や質疑応答を適当に組み入れて、講座を盛り上げた。とくに、最終日には平田司教も出席して、示唆に富んだ講話を与えた。次回は、来年一月二十八日からの予定。



結婚講座会場

## 会合と催し

☆平田司教

10月11～16日　邦人司祭の黙想会
11日　聖テレサの四百年祭、日本女子修道会の総長管区長九州会議
17日　伊万里の堅信
19日　司祭評議会
31日　佐賀地区宣教八十周年記念式、佐賀の堅信、教区修女連

☆福岡黙想の家

10月2～3日　博多ルーテル教会の修養・祈祷会
4日　黒崎教会婦人会
9～10日　久留米信愛短大学生の修養会
11～16日　邦人司祭の黙想会
16～17日　幼きイエズス会の第三修練のための黙想
17～22日　聖コロンバン宣教会九州地区の黙想会
24日　大神学院の静修
24～30日　サレジオ会の黙想
30～31日　聾葉学園中学生の練成会

# 生きる人間の大切な社会責任
## 創立五十周年の戸畑天使園

ことし創立五十周年を迎えた戸畑天使園（園長・平田敬師）は、九月二十三日午前十時から、戸畑市民会館ホールで記念式典を行った。

本園は昭和八年、神の使いのご加護を祈って「戸畑天使園」と名づけられ、木造平屋建て、二学級三十五人の園児に、園長を含めた四人の教師で開設された。

戦時下、一時閉園という試練にあったが、戦後再開され、鉄筋園舎の増設とともに加速度的に園も発展していった。現在十学級、四二〇人余の園児を保育している。

初代園長ヒューゼ師の蒔いた種は、五十年の風雪の中で大木となり、安定した大規模な幼稚園に成長した。また、これまでの卒園者は九、四八八人に及んでいるが、その心に吹き込まれたキリストの香りとみことばは、人生の歩みに大きな影響を与えたに違いない。

戸畑天使園父母の会会長安田広海氏は「当時園で受けた知育、徳育はカトリックの信仰と共に私の心に現在も日常生活を律する糧として、また人生の指針ともなっています。……歴代の園長先生の目標とされたものは、信仰にもとづいた道徳教育で、家庭を中心として子供達を教育する責任者である父母を手助けする事にあったと思います」と記念誌に述べている。

# 平和論議は公会議の精神で
## 福岡地区の信徒協代表者会議

福岡地区の信徒使徒職協議会の代表者会議が、九月十九日午後一時三十分から、司教館新館ホールで開かれた。

一、初めに会長の会務報告――

(1)地区研修会は、応募者五人のため中止した。

(2)教区研修会には福岡地区から十三人参加、全部で三十人となって八月七～八日に開催した。

(3)召命学校（七月二十九～三十一日まで）には福岡地区から三十五人参加、参加総員は九十三人で成功であった。地区から十万円献金したが、その内訳は地区信徒協四万円、小教区献金六万円。

(4)長崎の水害義援金については、時間的余裕がなかったので、各小教区から直接送金するよう連絡をした。

二、教区ビジョン作り

ビジョンの必要性は認めるが、適当な提案もなく引きつづき検討することになった。

三、教区研修会の報告

会長から研修会の要旨が報告された。教区の信徒全員に配布したらどうかという意見が出されたので、次回の教区信徒使徒職協議会の役員会に諮ることにした。

四、山田指導司祭の挨拶

地区信徒職協議会の新指導司祭となった山田師は、日本の教会が平和のために働く教会とならなければならないことを強調し、各位の発奮を促した。

五、カナの会代表の報告

近況報告を通して要請があった三万円補助金の支出を可決した。

六、次回の開催は十一月二十一日で、当日十二月予定の街頭募金の許可証を手渡すことにする。

以上の報告や討議で閉会したが全般的に低調の感じであった。

特に、平和論議はもっと活発な意見を期待したが、遠慮と恐れのためか不発に終わったようだ。平和についての前向きの学習会が必要ではなかろうか。平和即反戦あるいは戦争阻止だけでなく、もっと奥深く、公会議の教えを研究して、生きている人間を対象にした地上の平和確立に努力しなければならない。人間らしく生かされていない環境、状態を指摘し、改善することも平和への道である。

# カトリック学生チーム優勝
## 全日本学生ヨット選手権大会

去る八月二十六日、彦根市網代口のヨットハーバ沖で催された全日本学生ヨット選手権大会で、カトリック信徒の学生二人チームが見事優勝の栄冠を獲得した。

スキッパー高木裕君（二一）は福岡大学四年で、熊本市鳥崎カトリック教会に所属している。

フルー山本悟君（二〇）は福岡大学二年で、高松カトリック教会の信者である。また、二人はオリンピック出場強化選手に選ばれ、一層の期待をかけられている。

**聖書週間（11月21日～28日）**

聖書を知ることは
キリストを知ることである

Cnstom Tailor
糸永洋服店
福岡市中央区浄水通8－8
TEL 531－3831
夜　間 521－0820

祭壇・洗礼盤他
石材
石の理想の大御所
石のパイオニア
高木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2－21
TEL 52－2417

# 『家庭勧告書』から見たこどもの信仰教育 (4)

## 〈愛の文化〉

ジュリアン・ガイヤール

二十一世紀を迎えて、こどもを育てようとするとき、どんな人間とどんな信者を作ったらよいでしょうか。この問題は教会の文書の中に今まであまり出ていなかったのですが、いろいろな思想がはやり、さまざまなイデオロギーによって惑わされている現代人、とくに親とか学校の先生などは数年前から、将来の人間と信者がどんなものであるべきか、それによってどのようにこどもを育てればよいのかを真剣に考えるようになりました。

カテケージスのテーマとした一九七七年のシノドスはそれに触れましたが、とくに家庭の任務について討議した一九八〇年のシノドスの司教方はこの問題を免れることができず、役に立っていくつかの大事なオリエンテーションをなされたのです。シノドスの終わりに、司教方は信者の家庭にメッセージを送りました。その中に、こどもの教育について四つのことばが目立っています。簡単にそれを紹介すれば、先ずいろいろな生き方がみられる現代社会の中にあっても、キリスト教的強い道徳感を持って自由に生きることができる人間、第二は社会のすべての関係の中に愛の精神を吹き込むことができる人間、第三は神を知りその み旨を果たせる信仰の強い人間、最後につぎの世代にキリスト教の財産を譲り渡すことのできる人間です。

この四つのオリエンテーションが出されていますが、最終的な目的がどこにあるのかと聞けば、それは人びとに仕えることができる人間を育てることにあるといわなければなりません。こどもを育てるときに、そのこどもの個人的な利益あるいはかれが大人になってから築こうとする家庭の利益だけを考えずに、かれが属している教会のために働く心は勿論、そして視野を広げてすべての人とくに貧しく弱く苦しんでいる人の中で、キリストさまのお姿を見付けてこの人たちのために働く心を犠牲しなければなりません（勧告書64）とヨハネ・パウロ二世は強調しております。ここで教皇さまは、バチカン公会議の言葉を挙げています。「このような愛の実践は何の疑惑をも招かない純潔なものであるべきで、そのために隣人の中に神の姿とキリストを見るようにしなければならない。人間は神の似姿に作られており、その上困った人に与えたものは悉く実に主キリストに与えたものである」（信徒使徒職教令8）。要するに、愛の小さな共同体である家庭の中で成長することは、人々のために働き人々に仕え人々に自分を捧げる精神を学びます。

シノドスがよく使ったもう一つの大事な言葉を考えたいと思います。〈愛の文化〉を建設するという言葉です。実は、最初にこのテーマについて述べられたのは、一九七五年の十二月の聖年の閉幕を告げたときのパウロ六世です。これから現代世界の中で働いている教会は、新しいプログラムとして人々のために〈愛の文化〉を建設するように務めなければならないと教皇さまはお話しました。誘拐事件やテロ事件、人質事件が多くなり、罪のない人を殺し、妊娠中絶が法律によって認められ、数多くの人が飢や貧窮で苦しみ、武器の商売がますます盛んになり、あちらこちらで起る戦争によって第三次世界戦争に発展し、人類のいのちまで危うくされる現代において、信者の第一の務めは〈愛の文化〉を建設することです。シノドスは、何回もこの言葉を利用してそれをこどもの教育にあてはめました（勧告書64、提案書30）。〈愛の文化〉の誕生に身を捧げることを育てたらどうか、とわたしたちに呼びかけています。この聖霊の勧めに積極的に答えようではありませんか。

（福岡司教館・司祭）

## アフリカ難民救援募金にご協力を

皆さん、飢餓大陸といわれるアフリカの兄弟姉妹が戦争、こう水、伝染病かんばつのために飢餓の苦しみにおかれています。

中でも、エチオピア五百万、ウガンダ三百万、ソマリア二百万、スーダン二百万の飢餓人口には驚かされます。

カリタス・ジャパンは、九月から十二月までをアフリカ難民救援募金期間として、皆さんの温かい愛のご芳志を願っています。

教区の皆さん、「この小さい兄弟の一人にしたことはわたしにしたのである」というキリストの呼びかけにお答えしようではありませんか。よろしくご理解とご協力の程お願いいたします。

なお、救援金は福岡司教館宛お送りください。教区事務所から一括して、カリタス・ジャパンに送金します。

一九八二年十月一日

福岡教区長　司教　平田三郎

## 飛脚

★九月五日午後一時三十分から、福岡カトリック正義と平和推進委員会が「平和を考える集い」を司教館新館ホールで開いたが、十七人の参加者があった。

★熊本市内で岡俊郎師（イエズス会長崎黙想の家）指導の集いが、九月十一～十二日にかけて行われたが、十一日午後二時からは、福祉会館で「祈る」ことを学ぶ集いが、午後七時三十分から手取教会で「岡神父を囲んで」語り合う集いがあった。また、十二日は青年を対象に福祉会館で、午後一時から、「愛と結婚と信仰と生活」の講演会が催された。

★アヴィラの聖テレジアの帰天四百年を記念して、十月十一日午後二時から、福岡カルメル会修道院でカルメル会司祭奥村一郎師による「カルメルと東洋的霊性」の講演と平田司教のミサが行われる。

★十月十一日から十六日まで、邦人教区司祭の黙想会が福岡黙想の家で開かれる。指導は大阪教区総代理前田朴師である。

★聖コロンバン宣教会九州地区司祭の黙想会は、十月十七～二十二日まで福岡黙想の家である。

★十月十七日の午後一時三十分から、典礼聖歌研究月例集会が大濠修道院（聖母訪問会）である。

★十月十九日午前十時三十分、司教館で司祭評議会が開かれる。

★恒例の天草殉教祭は十月二十四日開催される。殉教公園での慰霊ミサは正午から行われ、司教代理として山田成章師が出席し司式する。殉教祭の主会場である本渡市のキリシタン墓地公園には、天草の殉教者アダム荒川の記念碑が建立され、尊敬の的となっている。刑場のアダムは「あなた方のこどもさんたちにキリシタンの教えを勉強させなされ。あなた方もなるべく早くキリシタンになりなさるがよい」と役人にいった。

★佐賀地区宣教八十周年記念式典が十月三十一日午前十一時から、佐賀教会で行われる。

信頼に誠意と技術でこたえる
株式会社 藤木工務店
取締役社長　藤木鐵三
福岡支店長　池内満
福岡支店　福岡市博多区博多駅南4-18-2　電(092)441-6585

各種高圧ガス・溶接材料・その他
松尾産商株式会社
社長　松尾光敏
北九州市若松区藤ノ木1－4－23
TEL 771－3657

吉川病院
院長　吉川東陽
福岡市中央区平尾四ツ角　TEL 521－0568

# カトリック

平田司教認可
発行所
福岡市中央区浄水通39
福岡司教館
発行兼編集人 山田成章
電話092—522—5139
振替口座 福岡3-42981

定価 一部 25円


祈禱の使徒会
(一般) 物質主義による危機
(布教) 南米における信仰生活

## 信仰と司祭生活の一致を
## 聖霊に祈る司祭黙想会

十月十一日から十六日まで、大阪教区総代理・武庫之荘教会主任の前田朴師を迎えて、福岡教区邦人司祭の黙想会が黙想の家で開かれた。

古き良き時代の司祭タイプである前田師は、長年にわたる福音宣教と司牧の体験によって蓄積したものを、ソフトな声にのせて惜しみなく分配してくれた。

「今、ここで何をなすべきか、聖霊の賜ものをよく理解したうえで、それを祈り求めながら生活しよう」、と聖霊に武装された司祭の生活を方向づける。聖霊の賜ものについて、イエスの祈り、信仰と実生活の一致、司祭を中心とした信徒使徒職の在り方など多く示唆に富んだ話題もあった。

また、レジオ・マリエについて視察談も興味深いものがあり、マリアとともに歩いている司祭の片鱗が感じられた。マリアの母性的話しでは、わが母を語るかのような熱っぽさが見られた。

邦人教区司祭の黙想会

## 十一月の聖体礼拝当番教会

十一月 七 日 二日市
十一月 十四 日 久留米
十一月二十一日 大牟田
十一月二十八日 吉野

## 教区財政健全化の一試案
## 小教区・教区の収支予算書
## 第二十回教区司祭評議会

十月九日午前十時三十分、第二十回教区司祭評議会が司教館新館ホールで催され、つぎの通り審議し、決定した。

一、常任委員・書記の選出
常任委員は、規約第十二条による平田司教と山田師、投票による選出の鈴木師、ガザルデイ師、山内師の五人である。書記は推せんによって深堀師が承認された。

二、今年の司祭研修会の可否
今年の司祭研修会は準備期間が足りないので中止する。

三、教区財政の健全化について
教区財政の健全化の一里塚として、収支予算書その他の説明と要望があった。

四、その他
イ、月例集会を実りあるものにするための委員の推せんは司教一任とする。また、学校法人化の問題、法人費三%（教区援助目的）の問題を検討する幼稚園委員の推せんでは、従来の学校法人化他のための特別委員会が兼ねる。
ロ、来年度行事計画
1／11新年祝賀会、2／1月例集会と司祭評議会、3／21司祭叙階式（手取）、3／31聖香油ミサ、金祝・銀祝司祭の祝い、5／10月例集会と司祭評議会、6／29司教霊名祝い、9／6月例集会と司祭評議会、10／10～10／15司祭黙想会、11／14～11／16司祭研修会。

## 小神学校入学生徒募集

小神学校入学を希望する者は、下記の条件が必要であるが、主任司祭と相談の上、58年3月末日までに、福岡小神学校
（〒810 福岡市中央区浄水通38
TEL 092—531—6821）
まで御連絡下さい。

【入学条件】
① 司祭職を希望するカトリック信者の男子
② 主任司祭の推せんが必要
③ 現在、小学6年生で来春、中学入学予定者（途中編入も可）

福岡小神学校担当司祭
竹森勇 松井忠之

## 微光

十一月二十一日から『聖書週間』がはじまる。宣教・司牧司教委員会の提案〈聖書週間〉が、司教会議の承認のもとに実施されてから、早や六年目である。全国的行事としては少しつつましく、その呼称さえ知る信徒はそれほど多くみられない。聖書への関心、その重要性の認識は年々高まっているのに、全国的に『聖書週間』に燃えないのはどうしたことだろう？

視覚的な聖書に目を奪われて、心を忘れているのでは。▼聖書は聖伝とともに信仰の最高の規準であり、その価値性には多言を要しない。神の霊感によって書かれた神自身のことばは、予言者・使徒を通して聖霊の声を反映する。だから「聖書を読むにあたっては、神と人間との会話ができるよう、それに祈りを加えることを忘れてはならない。実際『われわれが祈る場合は神に話しかけ、神のことばを読む場合は神の話しを聞く』のである」。（神の啓示に関する教義憲章二五）▼心で読む聖書、黙想する聖書は、何よりも自分自身のため必要となる。「内において神のことばの聴取者でないものは、外においてむなしい説教者である」。（聖アウグスチヌス）エマオのふたりの旅人がキリストの聖書の説明を聞いて燃えたの同じく、キリストを自分の心にコピすることの大切さを学ぶようにしたい。われわれは神のことばを人々の心に書く役目を負っている。キリストに生きた心で、キリストのごとく隣人を燃えたたせよう。


SIOTA
小まわりのきくアフターサービス。
—営業品目—
オフィスコンピューター・パーソナルコンピューター（マイコン）・POSターミナル・ワードプロセッサー・ファクシミリ・複写機・印刷機・電話機器・一般事務機器・オフィス家具、間仕切
コンピュータと複写機・事務機器の商社
(有)シオタ事務機
福岡市南区大楠2丁目13番21号
〒815 TEL (092) 521－8266 (代)
代表取締役 塩田五郎
取締役営業部長 吉里忠良

熊本石材株式会社
熊本市島崎4丁目2ノ68
電話 52—3306
52—8622

# 10月10日列聖式

## 身近な愛と勇気の昭和の証人
## コルベ神父聖人の仲間入り
## 長崎の今日は晴れだった

昭和の世代に神が時のしるしとして与えたものは何であったか。愛と勇気の実践者コルベ神父である。隣人のため自分の生命を捧げた最高の愛、友に人間らしい生活を与えるために守るべき勇気の実行、これらはこの聖人の二重冠として輝いている。

十月十日、教皇ヨハネ・パウロ二世は、二十万の大群衆で埋めつくされた聖ペトロ大聖堂広場の特別祭壇の高座から、ポーランド出身のコルベ神父の列聖を厳かに宣言した。同じポーランド人の教皇の胸中には、万感迫るものがあったであろう。この式典には、白柳東京大司教ら三人の司教に引率された二六〇人余の日本巡礼団も参加した。とくにコルベ神父に身代わりになってもらって生き延びたガイオニチェック軍曹が、妻を同行して参列している姿は人目を引いた。

書かれた神のみことば〈聖書〉は真実である。人間は天のおん父の完全に少しづつ近づくことができるからである。コルベ神父の偉大な生きざまはそれを証明する。アウシュビック強制収容所の悲劇は人間が起こし、神から離れたが他方偉大な人間になることによって神に接近し、永遠の喜を楽しむことも可能となる。

コルベ神父の愛の表現には、分裂、矛盾、転向などに悩まされるわれわれからみれば手の届かない手本を想像し勝ちであるが、われらと同じ日本と世代を六年間過ごしたわれは、もっと身近な聖人の一人に数えなければならない。マリアへの奉献こそが、すべてにおいて不可能を可能にする秘訣だったのである。マリアが望む人に自分を与えることがコルベ神父の持論ではなかったのか。

コルベ神父の列聖の喜びは、故国ポーランドに劣らず、日本とりわけ長崎では大きかった。長崎の空は日本晴れが続いている、といっても過言ではない。かれは長崎に生きた聖人だからである。来たる十一月三日に、浦上天主堂で挙行するコルベ神父列聖記念ミサも、その喜びの一つの表現である。

長崎におけるコルベ神父の歩みを寸描してみる。一九三〇年東洋宣教の熱意に燃えて数人の修道士と共に故国を出発したが、四月二十四日長崎に上陸した。同行者はゼノ、ヒラリオ両修道士であった。直ちに早坂長崎司教の認可の下、大浦天主堂近くに仮住居を定め、出版布教に入った。上陸後一ケ月目で、日本語の聖母の騎士を発刊したことは人間業ではない。その出版事業の傍ら、大浦神学校の哲学教授を二年間務める。一九三二年十二月、三階建ての木造修道院ができ、無原罪の聖母像を目印にした修道院として有名になった。一九三四年八月、修道院に二階建ての教会が完成した。さらに一九三六年四月に、邦人聖母の騎士会員の養成のために小神学校を設立したが、五島・平戸・長崎市内からも志願者が多く入るようになった。五月、管区長会議のためポーランドに帰国したが、ニポカラノフの院長に選出されたために再び日本の地を踏むことがなかったわけである。「私が死んだら、私については忘れてください。ただマリアさまだけは忘れないようにしてください」。

## 十一月命日の司祭

▼フレデリック・ボア神父（パリ外国宣教会）一九七七年十一月三日援助修道会黒崎修道院付司祭
▼スバノーニ・セヴェリーノ神父（ミラノ外国宣教会）一九六二年十一月二十七日元唐津教会主任。

## 飛脚

★十月十二日福岡司教館の新館ホールで、日本女子修道会の総長・管区長九州会議が開かれた。
★第四回福岡教区信徒使徒職協議会の役員会が、十月二十四日午後一時三十分から福岡司教館に招集され、つぎのことを話し合った。
一、『あんじろう』（中央協議会を支える会）の件―各小教区が自主的に判断し行動する。
二、教区ビジョン作り―ビジョンが抽象的な空文にならないよう、三ケ年の教区目標または方針に限定して具体性を盛り込んでは、の意見が出された。
三、自由な提案討議―C・L・Cやクルシリヨ、結婚講座とウィンセンシオ会の現場報告があった。
四、教区報「カトリック」に対する執筆者の月例表作成の件―十二月福岡・青柳、一月北九州・追立二月佐賀・牧山、三月熊本・中野の諸氏に決定する。
五、次期役員会の開催日―昭和五十八年二月六日（日）午後一時三十分から、福岡市中央区の稚加榮で開く。
★もう一歩の盛り上りを期待されているとはいえ、異色の市民の祭りに発展している天草殉教祭が、十月二十四日本渡市の殉教公園において、神・仏・基の宗派を越えた賛同のもとに行われた。観光客誘致が本音ではじまった祭りだけに、一部の市民の不満は観光色の強いこの行事に向けられている。信仰の弾圧と圧政に立ち上った天草・島原の乱の犠牲者三万七千人を慰霊する、心のある祭りを願う市民は少なくない。公園内の千人塚では、午前十時から神・仏・基の順序で慰霊祭が行われ、平田司教主式のミサには二五〇人の信徒たちが中心に与かり、永遠の安息を祈った。夕方、本渡カトリック教会から出発したキャンドル行列は、信徒や一般市民五百人の参加を得、本渡の夜の街ににぎやかな色彩を与えた。なお、この殉教祭は昨年から、十月の第四日曜日に実施することを申し合わせている。
★十一月二十一日午後一時三十分から、典礼聖歌月例集会が大濠の聖母訪問会で催される。
★福岡地区カナの会主催による青年ボーリング大会（出逢いのつどい）が、十一月二十一日（日）午後一時から、博多スターレーンで行われる。会費は一、五〇〇円であるが、そのうち五〇〇円はカナの会で補助する。

# 明治学園の修道会創立者も
# 十月三十一日列聖される

北九州市戸畑区仙水町にある明治学園（高・中・小）の経営主体であるコングレガシオン・ド・ノートルダムの創立者マルグリット・ブールジョワは、十月三十一日教皇ヨハネ・パウロ二世によって列聖された。

聖ブールジョワは、一六二〇年四月、フランス・シャンパーニュのトロワに生まれ、即日受洗。一六五二年十一月、カナダに宣教者として出発、モントリオールに到着。一六五八年四月、最初の学校を設置したが土地の司教に激励され、つぎつぎに多くの学校を開設した。とくに、インディアンの子女の教育に従事する。一六七六年ラヴァル司教はコレグレガシオン・ド・ノートルダムを修道女会として認可する。一七〇〇年一月、モントリオールで帰天。ピオ十二世教皇は、死後二五〇年目に当たる一九五〇年十一月十三日、福者の栄冠を与え、全教会の崇敬を許可した。

この修道会は、日本では北九州市のほかに大分市旦野原、奈良市中登美が丘、調布市下石原（本部）、福島市花園町などに修道院と教育事業を持っている。

## アフリカ難民への献金ぞくぞく

「カトリック」教区報の読者の中からも、アフリカの飢餓寸前の難民に対する善意の募金が寄せられている。「十月一日付『カトリック』の福岡の新聞に掲載されたアフリカの兄弟姉妹が飢餓の苦しみにおかれているのを読みました老人たちは、すぐに感じてそれぞれカンパしてくださいましたのでここに送らせて頂きます。どうぞカリタスの方へお送りくださいますように。私達は毎日お恵みによって雛肉ともにすこやかに過ごしております」。一老人ホームからの心温まる手紙の一部分を披露したが、情は人のためではない。

綜合建設業
八千代建設株式会社
取締役　社長　田中　清
取締役副社長　渡辺　勝三郎
〒810 福岡市中央区薬院3－2－9　TEL 531－1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく
(株)メガネの正視堂
代表者　フランシスコザビエル　臼井芳数
行橋市駅通り本店　☎2－0646
〃　駅前5秒店　☎2－2390
北九州市黒崎年金病院前店☎641－4321
〃　ダイエー城野店3階☎922－5637

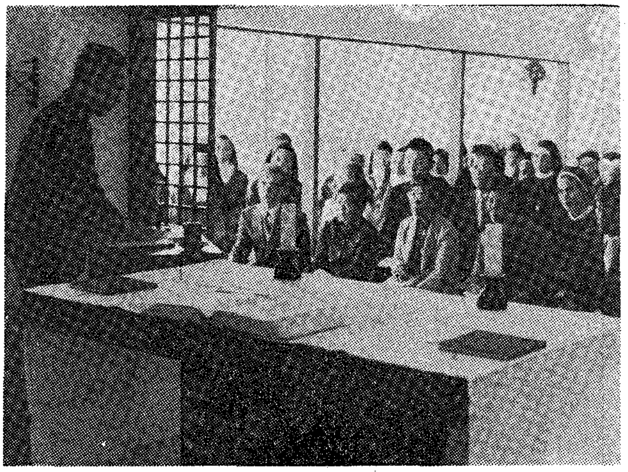
# アビラの聖テレサ帰天四百年

## 記念講演とミサで祝う

## 福岡カルメル山の聖母修道院

ことしアビラの聖テレサ帰天四百年を祝う福岡市西区片江神松寺のカルメル山の聖母修道院は、十月十一日午後二時から、カルメル会の奥村一郎師による『カルメルと東洋的霊性』の公開記念講演会を行った。カルメル会修道院の会場には百三十人程の司祭・修道者・信徒が集まり、熱心に講演に耳を傾けた。「東洋的霊性の代表である禅は、祈りの心だけでなく、形を大切にする。アビラの聖テレサも祈りの形を通して、真の心の祈り、神との一致を目指していたので共通するものが考えられる」と強調し、カルメル会精神が日本人に親しみやすいことを訴えていた。聖テレサが観想していた神は単なる哲学の神ではなくして、受肉したキリスト、真の神にして真の人である救主、肉となったみことばであったに違いない。人間の痛みをこの上なく体験したお方、それだけに弱い人間を理解し、同情できたのではないだろうか。

一時間三十分の講演のあと、平田三郎司教主式のミサで参加者は全免償づきの教皇祝福を受けた。



奥村神父の記念講演

## 会合と催し

☆平田司教

11月1日　明光学園三十周年祭
3日　コルベ師列聖記念ミサ（浦上天主堂）
7日　明治学園ブルジョア列聖記念祝典
9日　月例司祭集会
10日　聖書共同訳実行委員会
14日　美野島教会創立三十周年記念と堅信
16日　九州司教団と大神学院教授団の懇談会
17日　スルピス大神学院祭
21日　多久教会創立二十周年記念と堅信
23日　基山教会宣教九十周年記念祭
28日　手取教会堅信
29～12月3日　全国司教会議

☆福岡黙想の家

11月2～3日　コレジウム・ミュジック
6～7日　美野島教会受堅者の黙想、礼拝会寮生の黙想会
12日　雙葉幼稚園母の会
13～14日　北九州レジオ
19日　福岡地区婦人会の黙想
22～23日　九州地区カテキスタの黙想
27～28日　西南大学のチャペル・コワィヤー

# 五十年間信仰の灯を点じて

## 神や歴代の司牧者に感謝

## 小教区創立金祝の水俣教会

昭和六年十月、八代教会（当時ルマリエ師）の巡回教会として設立された水俣教会は、昨年五十年の喜びの日を迎えたが、今年一年繰り越しての祝いとなった。

十月十日、平田司教は五十周年記念ミサの中で、二十三人の信者に堅信の秘跡を授け、聖霊のお恵みで共同体の質的向上を助けた。

水俣教会に司祭が定住し始めたのは昭和二十二年からで、初代主任は川口清師であった。それから現在までに十代目の主任を数えているが、中でも現主任ベラス師は二度目の役廻りである。前回のときは昭和二十六年から二年間司牧している。

水俣教会の歩みで忘れられないのは、幼稚園の力強い協力であった。昭和三十年、幼きイエズス会が水俣修道院を開設すると同時に、信愛幼稚園を開いた。以来二十三年間、幼児教育を通して福音宣教の種を蒔いた。昭和五十三年、信愛幼稚園はカノッサ会の明光幼稚園に衣替へし、大口明光学園のシスターたちに引継がれた。

水俣教会は、五十年間の真摯な使徒職活動を続けているが、一三六人の共同体に過ぎず、今後の量的及び質的発展を祈りたい。収穫の日は近づいている。

新田原合同運動会

# 新田原秋季大運動会

## 鼓笛パレードに万雷の拍手

新田原カトリック教会・聖マリアの園（カリタス会）共催の秋季大運動会は、好天に恵まれた十月十七日（日）午前十時から、当教会グランドで盛大に行われた。

万国旗で飾られた会場には、信徒の老若男女、家族連れの観客がドツとつめかけた。

主任司祭（山川辰幸師）の開会のことばに続いて聖歌の合唱、園児代表らの元気一パイの挨拶のあと競技が開始された。

本年四月、開園となった聖マリアの園々児らが、力一杯に繰り展げる演技に拍手が送られ、なかでも午後行われた鼓笛パレードは、短期間にもかかわらず、見事な仕上りを見せて観衆から万雷の拍手を浴びた。

また、福岡市からはるばる応援にかけつけた聖クララ幼稚園々児四十五名、訓練されたパレードの妙技を見せ運動会に華を添えた。

一致と親睦を目ざした小教区の秋季大運動会は、成功を収めて無事終了した。（文責・教会総務）

―追　伸―

☆合志教会の移住献金は、一七、五〇〇円であった。

☆九州ブロックC・L・Cが十一月二十一日から三日間指宿で。

Cnstom Tailor

糸永洋服店

福岡市中央区浄水通８－８
TEL 531―3831
夜　間 521―0820

祭壇・洗礼盤他

素材｛大理石
　　　御影石
　　　その他

石のパイオニア
髙木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2－21
TEL 52－2417

# 『家庭勧告書』から見た こどもの信仰教育 (5)

## 〈沈黙の空間〉祈りの人を育てる

ジュリアン・ガイヤール

〝家庭の霊的生活を育くみ、そしてこどもの信仰教育を全うするために、〈沈黙の空間〉を設けるようにつとめなさい〟とシノドスの司教がたは述べました。たしかに現代、外的内的沈黙は、テレビその他のマス・メジアがお茶の間まで届ける映像と音によって強くおどされています。人に沈黙を味わえる空間も時間もまだ残されているだろうか。とくにこどもの祈りの心を育てようと思うとき、この沈黙の問題は大きいと思います。先づ〈沈黙の空間〉を作っておかなければ、祈りの教育は可能なものではないでしょう。

この教育の大事なポイントはどこにあるでしょうか。ヨハネ・パウロ二世がはっきりした答えを出されました。〝親の具体的な模範即ち親の生き生きした証しは、根本的で欠かせないものです。わが子と一緒に祈るときだけ、父親と母親はこどもの心に入りこんで、その奥深くに一生消えることのない印象を与えるのです〟（勧告書六〇）。わが子と一緒に祈るといえば、それは勿論食前食後、朝晩家族が集まって祈ることです。教皇さまからも、シノドスの司教がたからも、家族でお祈りするように現代も強く勧められています。洗礼と婚姻とのふたつの秘跡の恵みにおいて、夫婦の一致、親子の一致が生まれますが、祈るとき家族はこの交わりを味わい、それを強めることができるのです。この祈りのすばらしさについて、ヨハネ・パウロ二世はつぎのように述べつづけます。キリストさまがされた約束を信者の家庭に当てはめます。「どんな願いごとであれ、おまえたちのうち二人が地上で心をひとつにして求めるなら、わたしの天の父はそれをかなえてくださる。二人または三人がわたしの名によって集まっているところには、わたしもその中にいるのである」（マタイ十八・十九―二〇）

家族が集まって祈るときに、この祈りの内容はどんなものでしょうか。シノドスは大事なオリエンテーションを与えました。それは文句の定った祈り、天使祝詞、その他の普通の祈りを暗誦するにとどまらず、日常生活と結びつけて祈るように努力することです。喜びと苦しみ、希望と悲しみ、誕生日、祝日、親の結婚記念日、家族の一員の送別会と歓迎会、大事な選択、身近な人の死などのできごとは、家族の歴史において天のお父の愛のしるしとして受けとられ、感謝したり、お願いしたり神に身を捧げたりするために家族に与えられた好都合の時です。（勧告書五九）このように家庭生活を分かち合って具体的にお祈りをし、それにこどもを訓練することも少ないのではないかと思われます。家庭の信心生活において、一緒にロザリオを誦えることは賞賛されています。愛の交わりを養い、また夫婦と家庭の霊的生活を深めるには効果的で、このすぐれた祈りは格別の役割を果たしています。（勧告書六一）

そのほかにシノドスはもうひとつの大事な点に触れています。むかし、そこまで考えていなかったかもしれませんが、聖書学が進歩して聖書の読書が信者の間に拡がった現代になって、当然、家族で聖書を読んでしばらく黙想することは望ましいと考えることになりました。（勧告書六二）日本でも最近とくに、新約聖書の新しい訳がいくつか出たし、聖書と典礼に今週の聖書朗読の欄もありますから、この新しい方針に従うことが可能です。毎日でなくても一週間に何回かこどもとともに聖書を読ませてからしばらく黙想し、分かち合って、最後に個人的なことばで祈る習慣を身につければ何とすばらしい教育になることでしょう。

最後に、信者の家庭が小さな教会〉であると説明したが、この家庭の教会で捧げる祈りと神の民が典礼式に与かるときに捧げる祈りとの間にいろいろな関係があることを忘れてはいけないのです。家族の祈りが典礼式に参加できるような心を準備するし、また典礼の精神は、家族の祈りの中で生かされるものです。ヨハネ・パウロ二世が述べられたように家族の祈りは典礼の準備であり、その延長でもあります。教会でつぎつぎに罪の赦し、初聖体拝領、堅信をうけようとするこどもは、家庭の祈りによって反省したり、赦しを望んだり、キリストの招きに答えて聖体拝領を望んだり、聖霊の賜ものを迎えたりするような心を育てていただけます。秘跡をうけたのち、こどもはその喜びを親・兄弟と分かち合い、一緒に感謝して、秘跡の恵みをどのように具体的に生かすことができるのか、と祈りの中で少しづつ理解することができるでしょう。このように祈れば、〈小さな教会〉は母なる教会と力を合わせ、その使命に与かって自分のこどもの心に永遠の生命を施す喜びを味わうことができます。

この祈りの教育に関して、母親の責任はもっとも大きいと思われます。六年前に、パウロ六世はお母さんがたのグループに向かって演説をなさいました。そのことばに耳を傾けようと思います。「お母さまがた、お子さんにキリスト教の祈りを教えておられますか。司祭がたと手をとり合って、幼い時にうける秘跡即ち告解、初聖体、堅信を目指してかれらの心を用意しておられますか。病気の際にキリストさまのお苦しみの方に目を向けて、諸聖人及び聖母マリアのお助けを求めるようにかれらを訓練しておられますか。家庭で、お子さんがたと心をひとつにしてロザリオを誦えておられますか」。（福岡司教館・司祭）

## テーマ　カトリック婦人の信仰

### 頭の祈りではなく心の祈りを

指導　ポール・グリーン神父（マリスト会）

日時　十一月十九日（金）午前十時～午後三時まで

場所　御受難会黙想の家　福岡市城南区西片江一丁目十七―六三

費用　五百円（昼食費）

申し込み　十一月十五日まで

連絡先　佐藤、八三一―二七六一　野村、八七一―四六二〇　カトリック福岡地区婦人会

## 住居番号変更

旧　福岡市城南区片江神松寺　一九〇〇

新　福岡サン・スルピス大神学院　福岡市城南区松山一―一―一

旧　福岡市城南区片江町一四八　カトリック黙想の家

新　福岡市城南区西片江一丁目十七―六三　カトリック黙想の家

信頼に誠意と技術でこたえる
株式会社 藤木工務店
取締役社長　藤木鐵三
福岡支店長　池内満
福岡支店　福岡市博多区博多駅南4-18-2　電(092)441-6585

各種高圧ガス・溶接材料・その他
松尾産商株式会社
社長　松尾光敏
北九州市若松区藤ノ木1―4―23
TEL 771―3657

吉川病院
院長　吉川東陽
福岡市中央区平尾四ツ角　TEL 521―0568

# カトリック

平田司教認可
発行所
福岡市中央区浄水通39
福岡司教館
発行兼編集人 山田成章
電話092—522—5139
振替口座 福岡3-42981

定価 一部 25円


祈禱の使徒会
(一般) 自由と平和
(布教) 東洋の宗教的遺産

## ツルデル師にビッグプレゼント
### 参加も例年以上の盛り上がり
### 金祝・銀祝司祭の大神学院祭

十一月十八日、恒例の大神学院祭が催された。ことしは、恩師ツルデル神父の司祭叙階五十周年の祝賀会を兼ねていたこともあってか、大変な人出でにぎわった。

平田福岡・糸永鹿児島・平山大分・石神那覇・深堀高松・松永長崎補佐の六司教に、九十人の卒業生司祭やツルデル神父の関係者多数の参加が盛り上げた。中でも、遠く長崎五島教会からの司祭たちの姿がひときわ目立った。

午前十時三十分、主司式者平山大分司教を中心にした約六十人の共同司式ミサが開始された。平山司教は、ことし司祭銀祝を迎えているために、この大神学院祭でも祝賀をうけることになっている。

大神学生の聖歌奉仕は、いつ聞いても心洗われる思いがする。事前の準備がよくなされているのであろうか、すべての式順がてきぱきと進行してゆく。平山司教は、自身の司祭召命を回顧しながら、司祭は神の大きな恵みであることを強調し、今日これほど社会・教会に期待されている者はない、と断言してはばからない。銀祝に感動していたのであろうか、説教は延々と続く。久しぶりに司祭の初心を見直すことができた。

司祭叙階50周年記念ミサ

ミサ後祝賀会に入ったが、メーンテーブルは、多数の司教のために赤いバラが咲いたようだった。やがて、六人の司教をはじめ関係者のテーブルスピーチに移る。ツルデル神父の教え子である喜びが、どの人からも伝わってくる。ツルデル神父の人徳の致すところであると思う。しかし、かれも人の子、激しい一面も暴露されて参加者の爆笑となる。音楽・ラテン語の教授であったかれは、宿題を怠った生徒が多かったのに抗議して、ある日教室から退散してしまった。教育熱心のかれの真骨頂が示されているエピソードである。

祝宴の半ばに、いよいよ待望のビッグプレゼントの贈呈・披露となった。約二三〇万円のマークⅡグランデの自動車が、卒業生代表から拍手のうちに贈呈された。童心に帰ったツルデル神父は、感激の余りその夜は眠れなかったとか。

金祝のツルデル師と寄贈した車

## 十二月の聖体礼拝当番教会

十二月五日 今村
十二月十二日 本郷
十二月十九日 小郡
十二月二十六日 伊万里

## 微光

十二月は一年の締めくくりということで、何となく緊張感を深くするようだ。見方によっては、無為に終わった過去の日々を清算するしゅう恥心の裏返しかも。〝師走〟という語感も、早鐘のように心をせきたてる。この月には、すべての生活の歯車が加速度的に動いているように見えてくる。誰も後を振り向かない、みな急ぎ足である。しかし、一年の剣ケ峯と思う時期が、皮肉にも教会典礼的には年の初めになる。▼待降節中少し不謹慎のそしりを免れないが、ボーナス袋で泡になる季節が近づいている。泡食ったついでに、ビールにまつわる話しを一席。低アルコールの国民飲料ともてはやされるビールの消費量は、日本の成人ひとり当たり大びんに換算すると、五十七年一月～八月間で六十四本に達するという。それにも拘らず、大衆を逆なでするのがビール税、小売価格の四七・八%を占めている。多量の税金を飲まされる腹は満たされない。▼飲むビールの泡の中に、アフリカ難民の極度の飢餓と貧困の姿が思い出されて気が重くなる。生きる権利さえ認められていないかのように放置されたままのアフリカの兄弟たちは、一滴の水、一粒の米に目をみはる事態に追いこまれているのである。われらの心に迎える救主は、どんな訴えをしているのだろうか。飢え渇いている幼子イエスだとしたら、また、アフリカの飢えた難民を愛するお方だと信ずれば、あなたはどうする?


SIOTA
小まわりのきくアフターサービス。
営業品目
オフイスコンピューター・パーソナルコンピューター(マイコン)・POSターミナル・ワードプロセッサー・ファクシミリ・複写機・印刷機・電話機器・一般事務機器・オフイス家具、問仕切
コンピュータと複写機・事務機器の商社
(有)シオタ事務機
福岡市南区大楠2丁目13番21号
〒815 TEL(092)521—8266(代)
代表取締役 塩田五郎
取締役営業部長 吉里忠良

熊本石材株式会社
熊本市島崎4丁目2ノ68
電話 52—3306
52—8622

# 神への道

## ――娘に宿る小さな生命を守ること――

アグネス・G

未婚の女性が子を宿す……これが自分の娘だったとしたら。

昨年の夏の暑い盛りの頃です。娘が身ごもっていることを知らされたとき、わたしの夫は怒りと悲しみの中で娘の行為を許すことができませんでした。すぐにも病院へ行き、こどもをおろすようにと言ったのです。

夫は未信者ですが、真面目で働くことにも一生懸命、家庭を大事にする人でした。高校を出たばかりの娘の将来を、夫は夫なりに考えて幸福を願っていたのです。それが、こういう形となって表れると、夫の気持は押えがたい怒りとなって爆発したのでした。

娘の体内で育ちつつある小さな生命を抹殺することは神の道に背くこと、どうしてもできません。夫に対してどんなに生命の尊さを話したとて、増々激怒する夫の前にわたしはどうすることもできませんでした。

そして娘に宿る小さな生命を守ること、これが神への道と思い、この危機をのり越えるには娘のれいこんを成聖の状態におくこと、そのために告解と聖体拝領をすすめ、娘もそれに従い、二人して祈ったのです。特に、聖母への祈りを熱くし、お守りくださるようにと祈りました。

どんなに夫から堕胎を勧められても、娘は首を横にふるばかり。毎日のように、夫の折檻は容赦なく娘の上に振りおろされました。

いつも素直で、夫の言うことにはハイと言って従っていた娘が、今度ばかりは、打たれても、蹴られても、頑としてきかず耐えていたのです。夫は、娘の将来の幸福のため言うのだ、親の気持がわかるのなら、頼むからおろしてくれと迫るのでした。

もう家の中は、毎日がこの世の地獄でした。わたしにできることは、祈ること、夫の話しの聞き手になること、そして耐えること以外にないのです。わたしはその時ほど、ゆれ動く己の心、自分の弱さを嫌という程感じ、そのたびにロザリオの祈りを捧げるばかりでした。あまりの苦しさに耐えられなくなった時は、教会へ走り、幾度も涙ながらご聖体の前で、主のあわれみを乞い求めました。

娘の相手は結婚を望みました。しかし、夫は頑として受けつけませんでした。夫が娘の決心を変えさせようとするあらゆる努力も効を奏せず、娘は宿つ小さな生命を守ることに必死で、その姿はマリアさまからしっかりと守られているかのようでした。

わたしはその娘の姿に、夫の前に、娘をゆるしてくれるように、そしてこの小さな生命を守ってくれるようにと願ったのです。そのとき夫は言葉をふるわせながら、「お前だけは、俺の気持がわかってくれると思っていたのに」……ついに夫は、ガスの元栓を開き自殺しようとしました。

部屋中にガスは充満し、こどもたちの悲鳴と鼻をつくような臭いの中で、やっとの思いでわたしはガス栓を閉めたのです。その時、わたしは夫の心の悲しみ、苦しみの深さを感じ、ただ泣けて何も言えないわたしでした。

それからのわたしは、夫と娘の間に立ち、ともすれば絶望の淵に引きずりこまれそうになる心の苦しさの中で、夫が二度と自らの生命を絶つ行為に走らぬように気を配らねばなりませんでした。

ついに、夫は、命令してきました。今日中に病院へ娘を連れて行くこと、それができないなら、わたしにも出て行くようにと申したのです。もう、どうにもできません。わたしは娘を逃すより外に手はありませんでした。それからのわたしは、こんなに祈ったことはないと思う程祈り、すべてを神のみ手にゆだねました。

やがて秋となり、娘は心身の疲れから病気になって入院したのです。わたしはそのうちにどうしようもない力に押されて、再び夫の前に手をつき、娘の幸福と小さな生命の幸福を考えてくれるよう頼みました。夫はやっとゆるしてくれたのでした。それから結納、結婚式へと事は運び、披露宴には思いもよらぬ程の多くの人たちの祝福を受けました。

やがて夫にも、娘婿が働き者であり、娘の嫁ぎ先の方々は、両親をはじめ祖父母の方々みんな素朴で心の優しい人たちであること、娘のことをいろいろと気を配ってくださることなどがわかってきました。そして、月満ちて女の子が生まれました。娘の嫁ぎ先の家では、初孫、曽孫の誕生とあってその喜びは大変なものでした。この小さな孫は、両家にとって宝であり、よろこびとなったのです。

あんなに反対していた夫は、今はもうこの天使のような孫の前では、ほんとうにいいおじいちゃんとなりました。わたしにかくれても孫に逢いに行こうとします。この小さな天使は、夫の腕の中で声を立てて笑います。孫は夫が大好きなのです。

小さな生命、神さまが与えられた生命を大事に守ろうとした時、神さまは大きな恵みをおくられたのです。神の道を歩むことがどんなに大きな喜びをもたらすものなのか、もし反対の道を歩んでいたら今の平和はなかったと思う時、神さまに感謝せずにはおれない。

この試練も神のいつくしみがなければ、耐えることもできませんでした。神が苦しみを与えられれば、そのゆたかないつくしみによってあわれみもくださる。ほんとうにそうです。神の深いみ摂理によってなされる業にすべてをゆだねたとき、心からの平安をもたらすものであることが、今後の娘のことでわかったのです。「常によろこべ、たえず祈れ、どんなことにも感謝せよ」このみことばを心に深くしつつ、神への道を歩みたいと思います。

（筆者は手取教会一信徒）

# 長崎大水害に対する義援金に
## 里脇枢機卿から礼状届く

福岡教区は、七月二十三日の長崎大水害に際して、早速義援金を呼びかけていたが、教区内の各小教区から総額九八九万九、四一二円が長崎教区事務所に送られた。これに対して、長崎大司教里脇枢機卿からつぎのような礼状が寄せられた。

「去る七月二十三日の集中豪雨による長崎の大水害発生に際しましては、早速のお見舞のお言葉とともに、司教様をはじめ司教様の教区内の各小教区・各施設等から多大の義援金並びに救援品のご援助をいただき、まことにありがとうございました。被災者一同に代わり、ご芳志に対しまして厚くお礼申し上げます。

キリスト教的兄弟愛の実践にいち早く立ち上って、ご厚情をお寄せくださいました司教様と司教様の教区内のすべての共同体の確かな愛のあかしに、被災者たちは心から感動し感謝いたしております。

被災者信徒には、家屋の全壊・半壊・家財流出・床上浸水以上を援助対象として、被災小教区主任よりの被災報告にもとづいて義援金および救援品の配分を行いました」（以下紙面の都合で省略）。

## CLC・8日間の霊操

完全な沈黙のうちに懇切な指導を受けて、初歩の方でも神の声を聞ける黙想会です。4日間だけの参加者は前半後半に分けて受付けます。

指　導　生熊神父主宰チーム
場　所　聖母の家（玉名黙想の家）玉名駅徒歩7分
日　時　12月27日（月）6時夕食～1月4日（火）午前
　　前半27日～31日午後、後半31日夕食～4日
定　員　15名（前半後半合せて一名と数えて）
費　用　一泊に付3,000円（一切の費用を含めて）御申出があれば減免もいたします。
申込期限　12月20日、成るべく早目にお願いします。
申込所　〒862熊本市国府2丁目6―102
　　TEL―0963―71―4156
　　中野　尚夫

綜合建設業
八千代建設株式会社
取締役　社長　田中　清
取締役副社長　渡辺　勝三郎
〒810 福岡市中央区薬院3―2―9　TEL 531―1231

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく
(株)メガネの正視堂
代表者　フランシスコザビエル　臼井芳数
行橋市駅通り本店 ☎2―0646
〃　駅前5秒店 ☎2―2390
北九州市黒崎年金病院前店☎641―4321
〃　ダイエー城野店3階☎922―5637

# 絶望的な貧困と不正の横行

## 日・比教会の深い友情が必要

### フィリピンの一神父は語る

十月二十八日（木曜日）午後六時三十分から、大名町カトリック教会で、京都教理センターの招きで日本を訪れていたフランシス・ルーカス神父（フィリピン・インファンタ教区）と福岡の信者・一般の市民との交流会が開かれた。「アジアの友からの報告」と題されたこの集会は、カトリック教会のみならず、プロテスタント・各市民団体からも広く関心を寄せられ、約八十人の人々が集まった。

イザベラ地区で土地を追われた農民の姿を描いたスライドの上映の後、ルーカス神父は、十七万の教区民の司牧を一人の司教・十八人の司祭で行っているインファンタ教区の現状を紹介、交流手段もない司牧困難な中で、「暴力的」に迫ってくる貧困に苦しむ教区民の現実の姿を伝えた。「自国の貧苦と不正義の横行を日本で話すことはとても恥ずかしいが、しかし、どうして不正義が行われ、貧しいのかということを日本の皆さんに考えてほしい」とルーカス神父は訴えた。

全人口の七〇％近くが年間所得八万五千円あまりという絶望的な貧困の解決は、フィリピン一国の問題ではないこと、その解決のために、教会レベルでの日比の深い友情関係を結ぶ必要があるのだと話しを結んだ。

ルーカス神父に続き、昨年、フィリピンへ体験学習に行った聖母訪問会シスター佐藤（インファンタ）・福音の光修道会シスター佐藤（マリベレス）・サンモール修道会シスター野口（ダバオ）の三修道女から、それぞれの体験談が紹介された。豊かな日本の生活では、自らが知らないうちに経済的従属下にあるくにぐにのものを、自分のものとして使っているのではないのか、また、フィリピンの人々のもつ信仰の豊かさに触れ、感動した体験を披露した。その後集まった人々の間からも発言が相つぎ、今わたしたちにできることは何か、の問いかけのうちに集会を終了した。

# 佐賀地区宣教八十周年を記念

## 中心の佐賀教会で盛大に行う

佐賀地区では晩秋の十月三十一日、佐賀教会で、地区宣教八十周年を記念し、平田司教をはじめ県内各教会の信者有志およそ三百人のほか、県内外から郷土出身の聖職者も多数参加して賑やかに祝賀大会が催された。

大会に先立って、先月聖堂の窓にはめ込まれた聖書物語二十四場面のステンドグラスの祝別、四十人の堅信式、信徒会館二階増築分の祝別式などが行われ、十一時から共同司式ミサが挙げられた。説教の中で平田司教は、過越しの信仰について語り、信仰の遺産を大切にし、証し人となるよう励ました。

祝賀大会では、ことし八十歳を迎えた鹿島教会の元主任ルッチ神父の傘寿を祝って、地区信徒から祈りの花束が贈られ、また、郷土出身の聖職者の紹介や寸劇など。そのあと、「佐賀藩におけるキリシタン」と題して佐賀教会所属の北島治慶氏が、また、「教会史にみる佐賀宣教八十年の歩み」について、同牧山満安氏がそれぞれ記念講演を行うなど、盛況の中に大会を終えた。

佐賀教会の宣教はソーレ神父の活動で始まる。今村教会から久留米を中心に福岡県南部と佐賀一帯に足を延ばしていたソーレ神父は明治二十七年、佐賀市中小路の土地を買って仮教会とし、平山牧民神父を定住させた。しかし火災で焼失したので、しばらく明治橋通りに移った。三十一年、山口宅助神父が平山神父に代わって来佐。三十二年（一八九九年）、小教区として独立、三十九年、司祭館を新築した。この頃、県下春日村の高尾松市（三十一歳）という人が受洗している。山口宅助神父は、終戦の翌年、ここで死ぬまで二十年間信者司牧にあたった。

一方、唐津には、明治三十五年はじめて山口宅助神父が佐賀から巡回し、市内城内二ノ門に仮教会をおき、「平和の元后聖マリア」と称した。当時の信者は十人足らず相知炭鉱に働く旧信者であった。山口神父とは別に、馬渡島からブルトン神父が巡回に来たこともあり、大正七年には、馬渡、松島、呼子、唐津四教会の聖体行列も。

# ある日突然聖霊の息吹きが

## 教会創立記念式典つぎつぎに

### 美野島三十年・多久二十年

ある日突然、人間の知恵が及ばない場所・時に、聖霊は降って神の栄光とみ国の建設に着手する。これは、キリスト教会史の流れにみられる教訓である。

十一月十四日、福岡市博多区の美野島教会は、小教区創立三十周年記念祭と堅信式を行った。

美野島教会（主任・フィナテイ師）は一三八人のこじんまりした共同体であるが、その歴史を辿れば、福岡市内の十二教会の中では、大名町・高宮・浄水通教会に次ぐ古い教会である。都市計画に基づく新しい町作りのために種々の困難を抱えているが、未来に希望をかかげて聖霊の火は明々と燃え続けている。福岡カトリック幼稚園を併設して、宣教事業に一役買っている。タクシーを利用するときは、幼稚園名を指示すれば間違いなく教会に入ることができる、正式の小教区認可は、昭和二十七年五月四日である。

歴代主任は、牧山藤房師（初代現西新）、堤敏雄師（二代・現吉野）、ライル師、グリーン師、グローガン師、テーハン師、フィナティ師のコロンバン会司祭に引き継がれている。

また、十一月二十一日は、佐賀県多久教会（主任・アレグリーニ師）の創立二十周年式典を迎えた喜びの日であった。

「私が来たのは、仕えられるためではなく、仕えるためである」（マルコ十・四五）に則して、信者相互と地域社会への奉仕のための教会が開設されたのは、一九六二年二月十八日であった。丘陵にかこまれ、美しい自然に恵まれた小さな共同体（現信徒数一〇六人）は、みんなの心の故郷でもある。

初代主任であったサビノ・アクアヴィヴァ師は当時を回顧して、「創設当初の多久教会は、喜びと希望に満ちあふれておりました。しかし、それから苦しい時代がやって来ました。炭鉱の閉鎖にともない、多くの信者（中には、最も立派なカトリック信者達もいました）が、生活のために他の町へ移らなければならなくなりました。多久教会には、大きな傷手であった」と述懐している。幼稚園があって地域の人との交流は活溌である。中でも、現主任司祭の最高の友人のひとりは、仏教の僧侶であるそうな。

## 十二月命日の司祭

▼ヤコボ・マグラ神父（コロンバン宣教会）一九七六年十二月十八日元熊本マリスト学園付

▼パウロ青木功神父一九七三年十二月十九日元行橋教会主任

▼ミカエル・ソーレ神父（パリ外国宣教会）一九一七年十二月二十日元久留米教会主任

## 会合と催し

☆平田司教

11月29～12月3日　全国司教会議

12月5日　湯川教会堅信、福岡小神学校創立50周年祭

12日　八代教会堅信

19日　古賀教会堅信

24日　クリスマス（大名町）

☆福岡黙想の家

12月4～5日　茶山婦人会

11～12日　日向学院受験生

26日～1月1日　聖母カテキスタ一黙想会

## 平田惣師退院

七月三日以来、体の不調を訴えて入院していた福岡司教館の平田惣五郎師（七七歳）は、療養の効果があって十月三十日、無事退院した。現在、静養の身であるが、血色も良好でかなりの健康を回復している感じである。しかし、高齢であるので、無理は禁物である。来年は司祭叙階五十年にも当たるので、新たな決意で後輩の指導をしてくれるものと期待している。

Cnstom Tailor
糸永洋服店
福岡市中央区浄水通8－8
TEL 531―3831
夜間 521―0820

祭壇・洗礼盤他
素材　大理石　御影石　その他
石のパイオニア
髙木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2―21
TEL 52―2417

# 『家庭勧告書』から見た こどもの信仰教育（完）

## ＜風潮に逆らって＞

### ジュリアン・ガイヤール

愛の文化を築き上げるようにつとめようではありませんか、というパウロ六世の呼びかけについてすでに考えたことがありますが、今回もう一度この大事なテーマについて述べてみたいと思います。

シノドスの閉幕に当たって、司教さまがたが家庭に送られたメッセージの中でつぎのことばがあります。〝時々信者の家庭には、たとえばセックス、自立、地上のものの使い方などの面において、現代の文明に逆らって新しい生き方を選択する義務があります…。節制して質素な生活を選んで、真福・自由を身につけて成長することができるのです〟（勧告書三七）。

熱狂的に消費する現代人の中に生きているキリスト者が、ひとつの福音的な証しとして清貧と節制のもとに喜び、そしてこのようにこどもを育てるよう、というアピールは、前例のないといえるほどシノドスから強く出されたものです。

実は、このアピールは、第三世界の司教がたを通してシノドスの間に聞こえた、飢えている人々の叫び声です。この人々の声に、耳を傾けたいと思います。〝第三世界の諸民族も、消費社会から強く刺戟されているのです。そして天然の資源を利用するよりそれを浪費しているといわれる、先進国の悪い手本に従うように誘われています。自然の掠奪の問題について責任を追求するとき、第三世界の人口の増加を指摘するよりむしろ先進国の浪費を訴える方がほんとうです。先進国を含めてすべての信者家庭は、福音の呼びかけに応じて清貧をもち、節制をした生き方を探し求めなければなりません。この新しい生き方こそ、天然の資源を保護するだけではなく、解放をもたらす福音の力を表す態度となります。そうすることによって、とうとうすべての人が熱望している新しい世界即ち兄弟愛、正義、連帯性でみちた世界を築き上げることが可能になります〟わたしたちにとって、この厳しいことばを述べられたのはサンパウロの司教です。

ここで、メキシコのプエブラで八端の精神を証しするようにつとめなければなりません（メッセージ一五）。

勧告書の中でも、ヨハネ・パウロ二世がこのテーマとこどもの教育を結びつけてつぎのように語っております。〝人生にとって、最も根本的なものの価値観をこどもにもたらす教育が必要です。人間の価値は、その人の持物によるのではなく、その人自体によるのである、と信じて、厳正に清貧を生かした生活を送ることによって、地上のものに対してこどもが真の

## 布教の日献金（10月24日）

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 名町 | 77,200 | 呼子島 | 23,150 | 新原田 | 52,100 | | |
| 大浄水通 | 24,285 | 松賀津 | 5,028 | 行橋 | 15,592 | | |
| 光丘 | 64,085 | 佐里 | 17,000 | 手取 | 36,000 | | |
| ケ楠 | 17,500 | 唐栖 | 8,500 | 荒尾 | 10,000 | | |
| 大崎 | 15,000 | 伊万雄 | 7,000 | 人吉 | 16,250 | | |
| 箱丘 | 30,000 | 島里 | 11,441 | 本渡 | 3,200 | | |
| 笹新 | 32,510 | 武雄 | 9,370 | 健軍 | 14,000 | | |
| 西島 | 8,676 | 鹿島 | 2,000 | 帯山 | 10,000 | | |
| 美野 | 11,500 | 多久 | 2,902 | 水俣 | 6,600 | | |
| 茶市 | 40,400 | 門司 | 19,629 | 津奇 | 9,741 | | |
| 高宮 | 10,691 | 門司 | 10,863 | 崎 | 14,000 | | |
| 老司 | 17,790 | 小倉 | 84,933 | 名 | 37,000 | | |
| 吉塚 | 5,880 | 湯川 | 38,296 | 池 | 10,000 | | |
| 志免 | 31,232 | 戸畑 | 52,098 | 代 | 8,000 | | |
| 古賀 | 25,000 | 若松 | 10,500 | 志 | 13,300 | | |
| 二市 | 40,250 | 天神 | 83,000 | 八合 | 63,651 | | |
| 久留米 | 10,500 | 黒崎 | 25,843 | 島 | シ | | |
| 大牟田 | 2,460 | 八王寺 | 8,000 | 玉崎 | ラ | | |
| 吉野 | 181,718 | 水巻 | 44,000 | 菊池 | ン | | |
| 今村 | 30,000 | 直方 | 22,790 | 第一修道院 | フランシスコ | | 5,000 |
| 本郷 | 5,125 | 飯塚 | 12,000 | 第二修道院 | 〃 | | |
| 小郡 | 11,750 | 田川 | 9,500 | 第三修道院 | 〃 | | |
| 馬渡島 | | | | 合計 | 1,535,829 | | |

## 飛脚

★十一月三日の文化の日は、福岡サン・スルピス大神学院主催の召命の集いに決定している。本年も九州各地から、六百人の親子参加があって盛大であった。とくに、行われた南米の司教会議のメッセージを思い出します。〝愛の文化は、暴力、わがまま、無駄遣い、搾取を許しません。南米の国々にとって、先進国に向かって、我々を妨げないで、我々の発展を止めないで、我々を搾取しないでむしろこの土地の資源を大切にして、寛大に我々を助けてください、という叫びをあげる時期がきています〟カマラの大司教が、何十年前から恵まれた国に向かってくりかえし述べていることですが、発展途上の国には、施しを求めているわけではなく、それより先進国の人々が心を改めて愛と正義と節制をもって生きることを望んでおります。実際、飢餓の原因がどこにあるのかと考えたら、人間の心の中にあるといわねばなりません。最近、ヨーロッパからインドに戻ってきた宣教師の友だちはこういいました。〝ヨーロッパのペットが恵まれている。わたしが宣教している村の人々よりもずっといいものを食べているからです、と〟以前から、とくにキリストさまのときから、たとえば六世紀の聖ベネジクトが、アシジの聖フランシスコその他の多くの聖人を通して現代のマザーテレサまで、個人的な完徳に達するために、最も確な手段として福音的な精神を重んじてきました。

二十世紀の夕暮れになった今、キリストさまが教えられた清貧に、新しい意味は浮彫りにされています。そのひとつは、神さまから委ねられた自然環境を保護し、資源を大切にして、つぎの世代の人々に人間として暮せる世界を残してあげることです。それに関して三年前に、ヨハネ・パウロ二世が、環境保護運動の守護者としてアシジの聖フランシスコを布告されたことに格別の意味があります。

一方、北の国と南の国との間に貧富の差が日増しにひどくなる今日、苦しんでいる兄弟を助けるためには、援助金を送る前にまずかれらの国の資源を浪費せず、かれら自身にとってほんとうにためになる経済発展の促進に協力する必要があります。節制をして消費社会に逆らう小さな努力でも、餓死する兄弟に生きる小さな希望を与えることになるのではないでしょうか。

もうすぐクリマスとお正月になります。すでにわたしたち大人もこどもも、いろいろな広告・宣伝より無駄遣いするように攻撃されています。キリスト者にとって、年毎に増える親の参加は召命への高い関心の表れとみてよい。大神学院の話では、親の召命教育にもっとカコブを入れるらしい。

★十月三十一日午後二時から、山田成章師主司式の慰霊祭同ミサが、福岡市内のカトリック納骨堂であった。参加者は二五〇人。

これはひとつの大事なチャンスです。消費社会の波にまきこまれて浪費のクリスマスを過ごすか、ベトレヘムのうまごやで生まれ、カイバ桶に寝かされた幼きイエズスの心を自分のものとして逆らいのしるしとなるか、恵まれていない人々に有り余る自分の金を献げるだけで満足するか、節制をして飢えている兄弟の苦しみを少しでも分かち合うように努めるか、自問自答していただきたい。

（福岡司教館司祭）

信頼に誠意と技術でこたえる
株式会社 藤木工務店
取締役社長　藤木鐵三
福岡支店長　池内満
福岡支店　福岡市博多区博多駅南4-18-2　電(092)441-6585

各種高圧ガス・溶接材料・その他
松尾産商株式会社
社長　松尾光敏
北九州市若松区藤ノ木1—4—23
TEL 771—3657

吉川病院
院長　吉川東陽
福岡市中央区平尾四ツ角　TEL 521—0568